

取扱説明書

パブリックディスプレイ

MultiSync[®] M981

MODEL: M981

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に「安全のために必ず守ること」(2 ページ)を必ずお読みください。

目次

ご使用前に	1	安全のために必ず守ること	2
-------------	---	--------------------	---

主な特長

1章 設置

設置の概要	11	取り付け向きについて	17
設置（お客様へ）.....	14	据付条件	18
冷却ファン	14	壁掛け用や天吊り用として使用する場合	19
ロゴオーナメント位置の変更	15	別売の自立スタンドを使用する場合	20
設置（設置業者様へ）.....	16		

2章 各部の名称

コントロールパネル.....	22	リモコン	25
ターミナルパネル.....	23		

3章 接続

配線図	28	HDMI-CEC リモコン対応ボタン	33
コンピューターとの接続	29	内部映像ソース.....	34
HDMI 出力端子のある機器との接続	30	本機で使用できるオプションボード.....	34
HDMI-CEC 対応コマンド.....	32	USB 機器との接続	35

4章 基本操作

電源オンモードと電源オフモード.....	37	ピクチャーモードの切り替え	39
リモコンの使用範囲	38	アスペクト変更.....	40
パワーマネージメント機能	38	ポイントズーム機能.....	41
インフォメーション.....	39	画面調節（OSD 機能）	42
Plug&Play 機能（DisplayPort および HDMI）.....	39		

5章 高度な操作

電源スケジュールの作成.....	45	その他のピクチャーモードの使い方.....	53
高度な色補正機能.....	46	セキュリティー設定とボタン操作のロック.....	54
SPECTRAVIEW ENGINE の使い方.....	46	パスワードによるセキュリティー.....	55
スタンドアローンキャリブレーション.....	50	ボタン操作のロック.....	56

6章 マルチディスプレイ設定

マルチディスプレイ接続.....	59	リモコン ID モード機能について.....	63
映像出力.....	62		

7章 外部制御

RS-232C 経由でのディスプレイ制御.....	65	Web ページを使った OSD メニュー操作.....	69
LAN 経由でのディスプレイ制御.....	66	ネットワーク設定.....	70
マルチ接続について.....	67	コマンド.....	75
HTTP を使用したブラウザー によるネットワークの設定.....	68	Proof of Play 機能.....	76

8章 困ったとき

故障かな?と思ったら.....	78
-----------------	----

9章 仕様

対応信号一覧.....	83	M981.....	84
-------------	----	-----------	----

付録 A 商標・ライセンスについて

付録 B 外部のリソース

付録 C OSD 調節リスト

入力.....	88	スロット.....	101
映像設定.....	92	ネットワーク.....	102
音声設定.....	99	保護設定.....	104
スケジュール.....	100	システム.....	106

付録 D その他

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）.....	111	保証とアフターサービス.....	111
-----------------------------	-----	------------------	-----

ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

お知らせ

VCCIに関するご説明文中で、「この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、」という記述をしておりますが、これは本機が VCCI クラス B という、より厳しい基準に適合させていることから協議会から指定された文章を記述したものであり、本機は住宅環境での使用を目的とはしておりません。

注意

添付のケーブルを使用してください。

USB はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。

HDMI、DisplayPort、RS-232C はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気に関するガイドライン」に適合しています。



グリーンマーク

JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有状況により、次の 2 種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク： 特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク： 同化学物質が含有率基準値以下 (但し除外項目あり) である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.000044% 以下です。

本製品は、ISO9241-307 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル (副画素) 単位で計算しております。



【注】一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書に記載されている画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
- (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では (3) 項および (4) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (6) 本書はすべての地域に共通して提供されるため、他の国に関する記載を含む場合があります。




安全のために必ず守ること

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。

	この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

 **警告**

 プラグを抜く	<p>下記の場合、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合 ・本機を落としたり、キャビネットを破損した場合 販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
 分解禁止	<p>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない</p> 内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。修理は販売店にご相談ください。
 使用禁止	<p>ぐらついたり、スタンドにひびがある場合は近づかない</p> 本機が転倒してけがの原因となります。お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。
<p>電源コードについて</p>	
 禁止	<p>電源コードを傷つけない、加工しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを本機や重い物の下敷きしない。 ・電源コードを敷物などで覆わない。 ・電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない。 ・電源コードを加熱しない。 電源コードが破損すると、火災・感電の原因となります。破損した場合（芯線の露出・断線など）は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。
 接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない</p> 感電の原因となります。
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> 感電の原因となります。
 指示	<p>電源コードは添付のものを使用する</p> 添付の電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。
 指示	<p>正しい電源電圧で使用する</p> 添付の電源コードは AC100V・日本国内専用です。指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
 禁止	<p>アース線を電源コンセントに挿入・接触させない</p> 火災・感電の原因となります。
 アース線を接続せよ	<p>アースに接続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機はアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。 ・電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。
 指示	<p>据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する</p> 工事が不完全ですと重大事故の原因となります。

警告

設置するときに気を付けること

スタンドなどの取り付け器具が必要です。

運搬、移動、設置の際は十分な安全を確保できる人数（必ず4人以上）で作業し、必ずすべてのハンドルを持ってください。落下してけがの原因となることがあります。

・壁掛けや天吊りなど高所への設置は、アイボルト（M10）を使用して吊り上げ装置（機械）等で本機を吊り上げる。

人の力だけで本機を持ち上げると、落下してけがの原因となることがあります。

・自立スタンドを使用する場合は、床置きしないでください。机などに置いて使用するか、壁掛け金具をご使用ください。

市販の取り付け器具を使用する際は、器具の取扱説明書を参照し、取り付け、取り外し方法の詳細を確認してください。

布などで通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

以下の場所には設置しないでください。

- ・風通しや換気の悪い所
 - ・直射日光のあたる所や熱器具のそば
 - ・振動の多い所
 - ・湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所
 - ・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所
 - ・屋外
 - ・温度、湿度が急激に変化し結露がしやすい所
- 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

・本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない所
荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受け、確実に取り付けてください。強度が不十分な場合、落下して重大事故の原因となることがあります。

・人が容易にぶら下がったり、寄りかけられるような場所、頭や目がぶつかってしまうような所。
上下逆さまに設置しないでください。



指示

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどを軽減するために、転倒・落下防止対策を講じる

取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの軽減を意図したのですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

・丈夫なロープを用いて本機を固定する
固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。

固定には付属のクランプ*を付属のネジ（M4）*で本機にしっかりとつけてください。アイボルトブラケットが付けられている場合は、アイボルトブラケットを使用して本機を固定してください。（*：スタンドに付属）

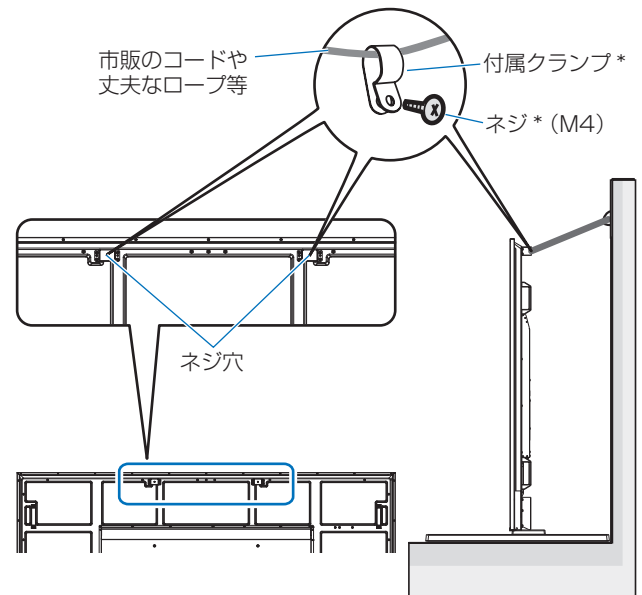
スタンドによっては転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。

- ・本機を十分保持できる壁や柱などに、しっかり固定する。
- ・ロープは本機の重さに耐えられる丈夫なものを使用する。
- ・本機を移動する場合は、事前にロープを外す。落下すると重大事故の原因となることがあります。
- ・落下防止用ワイヤーのみでは絶対に壁掛け設置・天吊り設置しない。

・建物や構造物の丈夫な箇所と本機の所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続する。








・市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用する。

・落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置する。







指示

警告








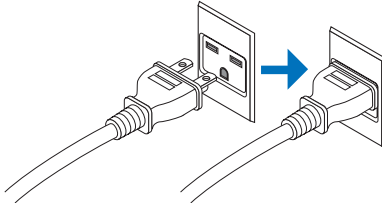
 指示	<p>安定性と危険について 本機が落下すると重大事故の原因となることがあります。けがなどを軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付ける。• 本機を安全に支えることができる什器に設置する。• 本機がはみださない大きさの什器に設置する。• 本機にさわろうとして設置している什器に登ったりすると危険であることをお子様に説明する。• 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線する。• 本機を不安定な場所に設置しない。• 本機を背の高い什器に設置する場合は、本機と什器、什器と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定する。• 本機の下に布などを敷かない。• 本機や設置している什器の上に、お子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かない。 <p>設置場所を変える場合は、上記をふまえ設置してください。</p>
 禁止	<p>ぐらつく台の上や、傾斜面、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p>
 禁止	<p>異物をいれない 火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。 異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。</p>
 水ぬれ禁止	<p>水のかかるところに置かない 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。 エアコン等水を排出する機器にも注意してください。</p>
 禁止	<p>清掃時に可燃性ガスのスプレーを使用しない 火災の原因となります。</p>
 指示	<p>オプションボードをしっかりと固定する オプションボードは、オプション用スロットカバーを固定しているネジを使用し、しっかりと固定してください。固定しないと、落下して重大事故の原因となります。</p>
 禁止	<p>生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。</p>

注意



電源コードについて

 指示	電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する
 しっかり 差し込む	電源プラグを奥までさしこむ 電源コードが容易に抜けるのを防止する 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。 電源コードが抜けるのを防止するため、本機付属のクランプとネジで固定してください。 (締付トルク 120 ~ 190 N・cm)
 指示	火災や感電を防ぐために、次のことを守る <ul style="list-style-type: none">電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめる。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 ほこりを取る	電源プラグのほこりなどは定期的に取り 火災・感電の原因となることがあります。
 指示	電源コードやケーブル類を抜いてから移動する コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
 禁止	電源コードは、タコ足配線しない タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
 禁止	電源コードおよび USB ケーブルは束ねない (丸めない) ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。
 禁止	過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。
 禁止	本機を設置している台には乗らない 本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。 キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。
 指示	スタンドの取り付けや高さを調節する場合 本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。 高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。指定以外の位置では、転倒してけがの原因となることがあります。
 禁止	本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がらない 硬いものでこすったり、たたいたりしない 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。
 禁止	画面に衝撃を加えない 先のとがった物で押さない 破損してけがや故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

 指示	<p>乾電池は適切に取り扱う</p> <p>乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂によるけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定以外の電池を使用しない。 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池は種類によって特性が異なります。 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。 新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液が漏れるおそれがあります。 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。 液が漏れて故障の原因となるおそれがあります。 漏れた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。 漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。 長時間使わないときは、電池を取り出す。 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。 破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。 乾電池を水の中に投入したり、器具での押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。 破裂のおそれがあります。 乾電池をショートや充電をしない。 乾電池を廃棄する際は、プラス (+) とマイナス (-) をセロハンテープで絶縁して廃棄する。 廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。
 禁止	<p>本機の温度が高くなる部分に長時間触れない</p> <p>低温やけどの原因となることがあります。</p>
 指示	<p>適度な明るさの環境で使用する</p> <p>画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。</p>
 通気口の清掃	<p>通気口を掃除する</p> <p>通気口がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。月に一度は通気口を掃除してください。</p>
 内部清掃	<p>1年に一度は内部掃除を</p> <p>内部にほこりがたまったらそのまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>
 指示	<p>温度や湿度が急激に変化する環境での使用や保管は避ける</p> <p>以下の使用環境・保管環境を守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。</p> <p>使用環境温度：0～40℃ / 湿度：20～80%（結露のないこと） 保管環境温度：-20～60℃ / 湿度：10～80%（結露のないこと）</p>
 指示	<p>電源コードについて</p> <p>AC 200 V (50/60Hz) のコンセントでお使いになる場合は、専用の電源コードが必要です。販売店にお問い合わせください。</p> <p>専用の電源コードをお使いになるときは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してください。2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

ディスプレイの上手な使い方

 <p>国内専用</p>	<p>本製品は日本国内用として製造・販売しています。 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。 This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>
 <p>指示</p>	<p>キャビネットのお手入れ</p> <ul style="list-style-type: none">• お手入れの際は電源プラグを抜いてください。• 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。• ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れるなどの原因となることがあります。
<p>画面のお手入れ</p> <ul style="list-style-type: none">• 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。• 画面の汚れは、乾いたきれいな布で軽くふき取ってください。しめった布や化学ぞうきんでふき取らないでください。また、同じ布を繰り返し使用しないでください。• 画面は傷つきやすいので、硬いもので押しったりこすったりしないように注意してください。• 画面は触指などにより汚れることのないように注意してください。	
<p>上手な見方</p> <p>明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。 また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>	
<p>部品寿命による影響</p> <p>保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。</p>	
<p>電磁波妨害に注意してください</p> <p>本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。</p>	

主な特長

高画質

UHD 解像度パネル採用：フル HD 解像度の 4 倍にあたる高解像度 4K (3840 × 2160) 表示により、4K 映像や高解像度画像のディテールまで忠実に再現します。

8K Solution：8K 信号に対応。(DisplayPort 1 入力のみ)

タイルマトリクス機能 (垂直モニター数 2x 水平モニター数 2) と DisplayPort デイジーチェーン機能の組み合わせでリアル 8K 映像を表示できます。

安心・安全な運用

冷却ファン：使用状況や設置場所に応じて、冷却ファンを動作させることにより、長時間使用時に液晶パネルを冷却して、負担を軽減します。

デュアルデイジーチェーンモード：HDMI と DisplayPort の同時出力により、どちらかの映像信号が切れた場合でも途切れることなく映像を表示し続けることができます。

G センサー搭載：ディスプレイの縦設置の際に、適切な設置をガイドします。

かんたん・便利

遠隔からの資産管理・運用状態・コントロール：NaViSet Administrator 2 に対応しているため、当社製ディスプレイおよびプロジェクターの複数台での運用や、資産管理がネットワークで可能です。

簡単タイルマトリクス機能：HDMI または Displayport の映像信号を簡単にマルチ画面に表示できます。

プリセットモード機能：使用用途に合わせた映像・音声の設定をすることで、簡単にディスプレイを運用することが可能です。

映像 / 音声 ミュート設定：音声と映像を個別でミュートにすることができます。

全画面キャプチャ (スチル機能)：表示されている画面をロックします。

マルチピクチャー機能 (PIP/PBP)：2 画面マルチや 4 画面マルチの画面表示に対応。

高速入力切替：選択した 2 入力間をシームレスに切替えます。

Joystick キー：ディスプレイ背面に Joystick キーを搭載し、画面に表示される OSD メニューを見ながら、操作したい方向に Joystick キーを操作し設定することができます。

自動時刻設定：NTP サーバーから現在時刻を取得して、簡単に時刻設定・同期ができます。

幅広い拡張性

インテル® スマート・ディスプレイ・モジュール (インテル® SDM) 対応のオプション用スロット (インテル® SDM スモール (インテル® SDM-S) / インテル® SDM ラージ (インテル® SDM-L))：インテル® SDM の仕様を採用したことにより、様々なシステムの規模や運用方法に対応することが可能です。

1 章 設置

この章の内容：

- ⇒ 設置の概要（11 ページ）
- ⇒ 設置（お客様へ）（14 ページ）
- ⇒ 設置（設置業者様へ）（16 ページ）

設置の前に「安全のために必ず守ること」を必ずお読みください。

お知らせ

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品はセットアップマニュアルを参照ください。

不適切な設置に起因する損傷は、保証書の対象範囲外です。

AC 200 V (50/60Hz) のコンセントでお使いになる場合は、専用の電源コードが必要です。販売店にお問い合わせください。

設置の概要

1. 設置する場所を決める

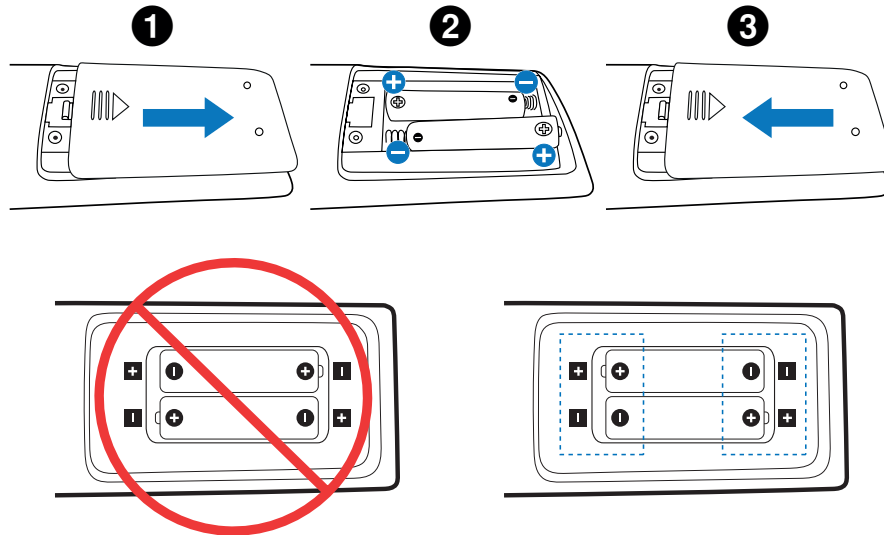
お願い

スタンドや取付金具などを取り付けるときは、液晶パネルに引っかき傷を付けないよう、本機の下にマットや毛布など柔らかいものを敷いてディスプレイを置いてください。

2. リモコンに電池を入れる

単4形乾電池2つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。



お願い

- リモコンに付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

3. 外部機器を接続する

- 接続する外部機器を保護するため、接続の際には主電源を切ってください。
- 接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

お願い

本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルを抜き差ししないでください。

4. 電源コードを接続する

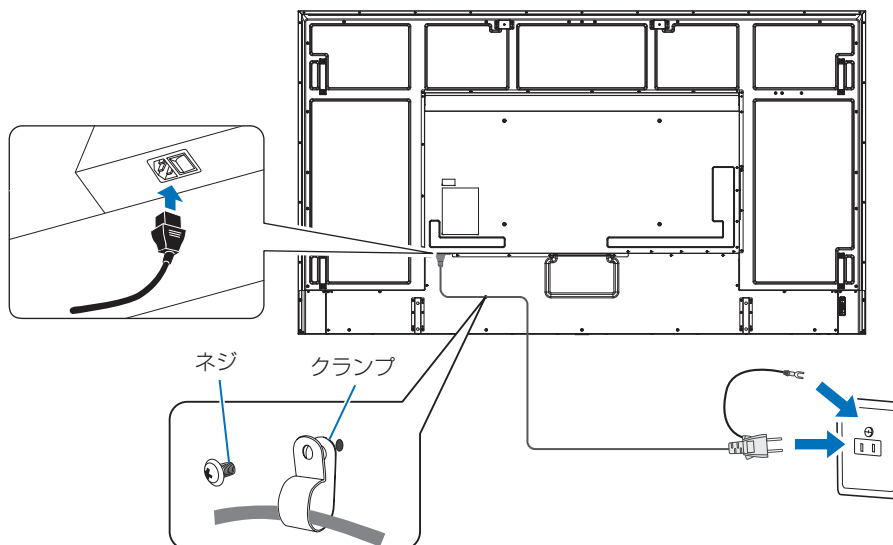
お願い

電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電力が供給されることを確認してください。本機の使用電力は「仕様」を参照ください。

お願い

電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本体の電源入力コネクタに差し込む。
奥までしっかり差し込んでください。
2. アース線を（アースに）接続。
3. 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する。



お知らせ

AC 200 V (50/60Hz) のコンセントでお使いになる場合は、専用の電源コードが必要です。販売店にお問い合わせください。

5. ケーブル情報

注意

添付のケーブルを使用してください。

USB はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。

HDMI、DisplayPort、RS-232C はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

6. 主電源スイッチをオンにする

本機の電源を入れてから、コンピューターや映像機器の主電源を入れる。

7. 接続した外部機器を操作する

接続した外部機器に対応する入力信号を選択して、外部機器からの映像をディスプレイに表示します。

8. 音声を調節する

必要に応じて音量を調節してください。

9. 画面を調節する

必要に応じて「映像設定」を調節してください。

10. 長くお使いいただくために

ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る「残像」という現象が発生する場合があります。

残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
- 本体の **⏻** ボタンまたはリモコンの STANDBY ボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。
- OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」を使用してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。
- 本体のパネル表面にガラスやアクリル製の保護カバーをかぶせると、パネル表面が密閉され内部温度が上昇します。スクリーンセーバー、コンピューターのパワーマネージメント機能を利用したり、ディスプレイの輝度を低くするなどして内部温度の上昇を防いでください。
- 液晶パネルにかかる負担を軽減するため、OSD メニューの「保護設定」→「スクリーンセーバー」を使用してください。
- OSD メニューの「スケジュール」を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオンまたはスタンバイ状態にしてください。

お願い

スケジュール機能を使用する場合は必ず OSD メニューの「システム」→「日付 / 時刻設定」の設定をしてください。

設置（お客様へ）

設置業者の紹介につきましては、販売店へご相談ください。壁掛けや天吊り設置に関する設置業者との契約につきましてはお客様の責任においてご契約ください。

設置後のメンテナンス

- ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをしてください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、当社は一切責任を負いません。設置の依頼にあたっては「設置（設置業者様へ）」の注意点を設置業者にご提示ください。

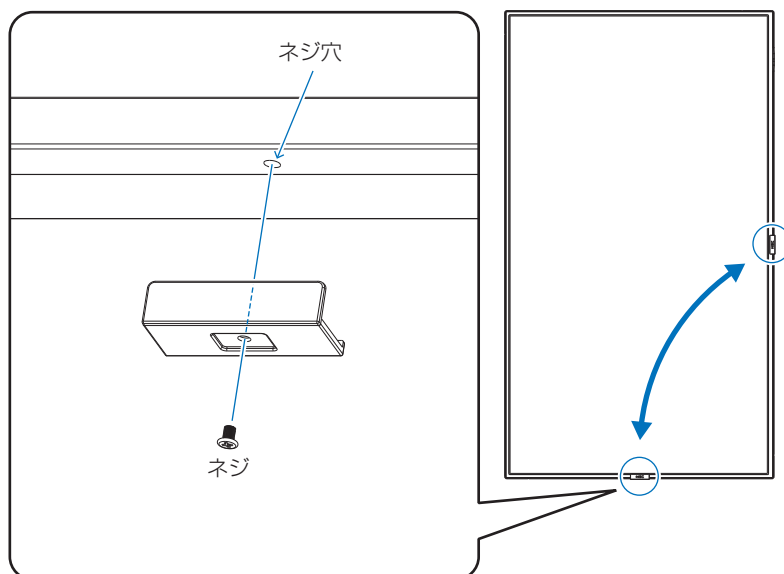
冷却ファン

ケース内の設置や、液晶画面の表面にアクリル板などをつけてご使用になる場合は必要に応じて冷却ファンの動作設定を変更してください。OSDメニューの「保護設定」→「温度管理」→「ファン制御」で冷却ファンを常時動作するように設定することもできます。

ロゴオーナメント位置の変更

取り外し方法：

ロゴオーナメントを固定しているネジを外し、ロゴオーナメントを取り外します。



取り付け方法：

取り外したネジで NEC ロゴオーナメントを固定します。

NEC ロゴオーナメントのネジ穴とディスプレイ側面にあるネジ穴が合っていることを確認し、ネジをまっすぐ取り付けてください。(締付トルク 30 ~ 40N・cm)

お願い

取り外したネジ以外は使用しないでください。

設置（設置業者様へ）

壁や天井に本機を設置するには、本機および金具類などの重量を支えるのに十分な強度があることを確認してください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

誤った設置、改造、自然災害による損傷につきましては、保証の対象範囲外です。

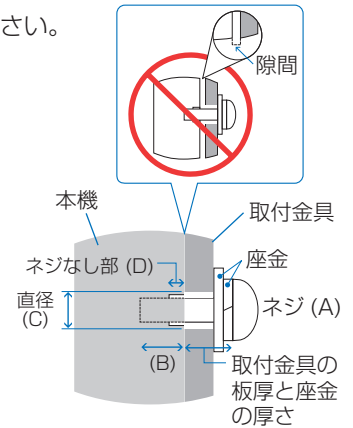
以上の推奨事項に従わなかった場合、保証書は無効になることがあります。

通風口を取付金具などの器具でふさがないようにご注意ください。

設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

■ 取付金具について

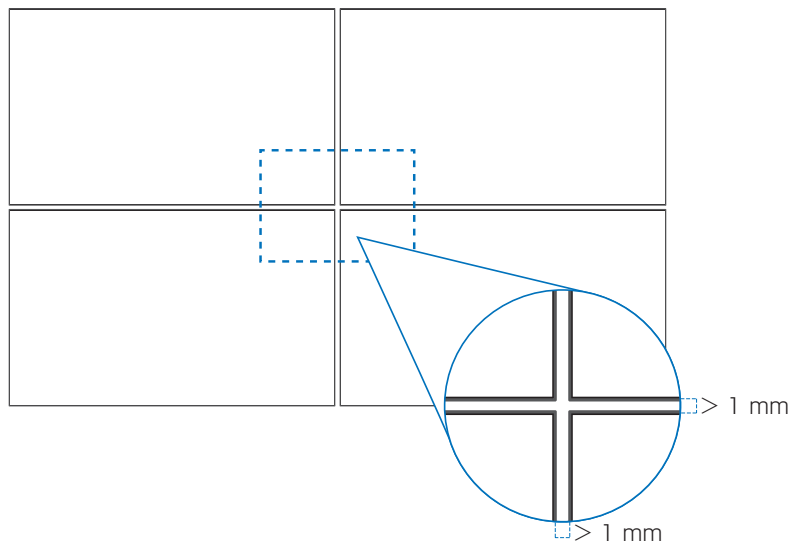
- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- 取り付け前に、強度など安全性を確認してください。
- 金具の一部がディスプレイの通風口をふさがないようにご注意ください。
- 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照ください。
- 取付穴は背面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。（推奨取り付け例は「壁掛け用や天吊り用として使用する場合」を参照ください）
- ディスプレイへの金具の取り付けには以下のサイズのネジを使用し、しっかりと締めてください。



ネジサイズ		ネジ穴直径	ネジなし部	締付トルク
(A)	(B)	(C)	(D)	
M8(4本)	16～18mm	≦ Ø 12mm	6mm	950～1600 N・cm

■ お願い

ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置し長時間使用した場合、本機の内部温度の変化によりディスプレイが若干膨張することがあります。隣り合うディスプレイとの間に1mm以上の隙間をあけて設置されることをおすすめします。

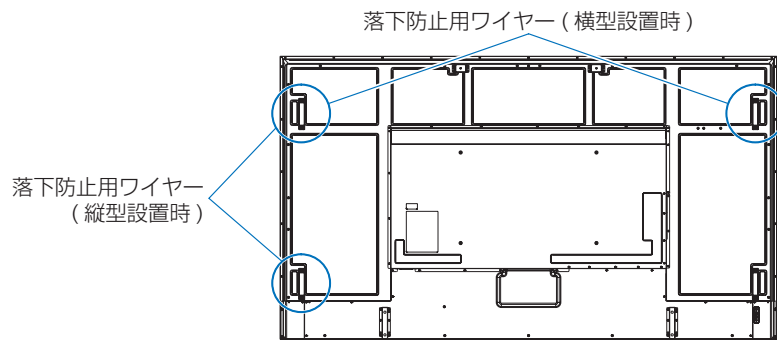


■ 落下防止対応のお願い

ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、市販の壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

■ 落下防止用ワイヤー取り付け可能ハンドル位置

落下防止用ワイヤーは下図で示したハンドルを使用して取り付けてください。

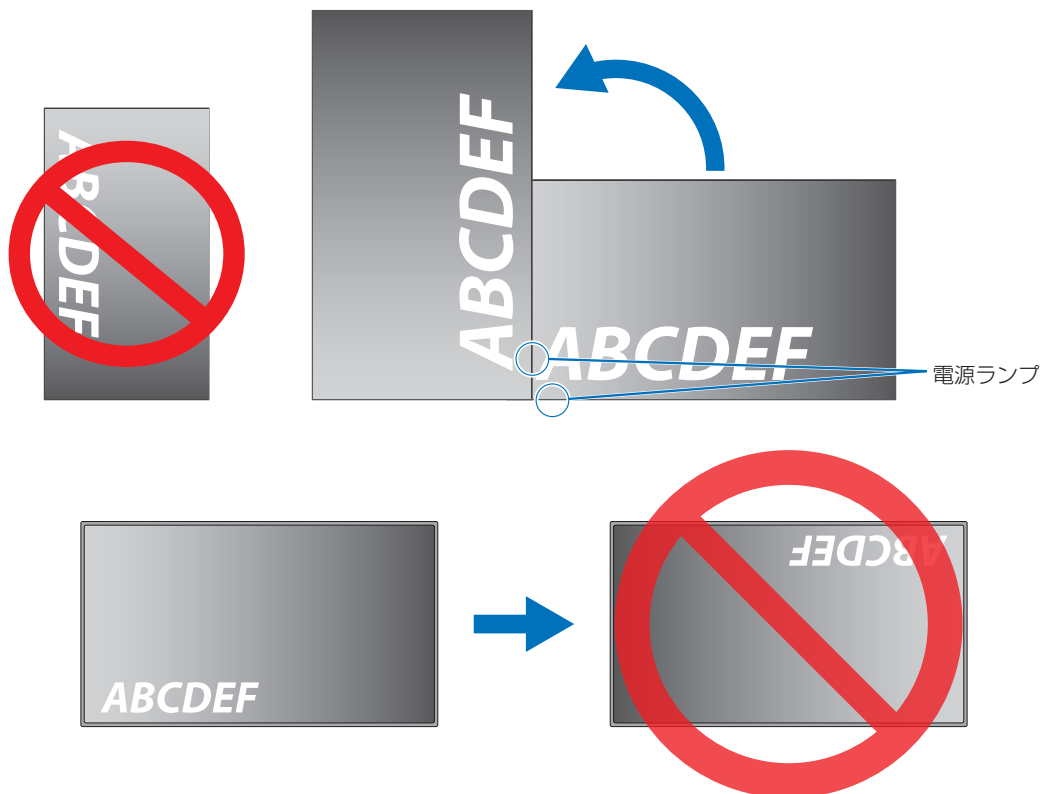


取り付け向きについて

本機を縦型設置で使用するときは、必ず正面から見て右側面を上側に、左側面が下になるよう反時計回りに回転してください。誤った向きに設置すると、本体内部に熱がこもることがありディスプレイの寿命が縮む可能性があります。上下逆さまでの設置はできません。

お知らせ

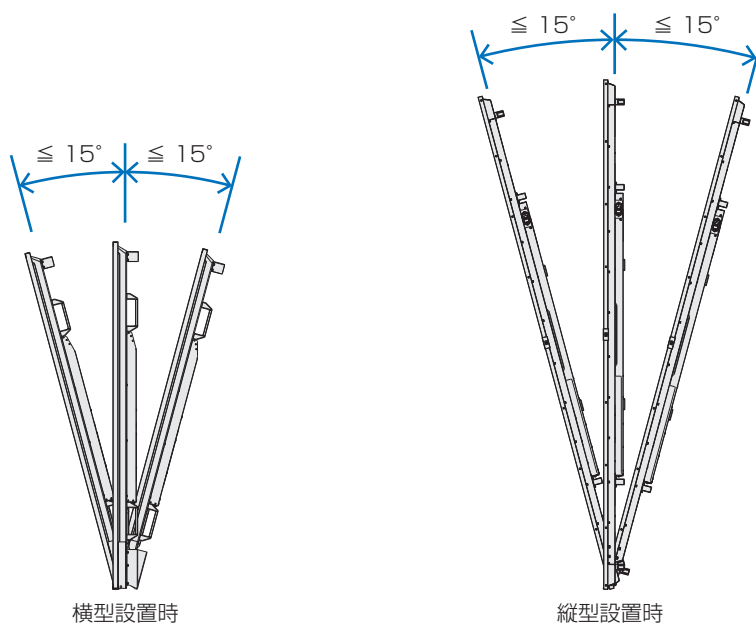
誤った方向に回転すると警告メッセージが表示されます。



本機は 16° 以上に傾けた状態で使用することはできません。

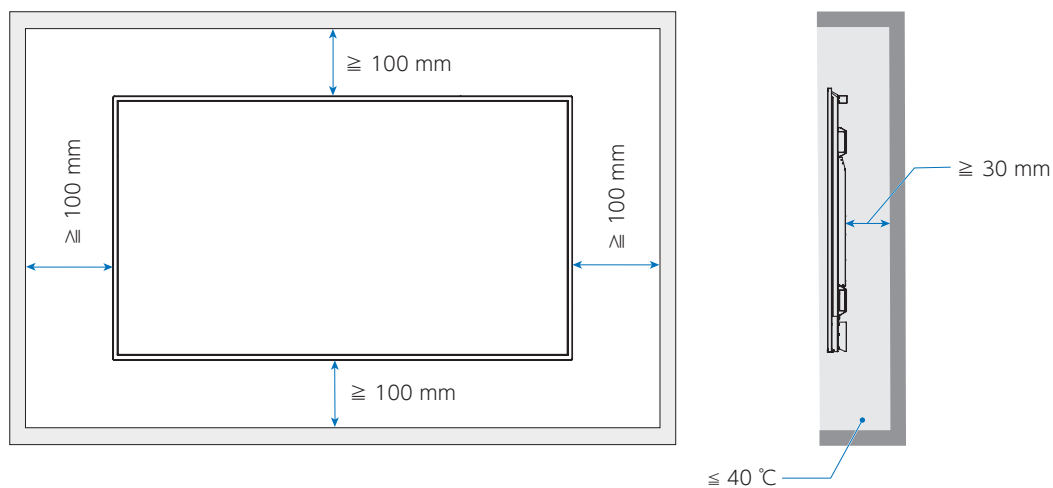
お知らせ

16° 以上に傾けた状態で設置すると、故障の原因となります。



据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



お知らせ

本機の使用環境温度の最大値は 40 °C です。

本機は温度センサーを内蔵しています。

お願い

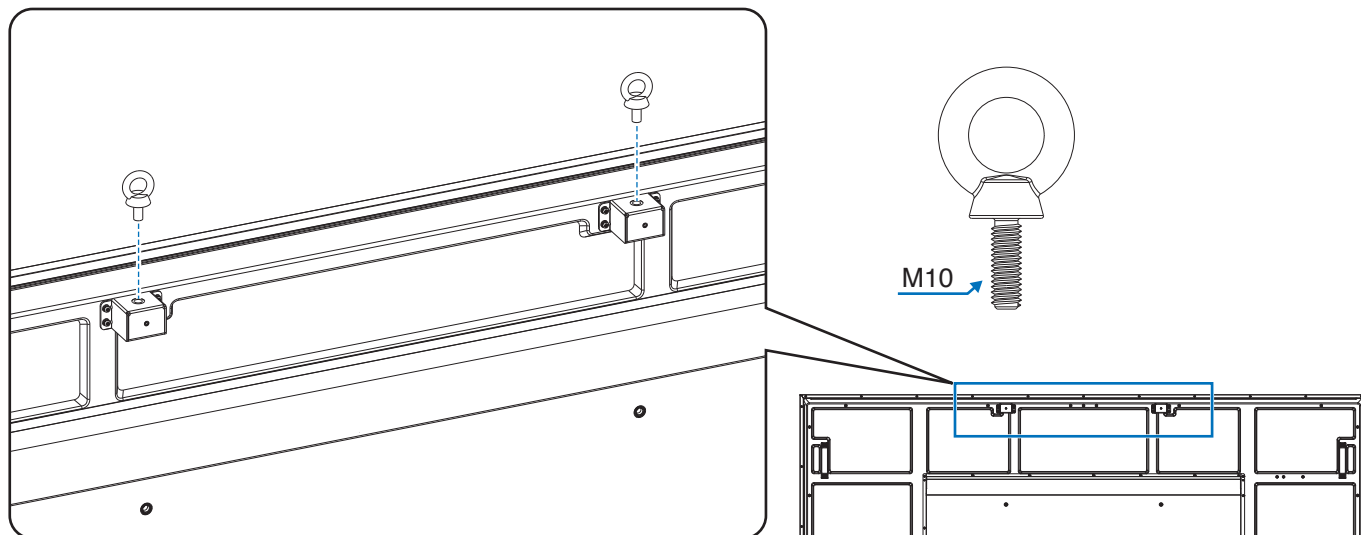
内部温度が高くなると「警告」が表示されます。「警告」が表示されたら本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。

本機をケースなどの中でお使いの場合、あるいは液晶パネルの表面をアクリル板などで覆っている場合は、本機の周囲温度をチェックしてください。周囲温度が本機の動作温度を上回ったときは、OSD メニューの「ファン制御」(104 ページ参照)を「オン」にしてください。

壁掛け用や天吊り用として使用する場合

■ アイボルト（市販品）の取り付け

アイボルトブラケットに市販のアイボルトを（M10）をしっかり締め付けて固定してください。



設置時の注意事項

- 設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- アイボルト（M10）は本機の設置作業をする目的で、かつ一時的使用のものです。
- 設置する際はアイボルトだけでなく、市販の取付金具が必要です。
- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

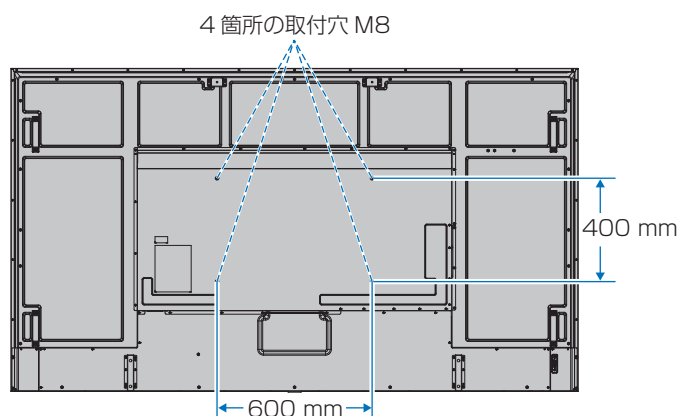
■ 設置方法

設置の際は、必要に応じてアイボルト（M10）を使用して吊り上げ装置（機械）等で本機を吊り上げて設置してください。この際、アイボルトが緩んでいないことを確認してください。人の力だけで本機を持ち上げると、落下してけがの原因となることがあります。

1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

■ お願い

- 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。
 - 取り付け時に、本機に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイが変形するおそれがあります。
2. ディスプレイをその上に置きます。
 3. 市販の取付金具を取り付けてください。
取り付け、取り外し方法の詳細は、市販の壁掛け用や天吊り用金具の取扱説明書を参照してください。



別売の自立スタンドを使用する場合

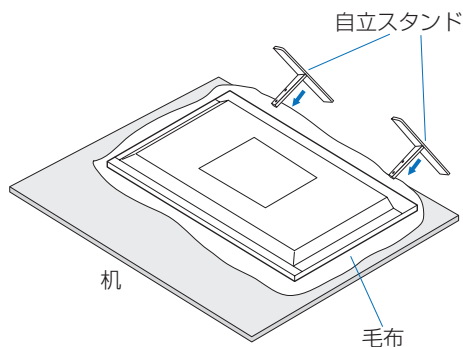
■ 自立スタンドの取り付け

スタンドの取り付けは、必要に応じてアイボルトを使用して吊り上げ装置（機械）等で本機を吊り上げてください。この際、アイボルトが緩んでいないことを確認してください。人の力だけで本機を持ち上げると、落下してけがの原因となることがあります。

マットや毛布など柔らかいものを敷いた上に本機をパネル面が下になるように置いてください。

スタンドの取り付けにはスタンドの取扱説明書を良くお読みください。

別売りのスタンドは ST-801 をご使用ください。



■ お知らせ

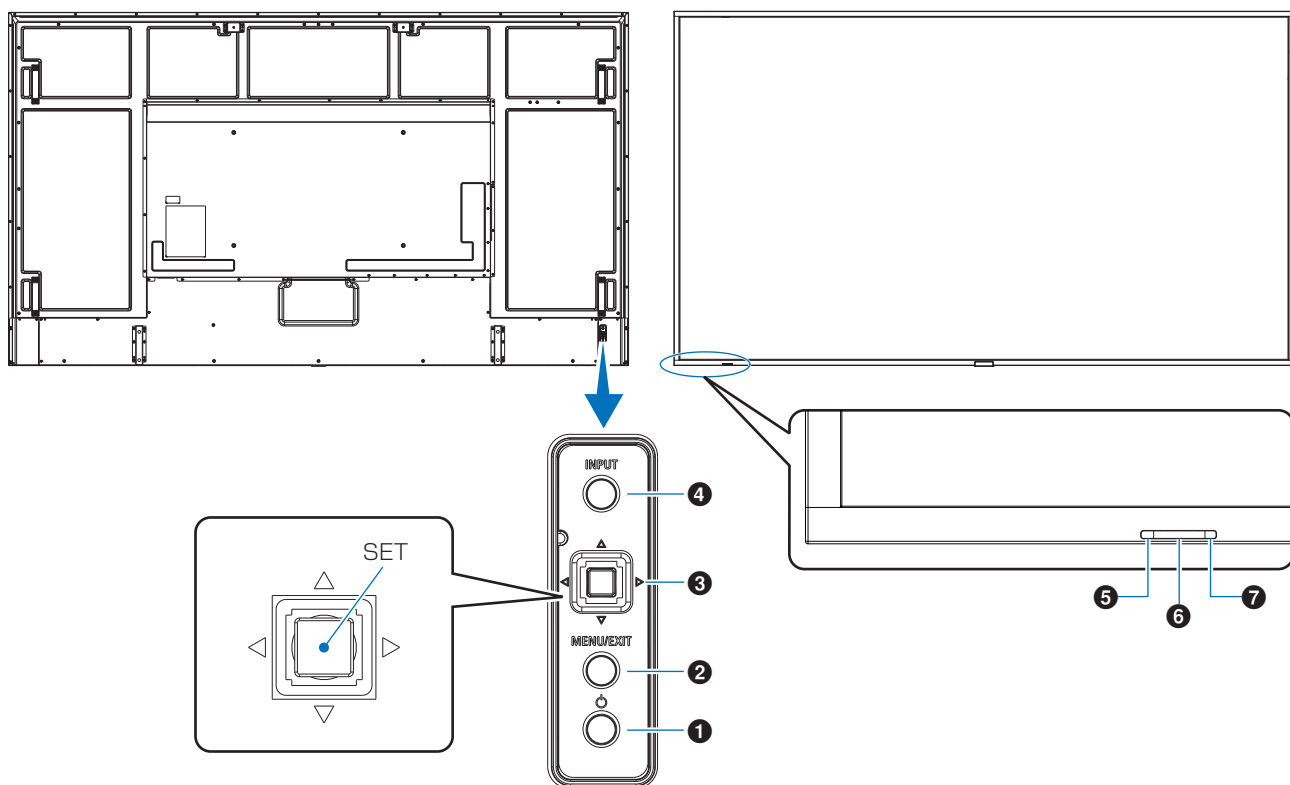
横型設置のみ対応です。

2 章 各部の名称

この章の内容：

- ⇒ コントロールパネル (22 ページ)
- ⇒ ターミナルパネル (23 ページ)
- ⇒ リモコン (25 ページ)

コントロールパネル



① 電源ボタン (電源ボタン)

電源をオン/スタンバイするときに押します。

② MENU/EXIT ボタン

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。
OSD 画面が表示されているときは、ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

③ Joystick キー /SET ボタン^{*1}

◀/▶：左右方向に移動します。

- OSD コントロールメニューを左または右に移動します。
- OSD メニューの設定値を増減させます。
- OSD メニューを閉じているときは音量が調節できます。

▽/△：上下方向に移動します。

- OSD コントロールメニューを上または下に移動します。

SET：(ボタン押下)

- OSD メニューを選択したり、実行します。

^{*1}：◀、▶、△、▽の機能は、ディスプレイの向き(ランドスケープ/ポートレート)によって変化します。

④ INPUT ボタン (入力切替ボタン)

INPUT：以下の映像入力を切り替えます。

「DisplayPort 1」、「DisplayPort 2」、「HDMI 1」、「HDMI 2」、「OPTION」^{*1}、「COMPUTE MODULE」^{*2} 名称は工場出荷時のものです。

^{*1}：対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

^{*2}：動作しません

⑤ 電源ランプ

電源ボタン入：青色点灯^{*1}

主電源スイッチ切時：消灯

スケジュール待機時：緑色と橙色交互に点滅

異常検出時(自己診断)：赤色点滅または赤色と青色の点滅

^{*1}：OSD メニューの「システム」→「電源ランプ」で「オフ」が選択されている場合は電源ランプは消灯となります。

お知らせ

電源ランプについては、本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。

⑥ リモコン受光部

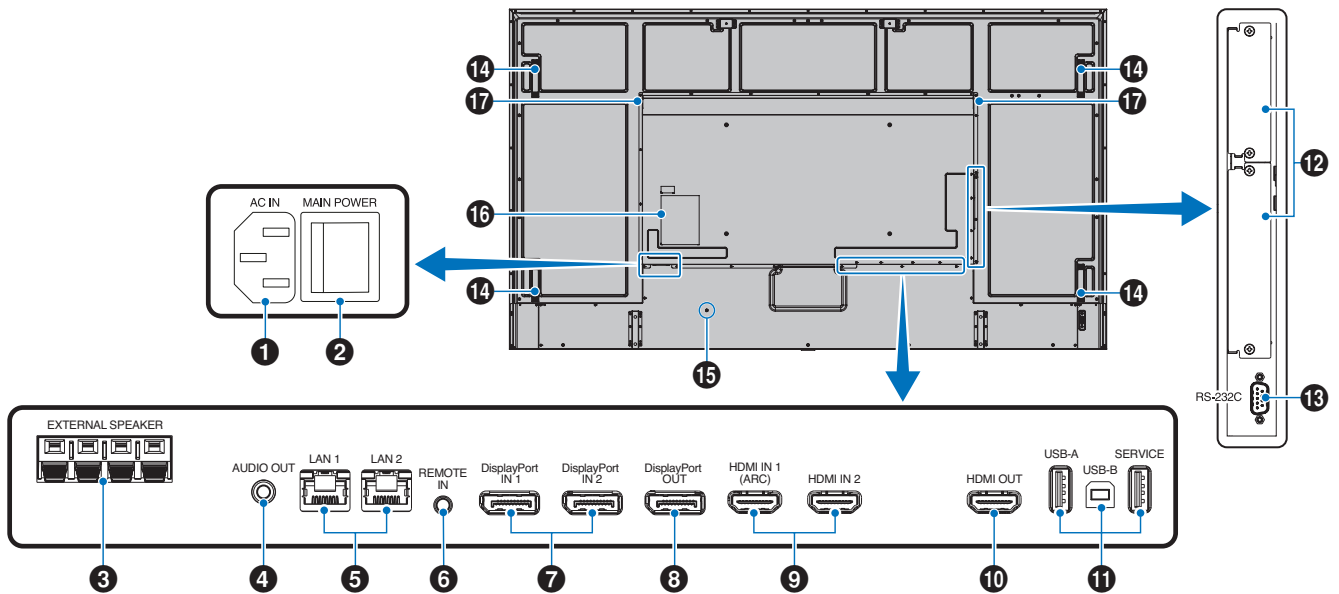
ワイヤレスリモコンの信号受光部です。

⑦ 外光センサー

外光センサー：周囲の明るさを検知するセンサーです。「外光センサー」で「オン」を設定した場合に使用します。「オン」選択時には障害物の陰にならないよう注意してください。

OSDはオンスクリーンディスプレイの略称です。

ターミナルパネル



① 電源入力コネクタ (3 極アース端子付き)

電源コードを接続します。

② 主電源スイッチ

主電源をオン/オフするときに押します。

| : オン ○ : オフ

出荷時はオフになっています。

③ 外部スピーカー出力端子

オーディオ信号を出力します。

赤い端子がプラス (+) です。

黒い端子がマイナス (-) です。

お知らせ

対応可能なオプションスピーカーについては販売店にお問い合わせください。

④ オーディオ出力コネクタ (ステレオミニジャック)

選択されている音声を出力します。

お知らせ

ヘッドホン用端子ではありません。

⑤ LAN ポート 1/2 (RJ-45)

HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターで Web ブラウザーを使用して本機の LAN 設定を制御することができます。複数台のディスプレイのマルチ接続 (数珠つなぎ) による制御が可能です。

お知らせ

- ポートをひとつ使用する場合は、LAN1 (DAISY CHAIN IN) のポートを優先してご使用ください。
- マルチ接続 (数珠つなぎ) の詳細は本取扱説明書の「マルチ接続について」を参照ください。
- 本機の有線 LAN ポートは公衆回線 (電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む) に直接接続することを意図して設計されていません。そのため有線 LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

⑥ リモート入力コネクタ (ステレオミニジャック)

コネクタに別売のコントロールキットのセンサーユニットを接続すると、センサーユニット上のリモコン受光部を利用してリモコンで制御できます。

お願い

指定のもの以外は使用しないでください。

お知らせ

センサーユニットを接続した場合、本機のリモコン受光部は動作しません。

⑦ DisplayPort 入力コネクタ 1/2

デジタル映像インターフェースの DisplayPort 出力コネクタと接続します。

⑧ DisplayPort 出力コネクタ

DisplayPort 信号出力。

⑨ HDMI 入力コネクタ 1/2 (HDMI 1 (ARC)/HDMI 2)

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。HDMI 1 端子は ARC (オーディオリターンチャンネル) 機能に対応しています。ARC に対応した HDMI ケーブルを接続してください。

ARC 対応のオーディオ機器は HDMI 1 (ARC) 端子に接続してください。

お知らせ

ARC (オーディオリターンチャンネル) とは、音声を HDMI 端子からオーディオ機器に送る機能です。

付属の ARC 対応 HDMI ケーブル 1 本で、本機の音声を AV アンプなど ARC 対応のオーディオ機器から出力することができます。付属のリモコンを使用してオーディオ機器の音声などを調節することができます。

⑩ HDMI 出力コネクタ

HDMI 信号出力。

⑪ USB ポート

各 USB ポートについては USB 機器との接続 (35 ページ) を参照ください。

USB-A (Hub/0.5 A) : ダウンストリームポート (USB Type-A)。

USB-B (Ctrl) : アップストリームポート (USB Type-B)。

Service (2A) : 電源供給用 / サービスサポート用。

カラーセンサー MDSVSENSOR 3 を接続することもできます。

⑫ オプション用スロット

インテル[®] SDM の仕様に対応した市販のオプションボードが装着できます。

お知らせ

対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

⑬ RS-232C 入力コネクタ (D-SUB 9 ピン)

コンピューターを接続します。詳細は本取扱説明書の「RS-232C 経由でのディスプレイ制御」を参照ください。

⑭ ハンドル

⑮ セキュリティースロット

セキュリティースロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。

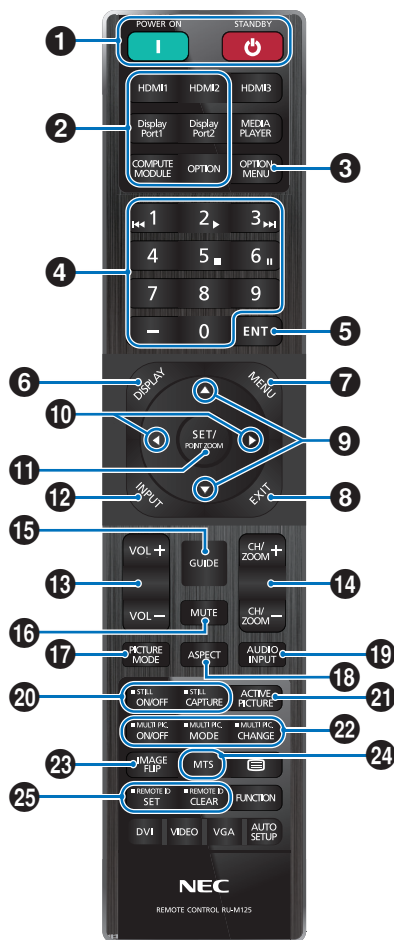
お知らせ

製品については、ケンジントン社のホームページを参照ください。

⑯ ラベル

⑰ 内蔵スピーカー

リモコン



❶ POWER ON ボタン / STANDBY ボタン

POWER ON ボタンで電源をオンにします。
STANDBY ボタンでディスプレイをスタンバイ状態にします。

❷ 入力切替ボタン

入力信号を選択します。
入力信号の名称は工場出荷時のものです。

❸ OPTION MENU ボタン

対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

❹ 数字ボタン

パスワードやリモコン ID の番号入力に使用します。
一部の数字ボタンを本機に接続した HDMI-CEC 機器の操作に使用します。

❺ ENT ボタン

選択を切り替えます。
オプションボードと一緒に使用します。この機能は、オプションボードがディスプレイに取り付けられているかどうかによって異なります。

❻ DISPLAY ボタン

画面情報を表示します。
OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」で「IR」をロックした場合、DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けるとロックを解除できます。

❼ MENU ボタン

OSD 画面をオン / オフします。

❽ EXIT ボタン

ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

❾ ▲ ボタン (アップボタン) ▼ ボタン (ダウンボタン)

OSD 画面の調節項目の選択、OSD 画面の表示位置の調節に使用します。

❿ ◀ ボタン (マイナスボタン) ▶ ボタン (プラスボタン)

OSD 画面で選択した項目の調節、OSD 画面の表示位置の調節に使用します。

⓫ SET / POINT ZOOM ボタン

SET : OSD 画面で調節した内容を決定します。
POINT ZOOM : OSD 画面が表示されていないときに、ポイントズーム機能を有効にします。詳細は本取扱説明書の「ポイントズーム機能」を参照ください。

⓬ INPUT ボタン

入力信号を切り替えます。
入力信号の名称は工場出荷時のものです。

⓭ VOL - ボタン (音量調節マイナスボタン) VOL + ボタン (音量調節プラスボタン)

音量の大 / 小を調節します。

⓮ CH / ZOOM - ボタン (チャンネル / ズーム調節マイナスボタン) / CH / ZOOM + ボタン (チャンネル / ズーム調節プラスボタン)

選択画面のサイズや、ポイントズーム機能で画像を拡大 / 縮小します。ポイントズームの詳細は本取扱説明書の「ポイントズーム機能」を参照ください。

⓯ GUIDE ボタン

オプションボード装着時に使います。ボタンの動きは、本機に装着したオプションボードにより異なります。

⓰ MUTE ボタン

音声や映像の出力をとめます。
もう一度押すと音声や映像を出力します。
詳細は「ミュート設定」(109 ページ)を参照ください。

17 PICTURE MODE ボタン

ピクチャーモードを選択します。

「標準」、「店舗」、「会議室」、「高輝度」、「交通機関」、「CUSTOM」から選択できます。

ピクチャーモードについての詳細は本取扱説明書の機能「ピクチャーモードの切り替え」を参照ください。

18 ASPECT ボタン

画像のアスペクトを「標準」、「フル」、「ワイド」、「1:1」、「ズーム」から選択します。

「ワイド」はHDMI1、HDMI2、OPTION(TMDS)*、COMPUTE MODULE*¹ 入力の場合のみ。

*： 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

*¹： 動作しません。

19 AUDIO INPUT ボタン（音声入力切替ボタン）

音声入力を各映像入力ごとに切り替えることができます。

「OPTION」音声入力は対応するオプションボードが搭載されている場合のみ選択可能です。

20 STILL ボタン（画面静止ボタン）

ON/OFF ボタン： スチル機能をオン/オフします。

CAPTURE ボタン： 静止画面を更新します。

お知らせ

- 本機能実行中に「アスペクト」、「マルチ画面」、「タイトルマトリクス」、「スクリーンセーバー」の「モーション」、ポイントズーム機能、「映像反転」、「高速入力切替」、「オーバースキャン」、「デュアルデジタイゼーションモード」、「音声入力」の設定を変更した場合、または「DisplayPort1」の「DisplayPort VERSION」を「1.4」に設定した場合、本機能は解除されます。
- 本機能は、「マルチ画面」、「スクリーンセーバー」の「モーション」、ポイントズーム機能、「タイトルマトリクス」、「映像反転」、「高速入力切替」、「デュアルデジタイゼーションモード」、「回転」、「DisplayPort1」の「DisplayPortバージョン」が「1.4」の場合、動作しません。
- 入力信号に「OPTION」を選択している場合は、対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

21 ACTIVE PICTURE ボタン

マルチ画面モードが動作している場合、選択画面を表示設定します。

22 MULTI PICTURE ボタン

ON/OFF ボタン： マルチ画面モードをオン/オフします。

MODE ボタン： 2PIP、2PBP、4PBP から表示形態を設定します。

CHANGE ボタン： 2PIP 選択時のみ映像を入れ替えます。

お知らせ

マルチ画面表示中に SET/POINT ZOOM ボタンを押すと、選択画面の表示サイズを変更できます。

23 IMAGE FLIP ボタン（映像反転ボタン）

画像を左右、上下反転、180°回転することができます。

「左右反転」、「上下反転」、「180°回転」、「オフ」の順に切り替わります。映像反転については [97 ページ](#) を参照ください。

24 MTS ボタン

オプションボード装着時に使います。ボタンの動きは、本機に装着したオプションボードにより異なります。

25 REMOTE ID ボタン（リモコン ID ボタン）

リモコンのモードを切り替えます。

ノーマルモード： モニター ID の設定に関係なく、ディスプレイをリモコン制御できます。

ID モード： リモコン ID と同じ番号のモニター ID を持つディスプレイのみをリモコンで制御できます。

SET ボタン： 2秒以上押し続けると、リモコンをIDモードにします。
ボタンを押しながら 0 ~ 100 までの数字を入力すると、リモコン ID が設定できます。

CLEAR ボタン： 2秒以上押し続けると、ノーマルモードになります。

お知らせ

- 説明のないボタンは動作しません。
- 一部のボタンは HDMI-CEC 機器の操作に使用します (CEC(Consumer Electronics Control))。「CEC」の設定により対応するボタンは異なります。[90 ページ](#) を参照ください。

3 章 接続

この章の内容：

- ⇒ 配線図 (28 ページ)
- ⇒ コンピューターとの接続 (29 ページ)
- ⇒ HDMI 出力端子のある機器との接続 (30 ページ)
- ⇒ HDMI-CEC 対応コマンド (32 ページ)
- ⇒ 内部映像ソース (34 ページ)
- ⇒ USB 機器との接続 (35 ページ)

お願い

本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルを抜き差ししないでください。

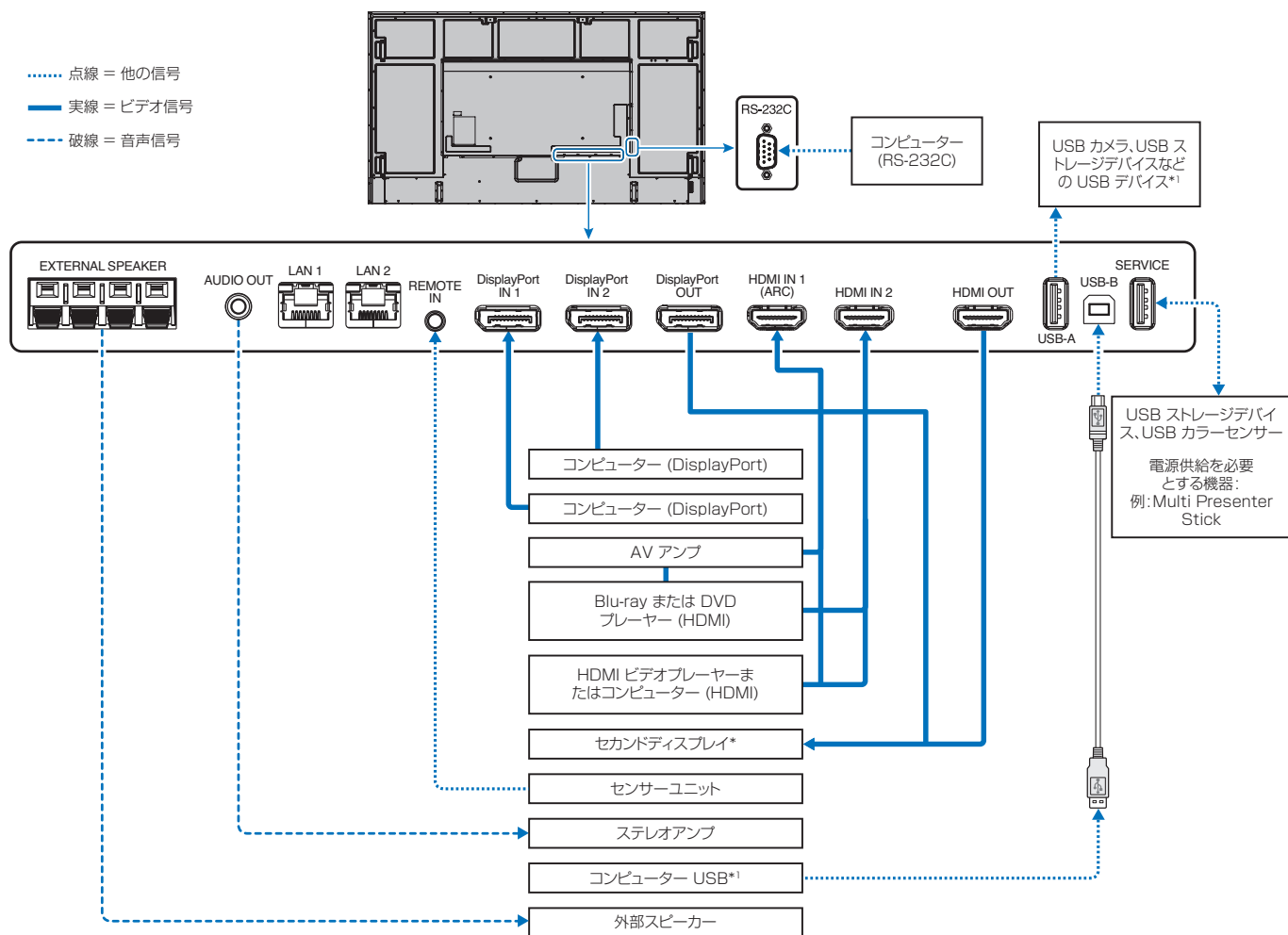
接続する前に

- コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 接続するオーディオ機器端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。
- 抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなったり、音が出ない場合があります。
- USB ストレージデバイスは本機の主電源がオフのときに抜き差しすることをおすすめします。

配線図



*: 複数のディスプレイをデジーチェーン接続する場合には、接続可能なディスプレイの数に制限があります。

*1: USB-B に接続したコンピュータから USB-A に接続した機器を使用することができます。

コンピューターとの接続

HDMI 出力機器との接続

本機は HDMI 出力付きプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。

- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- HDMI 出力付きコンピューターと接続して使用する場合は、OSD メニューの「入力」→「アドバンスト」→「オーバースキャン」を「自動」もしくは「オフ」に設定してください。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。
- 入力信号が 4K(50 Hz/60 Hz) または HDCP 2.2 または HDR の場合は、OSD メニューの「入力」→「アドバンスト」→「HDMI」→「設定 2」を設定してください。
- 4K 信号を入力するときはハイスピード対応の HDMI ケーブルをご使用ください。

DisplayPort 出力機器との接続

本機は DisplayPort 出力付きコンピューターなどと接続して使用することができます。

詳しくは各コンピューターの取扱説明書を参照してください。

- DisplayPort ケーブルは DisplayPort 認証ロゴがついているものを使用することを推奨します。
- DisplayPort 出力コネクタの使用については、「映像出力」を参照してください。[62 ページ](#)を参照してください。
- コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブルはロック付きのものがあります。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を DisplayPort に接続しても映像が表示されない場合があります。
- DisplayPort オーディオを出力するには、OSD の「音声入力」で「DisplayPort 1」または「DisplayPort 2」を設定するか、リモコンの AUDIO INPUT ボタンを使用して「DisplayPort 1」または「DisplayPort 2」を選択します。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。
- 8K 信号を入力するときは 8K ロゴのついた DisplayPort ケーブルをご使用ください。

HDMI 出力端子のある機器との接続

Blu-ray プレーヤー、ストリーミングメディアプレーヤーやゲーム機器などの高品質の映像と音声を 1 本の HDMI ケーブルで接続して使用することができます。接続した映像機器が 4K UHD の品質に対応している場合、コンテンツは 4K UHD で表示されます。

本機の映像入力機能は HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) で保護された映像コンテンツに対応しています。

お知らせ

- 対応信号は対応信号一覧 (83 ページ) を参照ください。
- HDMI ケーブルを接続するときは、HDMI 機器と本機の電源をオフにします。
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI の仕様により、お使いの HDMI ケーブルや HDMI 機器では映像を正しく表示することができない場合があります。
- HDCP の規格が変更された場合など、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。
- 4K 信号を入力するときはハイスピード対応の HDMI ケーブルをご使用ください。

ARC 機能のあるオーディオ機器との接続

付属の ARC 対応 HDMI ケーブルを使用して本機の HDMI1 (ARC) 端子と ARC 対応のオーディオ機器を接続することにより、オーディオ機器に接続しているスピーカーから音声を聴くことができます。

- HDMI1 (ARC) 端子から出力される音声信号には、OSD メニューの音声設定の調節は反映されません。
- ARC が有効になっているとき、本機内蔵のスピーカーまたは本機に接続した外部スピーカーから音声は出力されません。

HDMI-CEC (Consumer Electronics Control)

HDMI-CEC により、HDMI ケーブルで接続した映像機器と本機との間のコントロール連携が可能になります。例えば、Blu-ray プレーヤーの電源をオンにするとディスプレイの電源もオンになり、リモコンを使わずに映像入力を Blu-ray プレーヤーに切り替えることができます。ただし、すべての機器間でコントロールが連携されるわけではなく、映像機器のメーカーによっては自社製のディスプレイやテレビのみにコントロールを連携する場合があります。「HDMI-CEC 対応コマンド」(32 ページ) を参照してください。

映像機器と本機のコントロールが連携すると本機リモコンで映像機器を操作できます。

お知らせ

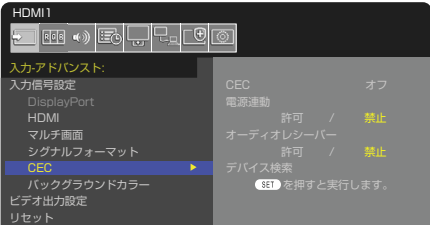
OSD メニューを使って CEC に関する設定を連携することができます。CEC に関する設定は、ディスプレイの Web ページから設定することもできます。

CEC を有効にする

1. HDMI-CEC 対応機器を HDMI 端子に接続する。
リモコンの HDMI ボタンを押してください。
2. MENU ボタンを押して OSD 画面を表示する。
3. OSD メニューの「入力」→「アドバンスト」を選択する。
4. OSD メニューの「CEC」→「設定 1」または「設定 2」を選択する。(91 ページ)
5. OSD メニューの「デバイス検索」→SET を選択する。
デバイス検索が完了すると、機器を接続した HDMI コネクタとデバイス名が表示されます。
CEC 対応機器が検出されなかったときは、以下をご確認ください。
 - ・ 機器が接続されているか
 - ・ 機器の電源がオンになっているか
 - ・ 機器が CEC に対応しているか
 - ・ CEC が有効になっているか機器のメーカーによっては、CEC 機能を別の呼びかたで示している場合があります。機器の取扱説明書を参照ください。
6. リモコンの EXIT ボタンを押す。

HDMI-CEC 対応コマンド

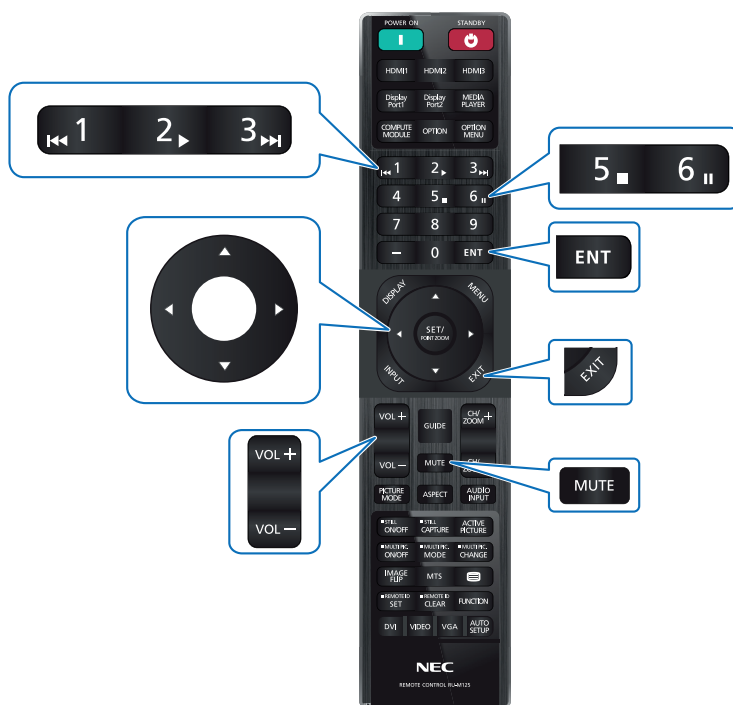
HDMI-CEC 対応機器を HDMI 端子に接続してください。

OSD メニュー	HDMI-CEC コマンド	動作内容	操作手順
CEC (Consumer Electronics Control)	One Touch Play	HDMI-CEC 対応機器の電源をオンにすると、HDMI ケーブルで接続されたディスプレイの電源がオンになります。入力端子が対象の HDMI に自動で切り替わります。ディスプレイの電源が既にオンしている場合は「入力」のみ切り替わります。	 <p>CEC メニューの設定は以下です。 ▲/▼ ボタンで「入力」→「アドバンスド」→「CEC」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「CEC」を選択します。 ◀/▶ ボタンで「設定 1」または「設定 2」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「設定 1」または「設定 2」を選択します。</p>
	Remote Control Pass Through	リモコンによるボタン操作などを HDMI ケーブルで接続した HDMI-CEC 対応機器に転送することができます。 例) リモコンにて、HDMI-CEC 対応機器のメニューの一部を操作します。	
	Power Status	接続されている HDMI-CEC 対応デバイスから本機がオン状態にあるかスタンバイ状態にあるかの情報を取得する機能です。	
	System Information	接続されているデバイスの情報 (CEC version, Physical Address など) を取得する機能です。また本機の OSD 言語を切り替えたら、接続しているデバイスのメニュー言語も追従して切り替わる「Change Language」機能に対応します。(Change Language 機能は接続されるデバイスが多言語対応している必要があります。)	
電源連動	System Standby	リモコンにてディスプレイの電源をオフにすると、HDMI ケーブルで接続された HDMI-CEC 対応機器も連動して電源がオフになります。 接続されているレコーダーが TV 番組を録画している場合は、ディスプレイからのシステムスタンバイの信号によらず、レコーダーの電源はオン状態のままとなる場合があります。 詳しくは、レコーダーのマニュアルを参照ください。	▲/▼ ボタンで「電源連動」を選びます。 ◀/▶ ボタンで「許可」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「許可」を選択します。
オーディオレシーバー	System Audio Control	ARC 対応のオーディオ機器を付属の ARC 対応 HDMI ケーブルを使用して本機の HDMI 1 (ARC) 端子に接続してください。リモコンにある VOL+/VOL- ボタンを操作することで、HDMI ARC 対応のオーディオ機器に接続されているスピーカーの音量を調節することができます。このとき本機内蔵のスピーカーまたは本機に接続した外部スピーカーから音声は出ず、MUTE 状態になります。	▲/▼ ボタンで「オーディオレシーバー」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「オーディオレシーバー」を選択します。 ◀/▶ ボタンで「許可」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「許可」を選択します。
デバイス検索	Device OSD Name Transfer	接続されているデバイスの名称を取得する機能です。	▲/▼ ボタンで「デバイス検索」を選びます。 SET/POINT ZOOM ボタンで SET を選択します。
	Routing Control	デバイス検索で表示された名称を選択し、HDMI-CEC 操作対象のデバイス入力を切り替える機能です。入力を切り替えた後のリモコン操作は選択したデバイスにのみ転送します。	

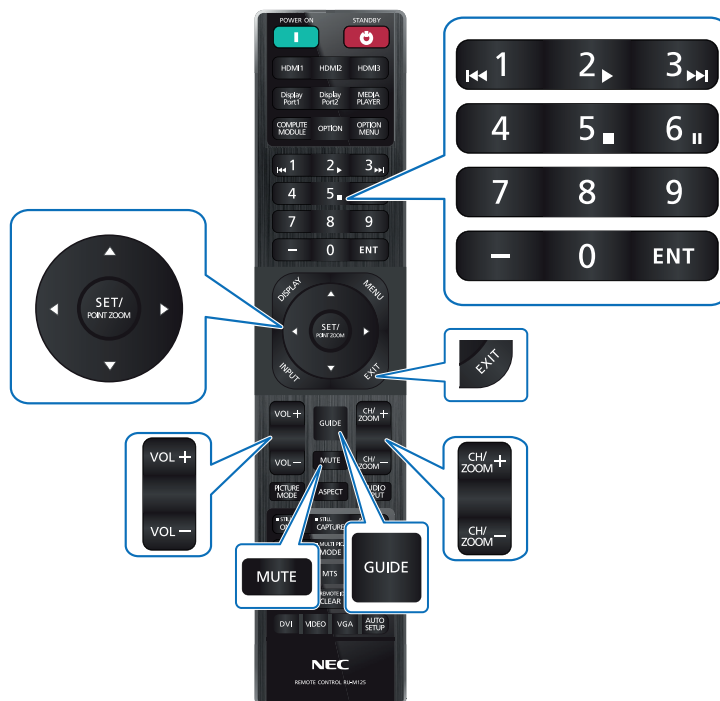
本機の CEC 機能は Feature Abort に対応しています。
 詳細は本取扱説明書の「配線図」を参照ください。

HDMI-CEC リモコン対応ボタン

■ HDMI-CEC 「設定 1」



■ HDMI-CEC 「設定 2」



内部映像ソース

本機で使用できるオプションボード

オプションボードをディスプレイに装着すると、OSD メニューの「入力」に使用可能デバイスとして表示されます。オプションボードはそれぞれ別個に使用可能で、ディスプレイに装着する必要があります。この取扱説明書は、オプション機器なしでのディスプレイの使い方を説明しています。オプションボードの装着場所は、ターミナルパネル（23 ページ）に記載されています。オプションボードについての詳細は、付属の取扱説明書または当社 Web サイトを参照ください。

お知らせ

使用可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

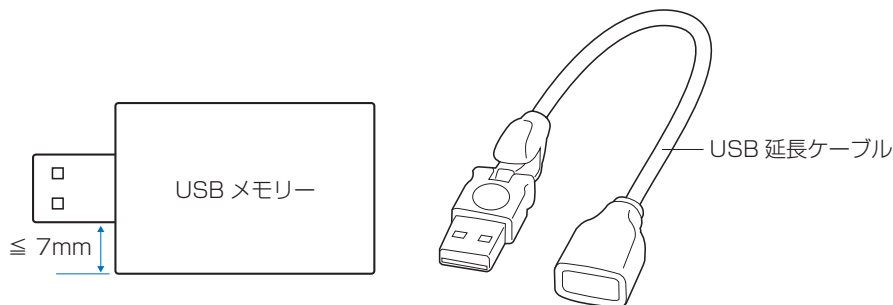
対応 USB ストレージデバイス

本機に接続した USB ストレージデバイスが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。使用する USB ストレージデバイスは、FAT32 形式フォーマットにしてください。フォーマット方法については、お使いの Windows[®] の取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。

使用する USB ストレージデバイスのサイズは下図を参照ください。

これより大きいサイズを使用する場合は市販の USB 延長ケーブルをご使用ください。

本体の USB ポートに USB ストレージデバイスを接続してください。



お知らせ

- 市販されているすべての USB ストレージデバイスの動作を保証するものではありません。

USB 機器との接続

本機は、以下の USB ポートを装備しています。

USB-A (Hub/0.5A) : USB ダウンストリームポート (Type-A)。

外部 USB デバイスによって使用される接続 (カメラ、フラッシュメモリ、キーボードなど)

USB-B (Ctrl) : USB アップストリームポート (Type-B)。

コンピューターとの USB ケーブルによる接続。USB-B (Ctrl) に接続された USB 互換のコンピューターは USB-A (Hub/0.5A) ポートに接続されたデバイスを制御できます。

Service (2A) : 電源供給用 / サービスポート用。

このポートはソフトウェア アップグレード用です。

HDMI ストリーミングメディアや MultiPresenter Stick などの接続された USB デバイスに 2A の電源を供給します。実際の電力消費量は接続されたデバイスにより異なります。必ず 2A をサポートしている USB ケーブルを使用してください。

OSD の「システム」メニューで「USB」設定の「USB 電源」を有効にします。[109 ページ](#)を参照してください。

電源供給情報については仕様ページを参照してください。[82 ページ](#)を参照してください。

「クローン設定」を使用する際はこのポートに USB ストレージデバイスを接続してください。

お願い

Service (2A) ポートにカラーセンサーを接続している場合は「USB」の「外部制御」を「禁止」に設定してください。

お願い

- USB ケーブルのコネクタ形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- 本機の電源がオンのときに USB ストレージデバイスを本機に接続 / 取り外ししないでください。本機の故障やデバイスに保存されたファイルの破損を避けるために、本機の電源がオフのときにデバイスの接続 / 取り外しをすることをおすすめします。

4 章 基本操作

この章の内容：

- ⇒ 電源オンモードと電源オフモード (37 ページ)
- ⇒ リモコンの使用範囲 (38 ページ)
- ⇒ パワーマネージメント機能 (38 ページ)
- ⇒ インフォメーション (39 ページ)
- ⇒ Plug&Play 機能 (DisplayPort および HDMI) (39 ページ)
- ⇒ ピクチャーモードの切り替え (39 ページ)
- ⇒ アスペクト変更 (40 ページ)
- ⇒ ポイントズーム機能 (41 ページ)
- ⇒ 画面調節 (OSD 機能) (42 ページ)

電源オンモードと電源オフモード

本体の  ボタン、またはリモコンの POWER ON ボタンを押して本機をオンにします。

本体の電源ランプが、電源の状態を示します。電源ランプと本機の状態とその復帰方法については、以下の表を参照ください。

電源ランプ色と点灯パターン	状態	復帰方法
青色点灯	通常動作時	
緑色点滅* ¹	選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合で以下の状態のどれかを満たした場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ オプションボードが装着されている場合*² ・ 「USB 電源」が「オン」になっている場合 ・ 「スロット電源」が「オン」になっている場合 ・ 「CEC」の「電源連動」が「許可」になっている場合 ・ 「DisplayPort バージョン」が「1.2 MST」または「1.4 MST」になっている場合 ・ 「クイック起動」が「許可」になっている場合 	(1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 (2) 映像信号を入力する
橙色点灯	ネットワーク信号があり、選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	
橙色点滅	ネットワーク信号および選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	
赤色点灯	ネットワーク機器や映像信号機器との接続状態に関わらず、リモコンなどで本機をオフした場合	(1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。

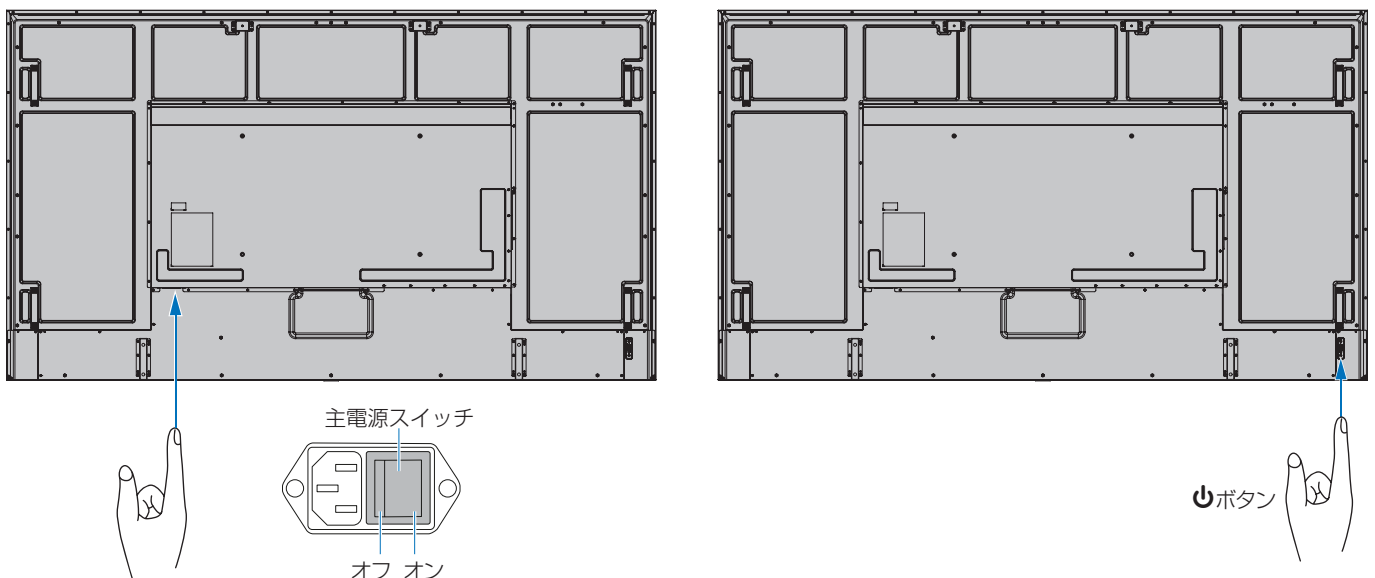
*¹：本機がパワーセーブに移行する時間は、OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「設定時間」で設定できます。

*²：「スロット電源」が「オン」か「自動」の場合。

お知らせ

- ・ 電源ランプが短い点灯と長い点灯の組み合わせで赤色に点滅した場合は故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
- ・ 通常動作時は青色に点灯します。電源ランプを消灯したい場合は「システム」→「電源ランプ」で「オフ」を設定してください。

主電源スイッチがオン (|) になっていることを確認してから操作してください。



リモコンの使用範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

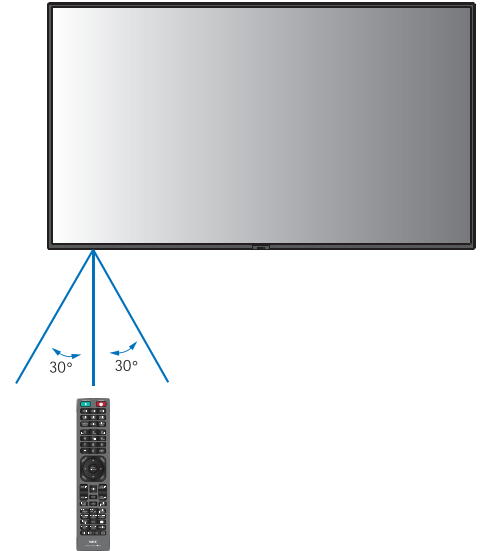
リモコンは、リモコン受光部から 7 m 以内、上下左右 30° では 3.5 m 以内でご使用ください。

お知らせ

リモコンの使用については「リモコンで操作できない」(81 ページ) をあわせて参照してください。

リモコンの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- 電池交換のとき以外はリモコンのふたを開けないでください。



パワーマネージメント機能

本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「パワーセーブ」で「許可」に設定した場合、入力信号が失われてから設定した時間が経過すると、自動的にパワーマネージメント機能に入ります。

お知らせ

- お使いのコンピューターやビデオカードによっては、パワーマネージメント機能が働かないことがあります。
- 映像信号が途絶えると、設定した時間の経過後ディスプレイは自動的にオフになります。
- 本機の電源オンおよびスタンバイ状態へ移行するまでのスケジュールを設定することができます。45 ページを参照ください。
- パワーマネージメント機能に関しては「保護設定」→「パワーセーブ設定」を参照ください。

インフォメーション

リモコンの DISPLAY ボタンを押すと、選択されている映像入力端子などの情報を表示します。

④ MONITOR ID:1
IP ADDRESS: 192.168.0.10

HDMI1
3840 x 2160@60Hz
HDR

- ① 入力名称
- ② 解像度情報
- ③ HDR 情報
- ④ IP/ID 情報*

* 「IP/ID 情報」が「オン」の場合：
緑表示 - LAN 接続時
赤表示 - LAN 非接続時

Plug&Play 機能 (DisplayPort および HDMI)

VESA の DDC (Display Data Channel) 2B 規格または DisplayPort 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書を参照ください。

お知らせ

入力で HDMI1 以外は、主電源がオフになっていると DDC 通信はできません。

ピクチャーモードの切り替え

リモコンの PICTURE MODE ボタンで選択する場合

ボタンを押すと各表示モードが「標準」、「店舗」、「会議室」、「高輝度」、「交通機関」、「CUSTOM」で切り替わります。

ピクチャーモードは、ディスプレイの一般的な使用を前提としてあらかじめ設定されています。ピクチャーモード設定については「ピクチャーモードの使い方」(53 ページ)を参照してください。

アスペクト変更

OSDメニューの「映像設定」→「アドバンスト」→「アスペクト」またはリモコンのASPECTボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

DisplayPort1、DisplayPort2、OPTION(DisplayPort)*¹ 選択時

- 「フル」→「1:1」→「ズーム」→「標準」



HDMI1、HDMI2、OPTION(TMDs)*¹、COMPUTE MODULE*² 選択時

- 「フル」→「ワイド」→「1:1」→「ズーム」→「標準」



*¹: 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

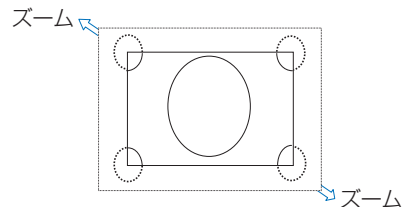
*²: 動作しません。

画面のアスペクト	変更前* ³	推奨されるアスペクト設定* ²	説明
4:3		「標準」	 比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
スクイーズ		「フル」	 比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
レターボックス		「ワイド」	 16:9 レターボックス信号を画面いっぱいに表示します。

*³: 図の灰色の部分は画像表示に使用されない領域です。

「1:1」：画像サイズそのままに表示します。

「ズーム」：画像は、画面の有効表示領域を超えて拡大されます。有効表示領域を超えた部分は見ることはできません。



お知らせ

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいてアスペクト変更等を利用して画面を圧縮したり引き伸ばすと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意願います。
- もとの信号と異なる画面のアスペクトで使用したいときは画面に歪みが発生します。
例) 4:3 信号をフルにした場合は横長画面となります。

ポイントズーム機能



リモコンのSET/POINT ZOOM ボタンを使って画像の一部を拡大して表示することができます。

CH/ZOOM + ボタンまたは CH/ZOOM - ボタンで拡大、縮小を調節します。1 ~ 10 倍まで拡大することができます。

1. リモコンのSET/POINT ZOOM ボタンを押します。アイコンが拡大鏡に変わります。
2. ▲、▼、◀、▶ ボタンで拡大したい部分にアイコンを移動します。
3. CH/ZOOM + ボタンを押すとアイコンの位置を中心に画像が拡大します。CH/ZOOM - ボタンを押すと縮小します。
4. SET/POINT ZOOM ボタンまたは EXIT ボタンを押すと、拡大鏡アイコンが消えます。
5. EXIT ボタンを押すと、画像が元のサイズに戻ります。
6. MENU ボタンを押すと OSD メニューを表示します。

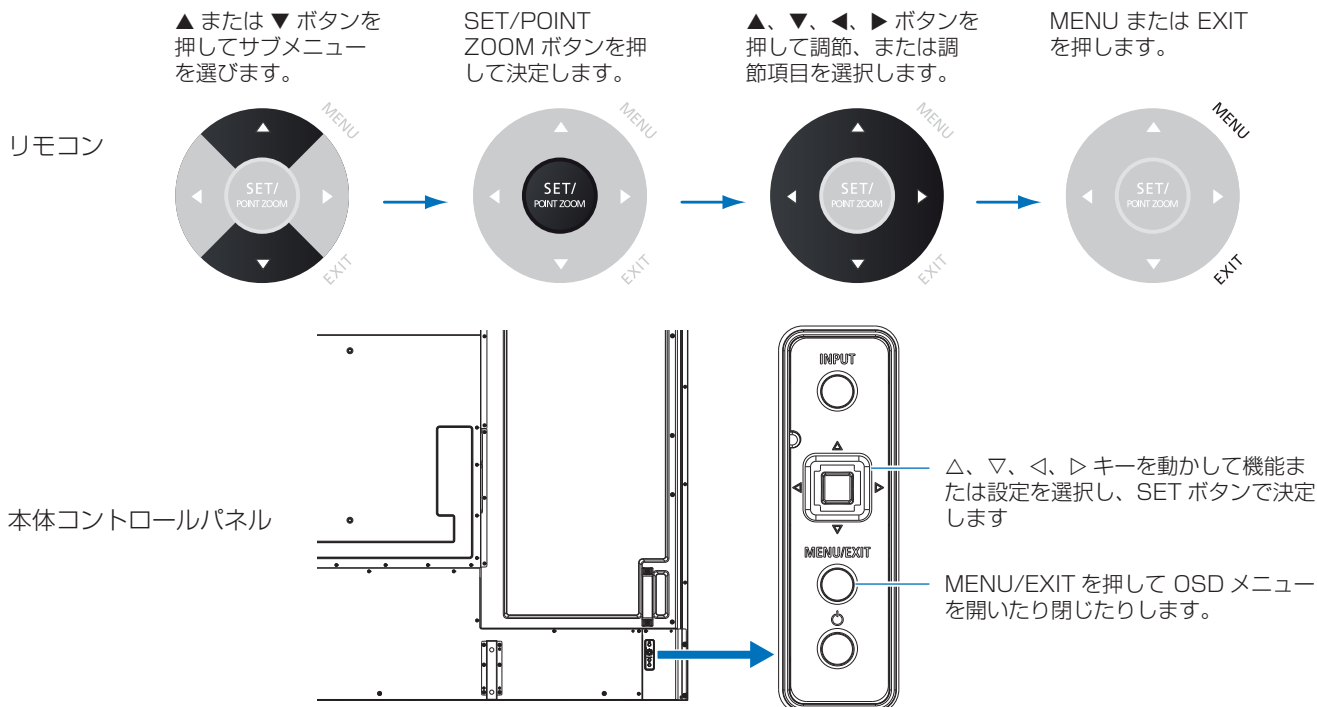
お知らせ

- ポイントズーム機能を有効にすると「アスペクト」の「ズーム」は解除され、フルの表示で動作します。ポイントズーム機能解除後は、元の設定に戻ります。
- ポイントズーム機能動作時に「アスペクト」の設定を変更すると「ズーム」はフルで表示します。
ポイントズーム機能動作時にスチル機能は動作しません。
- 倍率を切り替えると画像が乱れることがあります。
- 以下の機能が設定されている場合、ポイントズーム機能は動作しません。
「スクリーンセーバー」の「モーション」、「タイルマトリクス」、「マルチ画面」、「映像反転」、「高速入力切替」、「CEC」が「設定 1」または「設定 2」、「デュアルデジチェーンモード」、「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4」、「回転」。
- 拡大鏡アイコンは画像が表示されていない部分には移動できません。
- ポイントズーム機能で拡大した表示設定は保存されません。EXIT ボタンを押すと元の表示状態に戻ります。また入力信号を切り替えた場合、または本機の電源をオフした場合、スタンバイ状態から復帰した場合も元の表示に戻ります。
- DisplayPort 入力信号の解像度 4K(60 Hz) 10 ビットの信号はポイントズーム機能を使用できません。
- 本機能が動作中に以下機能を設定すると、本機能は解除されます。
「スクリーンセーバー」の「モーション」、「タイルマトリクス」、「マルチ画面」、「映像反転」、「高速入力切替」、「CEC」が「設定 1」または「設定 2」、「デュアルデジチェーンモード」、「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4」、「音声入力」、「回転」。

画面調節 (OSD 機能)

本機には画面の調節が簡単にできる OSD (On Screen Display) 機能がついています。
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節などを設定します。

OSD 画面の構成 OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。



以下に、各 OSD メニュー項目の機能を簡単に示します。メニュー内容の詳細は「OSD 調節リスト」(87 ページ)に一覧表示されています。



入力：入力信号に関する設定です。



映像設定：規定のピクチャーモードの選択、色設定の手動調節、アスペクト比調節など、映像に関する設定です。



音声設定：音量やバランス、イコライザーの調節など、音声に関する設定です。



スケジュール：本機電源制御のスケジュール作成、サマータイムの設定およびオフタイマーの設定です。



スロット：装着したオプションボードに関する設定です。



ネットワーク：ネットワーク情報、セキュリティなどに関する設定です。



保護設定：冷却ファンの制御設定、パワーセーブおよび電源オンへの移行時間設定、アラートメールなどに関する設定です。



システム：ディスプレイインフォメーション表示、日付時刻や言語などの設定や、工場出荷時状態へのリセットができます。

5 章 高度な操作

この章の内容：

- ⇒ 電源スケジュールの作成 (45 ページ)
- ⇒ 高度な色補正機能 (46 ページ)
- ⇒ その他のピクチャーモードの使い方 (53 ページ)
- ⇒ セキュリティー設定とボタン操作のロック (54 ページ)

電源スケジュールの作成

スケジュール機能により、本機の電源オンとスタンバイ状態を任意の時刻に切り替えることができます。

スケジュールの作成：

- OSD メニューの「スケジュール」を表示する。
 - リモコンの▲/▼ ボタンで「スケジュール設定」(100 ページ) を選択します。
 - SET/POINT ZOOM ボタンまたは▶ ボタンを押して「設定」に移動します。
 - ◀/▶ ボタンでスケジュール番号を選択し、SET/POINT ZOOM ボタンを押します。
 - 番号のとなりの四角が黄色表示になります。これで、スケジュールの作成が可能になります。
- ▼ ボタンで「電源制御」を選択し、◀/▶ ボタンで「オン」を選択する。電源オフのスケジュールを設定する場合は「オフ」を選択します。
- ▼ ボタンで「時刻」を選択し、◀/▶ ボタンで時刻を設定する。
- ▲/▼ ボタンで「入力」を選択し、◀/▶ ボタンで入力信号を選択する。
- ▼ ボタンで「日付」、「毎週」、を選択し、作成するスケジュールに対応するメニュー項目を選択して SET/POINT ZOOM ボタンを押す。

特定の日にスケジュールを設定するときは「日付」にカーソルを合わせ、SET/POINT ZOOM ボタンを押します。
特定の曜日にスケジュールを設定する場合は上下ボタンで「毎週」を選択して SET/POINT ZOOM ボタンを押します。
続けて特定の曜日を設定します。
- ひとつのスケジュールの作成が完了すると、別のスケジュールの作成が可能になる。MENU ボタンを押して OSD メニューを終了するか、EXIT ボタンを押してひとつ前の OSD 画面に戻る。



お知らせ

- 「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付/時刻設定」で現在の日付を設定してください。
- スケジュール設定画面を閉じると設定した値が保存されます。
- 複数のスケジュールが同時刻に設定されている場合は、プログラム番号の大きいスケジュールを優先します。
- 「オフタイマー」が動作中の場合は、「スケジュール設定」を実行しません。
- 入力が有効でなくなると、そのテキストが赤色で表示されます。たとえば、入力がスケジュールに選択された後、「ビデオ出力設定」の「デュアルデジチェーンモード」が「許可」のときや「自動入力切替」が「CUSTOM DETECT」のときに、スケジュールで設定されている入力が設定されていない場合は、入力切り替えが無効になります。
- スケジュール設定画面を開いている間スケジュールは実行されません。

本機に日付と時刻を設定する：

- タイムゾーン設定：** 本機を使用する地域と UTC (Universal Time, Coordinated) (協定世界時) との時差を設定します。
- 初期値：+00:00
 - 日本国内で使用する場合は「+09:00」と設定してください。
- インターネット時刻サーバー：** ネットワーク上の NTP サーバーから日付と時刻を取得し、設定します。
- ネットワーク上の NTP サーバーと同期して、正しい時刻を取得するときは「インターネット時刻サーバー」を「オン」にしてください。そして NTP サーバーの IP アドレス、またはホスト名を入力し、「更新」を行ってください。

お知らせ

- 本機の電源コードを外したあとそのまま約 1 週間経過すると、日付と時刻が初期化され時計機能は停止します。初期化されると、日付は「2020年1月01日」に、時刻は「00:00」になります。時計機能が停止した場合は、「日付/時刻設定」を再度行ってください。

高度な色補正機能

本機は、独自の色補正機能である SPECTRAVIEW ENGINE (SVE) を内蔵しています。工場出荷時の測定で得られたディスプレイ個々の特性を考慮しながら周囲温度や経年劣化による影響を補正し、色や輝度の均一性、精度、安定性において良い状態を維持します。

Adobe® RGB や sRGB などの正確な色再現、ICC プロファイルと 3 次元ルックアップテーブルを使用したプリンター出力エミュレーション機能など、さまざまなカラーマネジメント機能を備えています。

SVE の動作はオンモードとオフモードがあります。

リモコンによる SPECTRAVIEW ENGINE のオン / オフの切り替え：

1. リモコンの MENU ボタンを押す。
2. OSD メニューの「映像設定」→「SPECTRAVIEW ENGINE」を選択する。
▲、▼、◀、▶ ボタンで OSD メニューを操作します。
3. 「オン」または「オフ」にカーソルを合わせ、SET/POINT ZOOM ボタンを押し、SPECTRAVIEW ENGINE を有効または無効にする。
4. EXIT ボタンを押して「映像設定」メニューのトップに戻る。

SPECTRAVIEW ENGINE の使い方

SVE がオンの場合、本機の内部プロセッサがカラーマネジメント機能を実行し、高度なレベルの色や輝度の調節が可能になります。白色点調節は CIE x, y 座標で制御し、グレースケール応答はディスプレイ自身が計算、管理します。

SVE には均一性の調節機能があり、任意の補正レベルを選択することにより、明るさと色の均一性を最大にするか、輝度（明るさ）を最大にするか選ぶことができます。

SVE は 5 つのピクチャーモードを記憶しており、それぞれ個別に設定、選択することができます。各ピクチャーモードに、自由にカスタマイズした色設定を保存しておくことができます。それにより、ピクチャーモードを変更するだけですばやく設定を切り替えることが可能になります。

SVE を使用することで、人間の異なる色覚特性を模擬的に表示したり、液晶ディスプレイの出力色域を任意に選択したりするといった高度な機能を実行します。

SVE の各ピクチャーモードの設定を変更する：

ピクチャーモード内のそれぞれの設定値は、次ページの「ピクチャーモードのプリセット一覧」の表にあるように、一般的な使用に対応できるようあらかじめ設定されています。SVE のピクチャーモードで任意のプリセットを選択すると、それ以外の設定値は選択したプリセットの初期値に置き替わります。また、各設定値は必要に応じて個別に設定することができます。

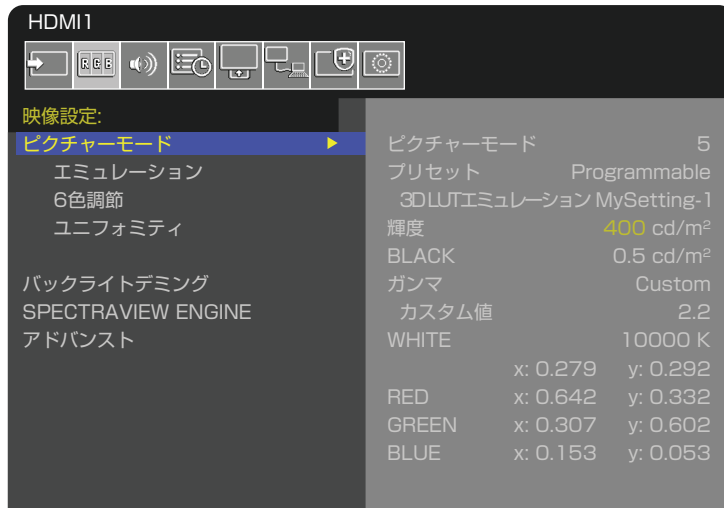
1. リモコンの MENU ボタンを押す
2. OSD メニューの「映像設定」→「ピクチャーモード」の順に操作する。
▲、▼、◀、▶ ボタンで OSD メニューを操作します。
3. ▶ ボタンを押して「ピクチャーモード」を選択する。
4. 「ピクチャーモード」で「1」から「5」のいずれかの設定を選択する。
• 1 → 2 → 3 → 4 → 5
 ↑
5. 「プリセット」でいずれかのプリセット項目を選択する。

本機に表示するコンテンツあるいは使用するソフトウェアにとって最適な項目を選択してください。

各ピクチャーモードにおける設定値として、輝度、BLACK（黒レベル）、ガンマ、WHITE（白色点の色温度、白色点の CIE x, y 色度）、RED（赤のプライマリー x, y 色度）、GREEN（緑のプライマリー x, y 色度）、BLUE（青のプライマリー x, y 色度）があります。OSD メニューの「ピクチャーモード」で設定をします。

設定値を変更するときは ▼ ボタンを押して変更したい設定値を選択し、◀/▶ ボタンで値を変更します。

6. EXIT ボタンを押して「映像設定」メニューのトップに戻す。



お知らせ

「ピクチャーモード」の各設定値を初期値から変更すると、プリセット名には*マークが表示されます。「プリセット」の初期設定値には影響しません。

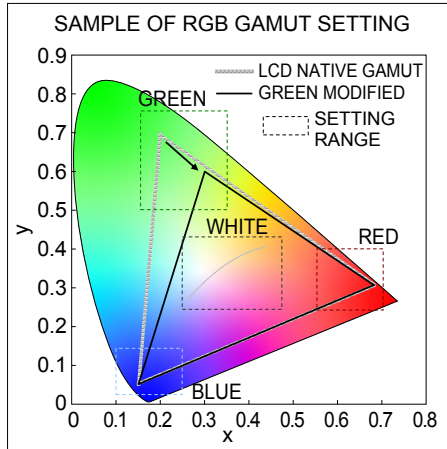
ピクチャーモードのプリセット一覧

プリセット	目的
sRGB	インターネット、Windows®、スマートフォン、デジタルカメラで標準的に用いられる設定です。一般的なカラーマネジメント用途におすすめします。
AdobeRGB	プロ用デジタルカメラ、印刷環境など高度なグラフィック用途で用いられる広色域設定です。
eciRGB_v2	ヨーロッパの印刷業界で用いられる色空間です。
DCI-P3	デジタルシネマに用いられる設定です。
Rec.709	HDTV 放送に用いられる設定です。
Rec.2100(HLG)	UHD 放送などの HDR 映像に適した設定です。
Rec.2100(PQ)	UHD パッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどの HDR 映像に適した設定です。
Low Blue	画面から発光されるブルーライトを低減し、目に優しい表示です。紙の見え方に近い設定です。
Signage	デジタルサイネージなどの明るい環境での使用に適した、高輝度・高色温度の色設定です。
TV Studio	ディスプレイの画面がカメラで撮影されるようなスタジオ撮影に適した色設定です。TV スタジオのような電球色照明に合った色合いで表示します。
Full	色空間の補正はせず、液晶パネルの特性で表示します。外部機器でカラーマネジメントをする際に適した設定です。
DICOM sim.	X 線画像の表示など医用画像の参照に適した画質設定です。実際の診断には使用しないでください。
Programmable	対応アプリケーションで名前を変更できます。

SpectraViewの設定

設定一覧	目的
輝度	画面の目標輝度を設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が黄色に変化します。
BLACK	画面の黒レベルを設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が黄色に変化します。
ガンマ	グレイスケールの見え方など、階調特性を設定します。
	sRGB : sRGB 用の設定です。
	L Star : L*a*b* 表示系で使われる設定です。
	Rec.1886 : HDTV 放送で使われる設定です。
	HDR-Hybrid Log : UHD 放送などの HDR 映像に適した設定です。システムガンマ値を設定できます。
	SYSTEM GAMMA : システムガンマ値を 0.5-2.0 の範囲で設定します。「自動」選択時は、「輝度」で設定した値に応じて自動的に設定されます。
	HDR-ST2084 (PQ) : UHD パッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどの HDR 映像に適した設定です。最大輝度値を設定できます。
	PEAK LUMI. : ST2084(PQ) 信号が持つ輝度情報のうち、表示する最大輝度値を設定します。数値を上げると白飛びが改善されますが、画面が暗くなります。「自動」選択時は、「輝度」で設定した値を最大輝度値として表示します。
	DICOM : 医用画像の参照に適した設定です。
	Programmable : 対応アプリケーションにより設定した階調特性を適用します。
Custom : カスタム値 : ガンマを数値で設定します。一般的な画像では 2.2 が使われます。数値を上げると中間色が暗くなり、数値を下げると中間色が明るくなります。	
<p style="text-align: center;">SAMPLE OF PRESET GAMMA</p>	
WHITE (K)	白色の色度を、色温度 (K) もしくは CIE x, y 座標で設定します。x 値を上げると赤味が、y 値を上げると緑味が、x、y 値を両方下げると青味がそれぞれ増加します。NATIVE は液晶パネルの白色を表示します。
WHITE (x, y)	
<p style="text-align: center;">WHITE RANGE</p>	

設定一覧	目的
RED (x, y)	ディスプレイの色域をつくる三原色(赤、緑、青)に関し、色度を CIE x, y 座標で設定します。白やグレーなど無彩色以外のすべての色に影響します。
GREEN (x, y)	
BLUE (x, y)	



お知らせ

- ピクチャーモードごとに、「エミュレーション」、「6色調節」、「ユニフォミティ」(92 ページ) の設定値が保存されます。
- コンピューターのカラー設定 (ICC プロファイル) とピクチャーモードの設定が異なる場合は正しい色再現性が得られません。

スタンドアロンキャリブレーション

スタンドアロンキャリブレーション機能

コンピューターを使わずにキャリブレーションできるため、ディスプレイの台数が少ないときのカラーマッチングに便利な機能です。カラーセンサーの測定値に基づいて画面の表示色を校正（キャリブレーション）し、「ピクチャーモード」の設定値に近づけます。SpectraView Engine 映像プロセッサの基準である工場出荷時のキャリブレーションデータが更新され、すべての「ピクチャーモード」の表示色が一度に校正されます。「ピクチャーモード」変更後に再実行する必要はありません。キャリブレーション結果に問題がある場合、データを工場出荷状態にリセットすることもできます。

スタンドアロンキャリブレーションを実行する際は、以下のセンサーが必要です。

- 当社の MDSVSENSOR 3 カラーセンサー：本体の Service (2A) ポートに接続してください。表示されるメッセージに従って操作すると、ディスプレイを自動的にキャリブレーションすることができます。MDSVSENSOR 3 の詳細は付録 A (86 ページ) を参照ください。

または

- 市販のカラーセンサー：測定値を CIE Y/x/y 単位 (Y 単位は cd/m^2) で表示できるセンサーをお使いください。表示色は手動で測定します。測定値を CIE Y/x/y で OSD に設定してください。「検証」と「白色コピー」は実行できません。

お知らせ

上記以外のカラーセンサーは対応していません。

お知らせ

- より正確なキャリブレーション結果が得られるよう、キャリブレーションや測定の開始前に本機を 30 分程度ウォームアップすることをおすすめします。
- MDSVSENSOR 3 の環境光測定用カバーを外した状態で測定してください。詳細は MDSVSENSOR 3 の取扱説明書を参照ください。
- MDSVSENSOR 3 カラーセンサーを本体の Service (2A) ポートに接続する必要があります。本機の設置の際は、ポートへの接続が可能になるようにスペースを空けておくことをおすすめします。
- 「ピクチャーモード」の設定値とカラーセンサーの測定値には微妙な差異が生じます。差異が生じる原因はカラーセンサーごとの特性差、温度や使用時間による表示特性の変化、測定する画面位置や入力信号の特性など様々です。
- 「スタンドアロンキャリブレーション」を実行するには「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」に設定されていることを確認してください。
- キャリブレーション後は画面の表示色が変化します。「ピクチャーモード」の設定値は変化しません。
- 「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オフ」のときの表示色には影響しません。

リモコンでスタンドアロンキャリブレーション画面の開き方

1. MENU ボタンを押す。
2. ▲、▼、◀、▶ ボタンで OSD メニューの「映像設定」→「SPECTRAVIEW ENGINE」を選択する。
3. 「オン」にカーソルを合わせ、SET/POINT ZOOM ボタンを押す。
4. 「キャリブレーション」にカーソルを合わせ、SET/POINT ZOOM ボタンを押す。
スタンドアロンキャリブレーション画面が開きます。
5. OSD メニューを選択し SET/POINT ZOOM ボタンを押す。
6. EXIT ボタンを押し OSD メニュー画面を閉じる。

OSD の指示に従い操作をします。



セルフキャリブレーション: カラーセンサーの測定値に基づいて画面の表示色をキャリブレーションします。

MDSVSENSOR 3 カラーセンサーを使用する場合、カラーセンサーを本体の Service (2A) ポートに接続し、カバーを開けてから画面の中央に置いてください。表示されるメッセージに従って操作するとディスプレイは自動的にキャリブレーションされます。

市販のカラーセンサーを使用する場合は、表示されるメッセージに従って画面中央の色を手動で測定し、測定値を CIE Y/x/y で OSD メニューに設定してください。Y 単位は cd/m^2 を使用してください。

製品の使用状況や環境により異なりますが、1 年に 1 回キャリブレーションを実行することをおすすめします。

キャリブレーションリセット: 「セルフキャリブレーション」の実行結果を削除し、工場出荷時のキャリブレーションデータに戻します。すべてのピクチャーモードの表示色に影響します。対応アプリケーションで画面ムラを調節した場合、そのデータも削除されます。「ピクチャーモード」の各設定値は変化しません。

検証: 画面の表示色を MDSVSENSOR 3 カラーセンサーで測定し、キャリブレーション状態が正しいか確認します。MDSVSENSOR 3 カラーセンサーを Service (2A) ポートに接続し、画面の中央に置いてください。多数のカラーパッチを使い、カラーセンサーで測定された画面の表示色と目標である「ピクチャーモード」設定値とを比較します。比較結果は平均色差 (CIE $\text{dE}2000$ 単位) で表示されます。大きな値は画面の表示色と「ピクチャーモード」設定値の差が大きいことを示します。平均色差が 3.0 を超えた場合はセルフキャリブレーションを実行し、表示色をキャリブレーションすることをおすすめします。
「セルフキャリブレーション」をあらかじめ実行してください。実行していない場合、「検証」は利用できません。

お知らせ

- 「セルフキャリブレーション」、「検証」、「白色コピー」は「DisplayPort 1」で「DisplayPort バージョン」が「1.4」の場合、実行できません。
- 「セルフキャリブレーション」と「検証」の詳細な結果はディスプレイに保存されており、対応アプリケーションで表示できます。実行時間を正しく記録するため、あらかじめ OSD メニューの「システム」→「日付 / 時刻設定」の「年」、「月」、「日」、「時刻」の設定をしてください。

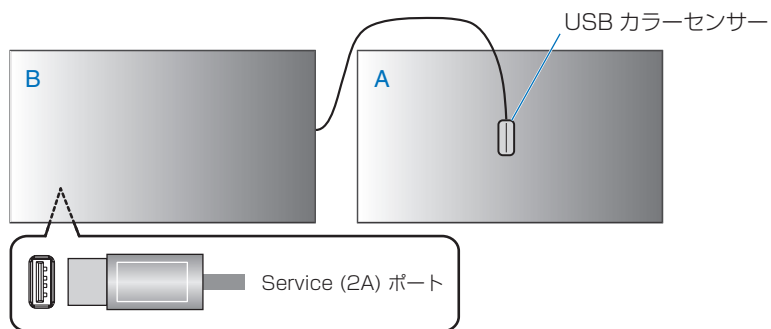
白色コピー：

基準にしたいディスプレイの白色を MDSVSENSOR 3 で測定し、マルチスクリーン構成時など、別のディスプレイと同じ白色となるよう「ピクチャーモード」の「輝度」と「White」を自動調節する機能です。ディスプレイを全て再度キャリブレーションすることなく、隣り合うディスプレイの白色を合わせることができます。

実行する前に、すべてのディスプレイに全白画面を表示してください。

調節したいディスプレイ (B) の Service (2A) ポートに MDSVSENSOR 3 を接続し、基準にしたいディスプレイ (A) の画面に MDSVSENSOR 3 を置きます。「白色コピー」を実行すると、ディスプレイ (A) の白色が測定され、測定値と一致するようディスプレイ B の白色が変化します。画面の色を確認しながら測定結果を微調節することもできます。測定値に戻したい場合は再測定を選択してください。

「セルフキャリブレーション」をあらかじめ実行してください。実行していない場合、「白色コピー」は利用できません。



ディスプレイA：基準となる白色を表示したディスプレイ
ディスプレイB：あわせたいディスプレイ

お知らせ

複数のディスプレイの色を調節する場合は、「白色コピー」より「セルフキャリブレーション」を実行することをおすすめします。

その他のピクチャーモードの使い方

SpectraView Engine がオフの場合、設定できるピクチャーモードが変化します。ピクチャーモードは「ピクチャーモード一覧」表のように一般的な用途に向けて設定されています。

ピクチャーモードを変更する：

OSD メニューの「映像設定」→「ピクチャーモード」、またはリモコンの PICTURE MODE ボタンで表示モードを選択します。

DisplayPort1、DisplayPort2、HDMI1、HDMI2、COMPUTE MODULE*²、OPTION*¹ 選択時

- 標準 → 店舗 → 会議室 → 高輝度 → 交通機関 → CUSTOM



*¹: 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

*²: 動作しません。

ピクチャーモード一覧

ピクチャーモード	目的
標準	標準の映像設定
店舗	サイネージ、ブランディングに適した映像設定
会議室	テレビ会議等に適した映像設定
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定
CUSTOM	任意の設定

お知らせ

OSD メニューの「映像設定」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。

セキュリティ設定とボタン操作のロック

通常、ディスプレイはリモコンや本体コントロールパネルのボタンを使って誰でも操作できます。セキュリティを設定し、ロックをかけることで、権限を持たない人による本機の使用や設定の変更を禁止することができます。

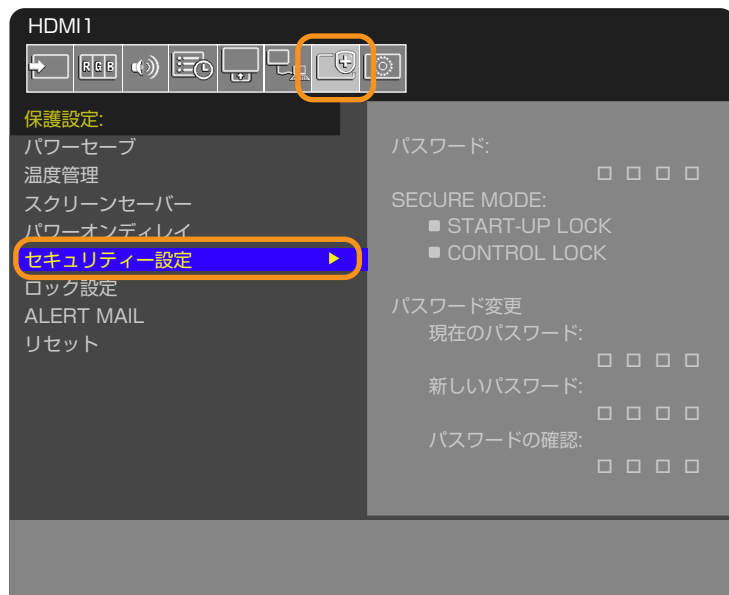
以下のセキュリティ機能、ロック機能を説明します。

- パスワードの設定
- パスワードによるセキュリティ機能を有効にする
- リモコンのボタン操作をロックする
- 本体コントロールパネルのボタン操作をロックする

設定メニューの表示位置

ディスプレイの OSD メニューを使ってセキュリティとロックに関する設定方法を説明します。セキュリティとロックに関する設定は、ディスプレイの Web ページにより設定することもできます。Web ページを使った OSD メニュー操作 (69 ページ) を参照してください。

セキュリティとロックの設定は OSD メニューの「保護設定」または、Web ページの「PROTECT」で設定します。



パスワードによるセキュリティ

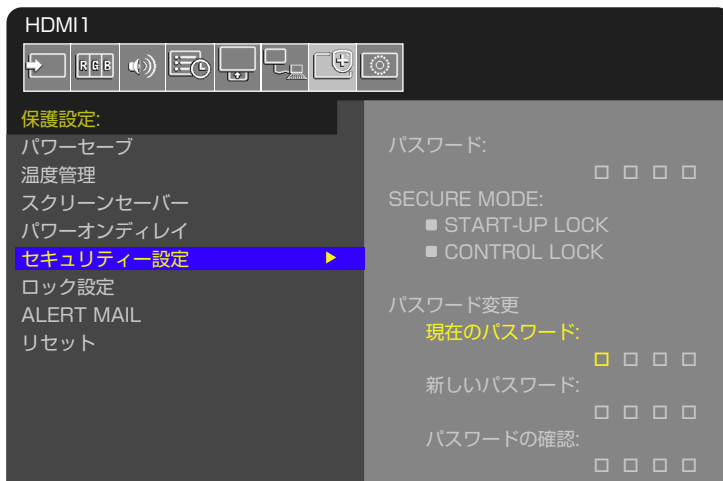
パスワードによるセキュリティを有効にすると、主電源をオンにするときや OSD メニューを表示するときには 4 桁のパスワード入力が必要になります。パスワードを入力すると、本機を通常どおりに使用できます。「OSD 時間」で設定された時間パスワードの入力が無いと、本機は自動的に SECURE MODE に入り、再度パスワード入力が必要になります。

お知らせ

パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを記録し安全な場所に保管してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ロックを解除するためのパスワードが必要になります。パスワードについては販売店にお問い合わせください。

本機のパスワードを設定する

パスワードを変更する場合、以下の手順で設定します。



1. OSD メニューの「保護設定」→「セキュリティ設定」→「パスワード変更」を選択する。
2. 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力する（パスワードの初期値：0000）。
3. 「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力し、「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力する。
4. 新しいパスワードが保存される。

パスワードによるセキュリティを有効にする



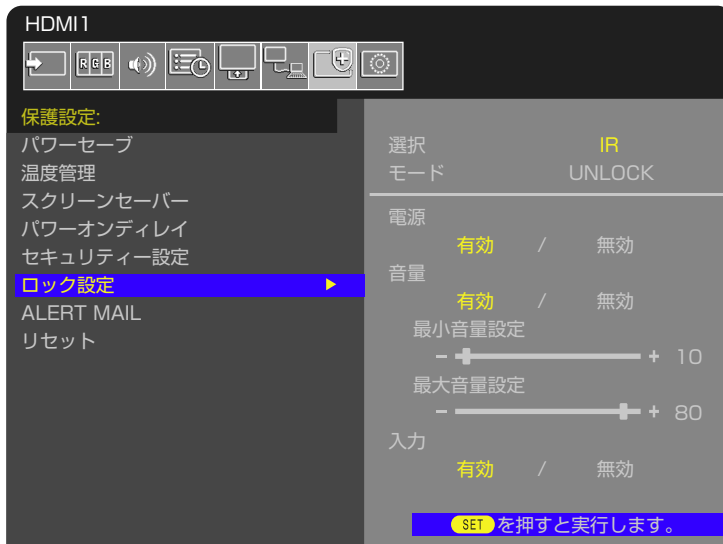
1. OSD メニューの「保護設定」→「セキュリティ設定」を選択する。
2. 「パスワード」にパスワードを入力し、「SECURE MODE」の設定に進む。
3. 「SECURE MODE」の種類を選択する。
 - START-UP LOCK – 主電源をオンにするときにパスワードが要求されます。
主電源スイッチの操作時や停電後の電源再投入時にのみパスワードが要求されます。リモコンや本体コントロールパネルの電源ボタンによる電源オン時、スタンバイ移行時はパスワードは要求されません。
 - CONTROL LOCK – リモコンや本体のボタンを押したときにパスワードが要求されます。

ボタン操作のロック

リモコンや本体コントロールパネルのボタン/キーを操作しても本機が動作しないようロックすることができます。設定の変更に必要なボタンにはロックをかけないようにすることもできます。ボタン操作のロックやロック解除時のパスワードは不要です。

リモコンのボタン操作をロックする

「ロック設定」により、リモコンのボタンによる本機の操作をロックします。「IR」を選択した場合、本体コントロールパネルのボタン/キー操作をロックすることはできません。



- OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「IR」を選択する。
- 「モード」でロックの有効範囲を選択する。
 - UNLOCK** – すべてのボタンが有効になります。
 - ALL LOCK** – すべてのボタンをロックします。
 - CUSTOM LOCK** – 以下のボタンは個別にロック設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。
 - 電源** – リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択すると電源ボタンは動作します。「無効」を選択すると電源ボタンはロックされます。
 - 音量** – リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択するとVOL +、VOL – ボタンで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。
 - 最小音量設定 / 最大音量設定** – 音量調節ボタンが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。「音量」は有効に設定しておいてください。
- 「SET」を選択する。

「SET」を押すと設定が反映されます。

お知らせ

「オーディオレシーバー」が「許可」の場合、本機能は動作しません。

- 入力** – 「有効」を選択すると入力切替ボタン、INPUT ボタンが動作します。入力切替ボタン、INPUT ボタンをロックするときは「無効」を選択します。

リモコンのボタン操作のロックを解除する

- リモコン** – ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、DISPLAY ボタンを5秒以上押してください。

本体コントロールパネル上のボタン / キー操作をロックする

「ロック設定」により、本体コントロールパネル上のボタン / キーによる本機の操作をロックします。「KEY」を選択した場合、リモコンのボタン操作をロックすることはできません。



- OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「KEY」を選択する。
- 「モード」でロックの有効範囲を選択する。
 - **UNLOCK** – すべてのボタン / キーが有効になります。
 - **ALL LOCK** – すべてのボタン / キーをロックします。
 - **CUSTOM LOCK** – 以下のボタン / キーは個別にロックの設定をし、それ以外のボタン / キーをすべてロックします。
 - **電源** – ボタン / キーをロックしても、「有効」を選択すると **⏻** ボタンは動作します。
 - **音量** – ボタン / キーをロックしても、「有効」を選択すると **</>** キーで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。
 - **最小音量設定 / 最大音量設定** – **</>** キーが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。「音量」は有効に設定しておいてください。

お知らせ

「オーディオレシーバー」が「許可」の場合、本機能は動作しません。
 - **入力** – 「有効」を選択すると **INPUT** ボタンで入力の切り替えが可能になります。
- 「SET」を選択する。

「SET」を押すと設定が反映されます。

本体のボタン / キー操作のロックを解除する

- **本体のボタン / キー** – ロックを解除して通常のボタン / キー動作に戻すには、本体コントロールパネルの **SET** キーと **MENU/EXIT** ボタンを同時に 3 秒以上押し、すべての本体コントロールパネルのボタン / キーのロックを解除できます。
- **OSD メニュー** – ロックを解除して通常の動作に戻すには、OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」で「KEY」を選択します。次に「モード」→「UNLOCK」→「SET」を選択します。

リモコンのボタンと本体コントロールパネル上のボタン / キー操作をロックする

- OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「KEY & IR」を選択する。
- 以降の設定手順やロックが有効になるボタン / キー、ロックの解除方法は「リモコンのボタン操作をロックする」と「本体コントロールパネル上のボタン / キー操作をロックする」を参照ください。

6 章 マルチディスプレイ設定

この章の内容：

- ⇒ マルチディスプレイ接続 (59 ページ)
- ⇒ 映像出力 (62 ページ)
- ⇒ リモコン ID モード機能について (63 ページ)

マルチディスプレイ接続

ディスプレイをマルチ接続（数珠つなぎ）して、ディスプレイ間でコントロールコマンドと映像信号を共有します。マルチ接続したすべてのディスプレイを使用して単一画面を表示します。制御系信号ケーブルと映像信号ケーブルをディスプレイ間で接続してマルチスクリーンの構成で設定をしますが、接続と構成について十分に検討した上で設置してください。接続する際は配線図（28 ページ）を参照ください。

マルチスクリーンの構成では OSD メニューおよび Web ページの「PICTURE」「SYSTEM」で設定が必要です。

- ・ **「映像設定 - アドバンスト」 - 簡単タイルマトリクス設定** - 100 台までのディスプレイを使用して単一画面が表示できます。親機で「水平モニター数：1 ~ 10」と「垂直モニター数：1 ~ 10」を入力することにより、マルチスクリーンを自動設定する機能です。以下の項目が自動設定されます。

OSD メニューの「水平モニター数」、「垂直モニター数」、「位置」、「DisplayPort バージョン」、「HDMI モード」、「ビデオ出力設定」と入力端子。

お知らせ

- ・ 「AUTO ID/IP 設定」の「モニター ID」が自動的に実行されます。
- ・ 簡単タイルマトリクス設定の実行時に「スクリーンセーバー」の「モーション」を実行すると簡単タイルマトリクス設定は解除されます。
- ・ 入力信号が DisplayPort4K(60 Hz) 10 ビットの場合、動作しません。



- ・ **「映像設定 - アドバンスト」 - タイルマトリクス** - 複数のディスプレイ（100 台まで）に、信号分配増幅器を介して単一画面を拡大表示します。マルチスクリーンを構成するディスプレイの縦横の台数、各ディスプレイの縦横方向の位置、TILE COMP のオン / オフを設定します。

- ・ **TILE COMP** - 画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更する機能です。
- ・ **「タイルカット」** - 表示された画像の一部を選択します。選択した範囲がスクリーン全体に表示されます。

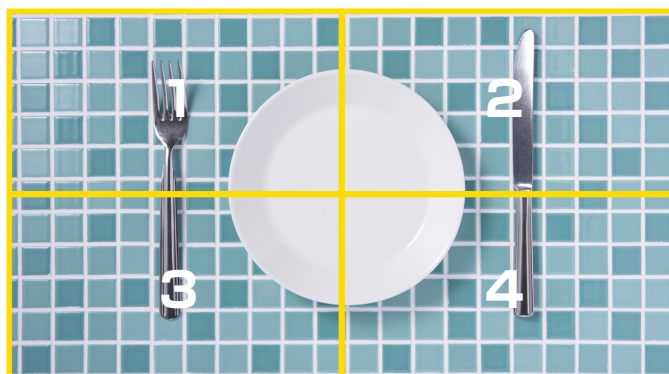
1x2 の「タイルカット」(縦2台) の例

上部ディスプレイの設定

1. 「水平モニター数」 → 「2」、「垂直モニター数」 → 「2」に設定する。

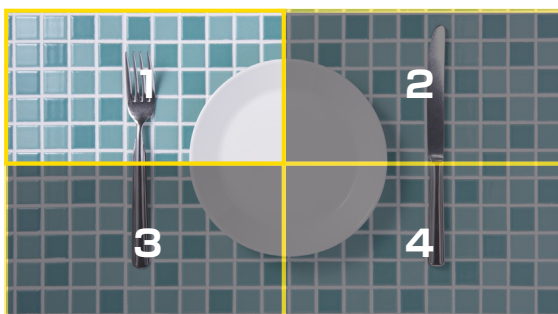
ひとつの画像が 4 分割され、1 ~ 4 の番号が割り振られます。

タイルマトリクス	
タイルマトリクス	オン / オフ
水平モニター数	2
垂直モニター数	2
位置	1
TILE COMP	オン / オフ
水平サイズ	0
垂直サイズ	0
水平調節	0
垂直調節	0
タイルカット	オン / オフ
水平調節	0
垂直調節	0

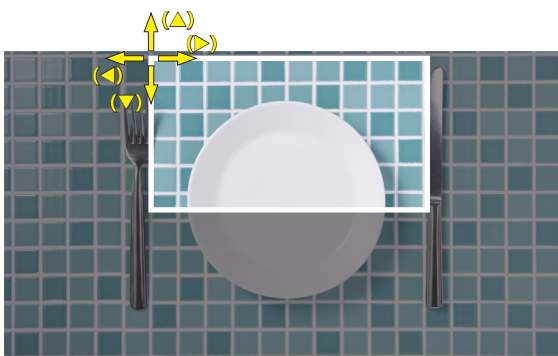


2. 「位置」で1～4のいずれかを選択する。

例：「1」を選択した場合



3. 「タイルカット」の「水平調節」と「垂直調節」で、選択した矩形を表示したい位置に移動する。



4. 「タイルマトリクス」で「オン」を選択する。



下部ディスプレイの設定

同様に操作する。

例：「位置」で「3」を選択した場合



1x2（縦2台）の場合、設定後は以下の表示になります。



- 「システム」－「外部制御」－ 選択中のディスプレイにモニター ID とグループ IP を与えます。LAN ポートを使ってマルチ接続している場合、ID および IP は自動的にすべてのディスプレイに与えられます。
- 「システム」－「クローン設定」－ 現在制御中のディスプレイの設定値を LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）した他のディスプレイにコピーできます。
- **映像のデジチェーン接続**
 デジチェーン接続するすべてのディスプレイは同じモデルで統一することを強くおすすめします。
 ディスプレイの「位置」は「ID」とは異なります。図 1 を参照ください。

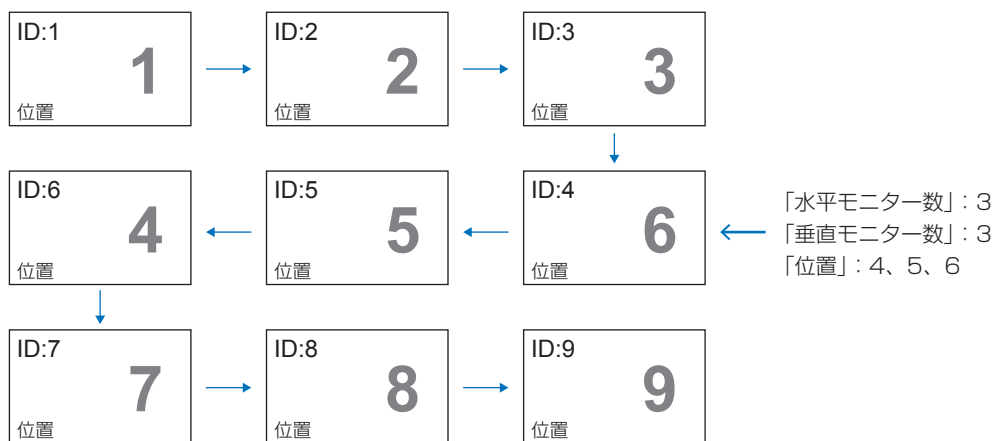


図 1

映像出力

端子	DisplayPort1	DisplayPort2	HDMI1	HDMI2	OPTION		
	DisplayPort1	DisplayPort2	HDMI1 (ARC)	HDMI2	DisplayPort Slot	TMDS Slot	COMPUTE MODULE
DisplayPort	○	○	—	—	○	—	—
HDMI	○*1	○*1	○	○	○*1	○	○

*1: 「DisplayPort-HDMI 変換」を「許可」に設定した場合、DisplayPort 入力信号を HDMI 出力信号に変換し出力します。

お知らせ

- 映像出力は「マルチ画面」または「高速入力切替」が有効になっている場合は動作しません。

複数のディスプレイを HDMI ケーブルで接続する場合

- 同じモデルのディスプレイを接続してください。
- 接続されているすべてのディスプレイで、「入力-アドバンスド」の「HDMI モード」を同じ設定（「設定 1」または「設定 2」）にしてください。

HDMI 出力 DisplayPort 出力

- DisplayPort 出力コネクタから映像出力する際は、入力を「DisplayPort1」、「DisplayPort2」または「OPTION」に設定してください。
- HDMI 出力コネクタから映像出力する際は、入力を「HDMI1」、「HDMI2」、「OPTION」のいずれかに設定してください。
- 「DisplayPort-HDMI 変換」が「許可」に設定されている場合、入力を「DisplayPort1」、「DisplayPort2」に設定したときも HDMI 出力コネクタから映像出力します。この場合、DisplayPort 出力コネクタからの映像出力は止まります。
- 本機の映像出力機能は HDCP で保護された映像コンテンツに対応しています。
以下の条件でデジタイズチェーン接続時に HDCP コンテンツを表示します。
 - HDCP1.3/1.4: デジタイズチェーン接続台数（本機を含め）最大 8 台
 - HDCP2.2: デジタイズチェーン接続台数（本機を含め）最大 5 台。
 - 接続台数によって映像が表示されるまでの時間が異なります。
 - HDCP なしの場合: デジタイズチェーン接続台数（本機を含め）最大 9 台。
- 「デュアルデジタイズチェーンモード」が「許可」の場合、デュアルデジタイズチェーンモードで選択された HDMI と DisplayPort を同時に出力します。
1 つの入力を同時に HDMI と DisplayPort の両方に出力することはできません。

例:

- 「デュアルデジタイズチェーンモード」が「許可」のときであっても、DisplayPort 入力を同時に HDMI と DisplayPort の両方に出力することはできません。
- 「デュアルデジタイズチェーンモード」が「許可」のとき、DisplayPort 1 入力は DisplayPort 出力コネクタから出力され、HDMI2 入力は HDMI 出力コネクタから出力されます。

お知らせ

- HDCP で保護された映像コンテンツをデジタイズチェーン接続で表示している際に、主電源の入れなおしやケーブルを抜き差ししないでください。映像コンテンツの再生が止まる場合があります。再生が止まった場合は、再度再生してください。
- ご使用の機器によってディスプレイの接続台数は変わります。
- マルチ接続での映像表示時は、ケーブルを抜かないようにしてください。必ず主電源を切ってからケーブルを抜いてください。

リモコン ID モード機能について

このリモコンには、モニター ID と同様の ID 番号を設定することができます。

複数台のディスプレイが並んだ場所で使用する場合、リモコンを ID モードで動作させ ID を切り替えることにより、ディスプレイを個別に操作することができます。

■ ディスプレイ本体の設定

モニター ID で ID 番号を設定する。

■ リモコンを ID モードにする

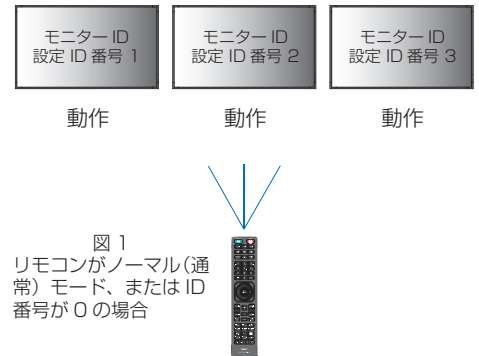
リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを 2 秒以上押しとリモコンは ID モードで動作します。

このとき、ID 番号は以前に設定した ID 番号で動作します。ID 番号の初期値は 1 です。

また、リモコンの ID 番号を設定した場合も ID モードで動作します。

なお、ID モード時のリモコンのボタン操作は、通常と同じです。

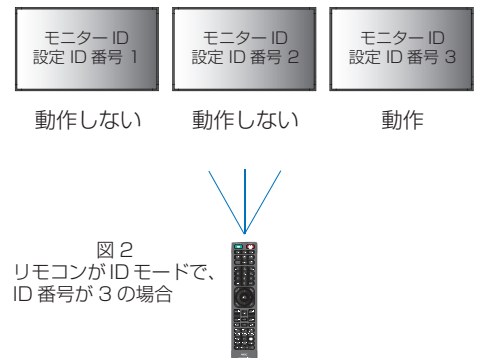
リモコンが ID モードのときに REMOTE ID の SET ボタンを押すと、画面の中央にモニター ID が表示されます。



■ リモコンをノーマルモードにする (ID モードを解除する)

リモコンの REMOTE ID の CLEAR ボタンを 2 秒以上押しとリモコンはノーマルモードに戻ります。

リモコンの初期状態はノーマルモードです。



■ リモコンの ID 番号を設定する

下記の手順で ID モード時の ID 番号を設定することができます。

- リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを押した状態で
 - ・ リモコンの “1” または “0” ボタンで ID 番号の 3 桁目を押す。
 - ・ リモコンの “1-9、0” ボタンで ID 番号の 2 桁目を押す。
 - ・ リモコンの “1-9、0” ボタンで ID 番号の 1 桁目を押す。

ID 番号を押した後、REMOTE ID の SET ボタンを放すと ID 番号が記憶されます。

- ・ ID 番号入力時は時間をあけずに操作してください。
- ・ 設定できる ID 番号は 0 ~ 100 までです。
- ・ 0 を設定するとモニター ID の設定にかかわらずすべてのディスプレイが選択されます。
- ・ リモコンの ID 番号の設定が 0 以外で、リモコンの ID 番号がモニター ID の設定と一致しない場合は、リモコンでの操作はできません。

■ リモコンで特定のディスプレイのみを制御する方法

1. 制御したいディスプレイで OSD 画面を表示します。OSD メニュー「システム」→「外部制御」→「モニター ID」で ID 番号を設定します。モニター ID は 1 ~ 100 まで設定することができます。先頭から、順番に 1,2,3... と連続で ID を設定されることをおすすめします。
2. リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを押したまま、リモコンの ID 番号を入力します。リモコンの ID 番号は、制御したいディスプレイのモニター ID 番号と一致している必要があります。
3. リモコンを、制御したいディスプレイのリモコン受光部に向けて、REMOTE ID の SET ボタンを押します。画面中央にモニター ID 番号が赤色で表示されることを確認してください。モニター ID 番号が白色で表示される場合は、モニター ID 番号とリモコンの ID 番号は一致していません。

お知らせ

リモコンではグループ ID を指定できません。

7章 外部制御

この章の内容：

- ⇒ RS-232C 経由でのディスプレイ制御 (65 ページ)
- ⇒ LAN 経由でのディスプレイ制御 (66 ページ)
- ⇒ コマンド (75 ページ)
- ⇒ Proof of Play 機能 (76 ページ)

外部機器との接続方法

ディスプレイとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

- RS-232C 端子を使用した接続
RS-232C 端子を使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。
- ネットワーク (LAN) 経由での接続
LAN ケーブルを使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。

RS-232C 経由でのディスプレイ制御

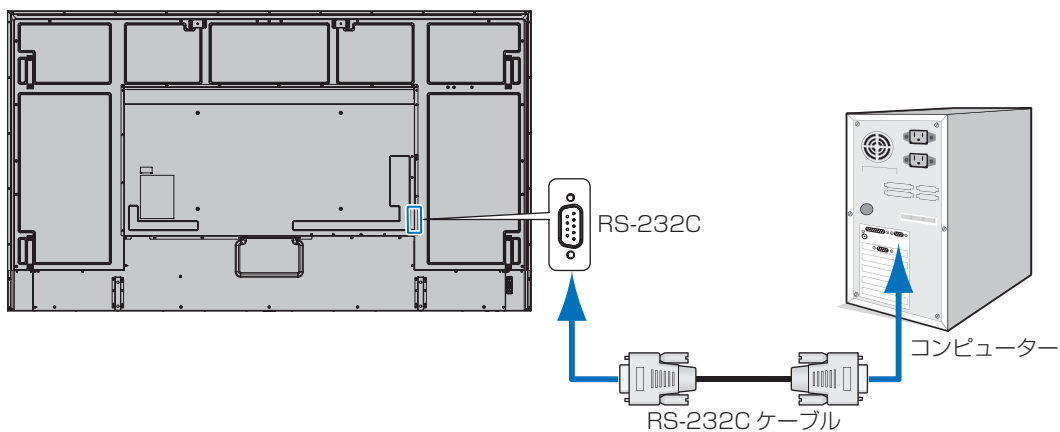
本機の RS-232C 端子とコンピューターの RS-232C 端子をリバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブル（市販）で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

- 電源を入れるまたは本機をスタンバイ状態にする
- 入力の切替
- ミュート（消音）の切替

接続方法

本機とコンピューター

- 接続はコンピューターと本機の主電源を切ってください。
- 最初にコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。（com ポートが正常に動作しない場合があります。）
- RS-232C で接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書の「外部制御」内の「コマンド」もしくは当社 Web サイトの External_control_J.pdf（「付録 A 外部のリソース」86 ページ）を参照ください。



お知らせ

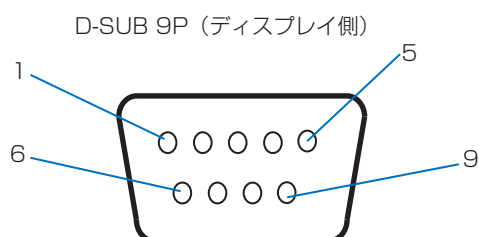
- コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。
変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については「RS-232C input/output」を参照してください。

本機は RS-232C コントロール用として RXD、TXD および GND ラインを使用します。
リバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブル（市販）を使用してください。

ピンの配列

RS-232C input / output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



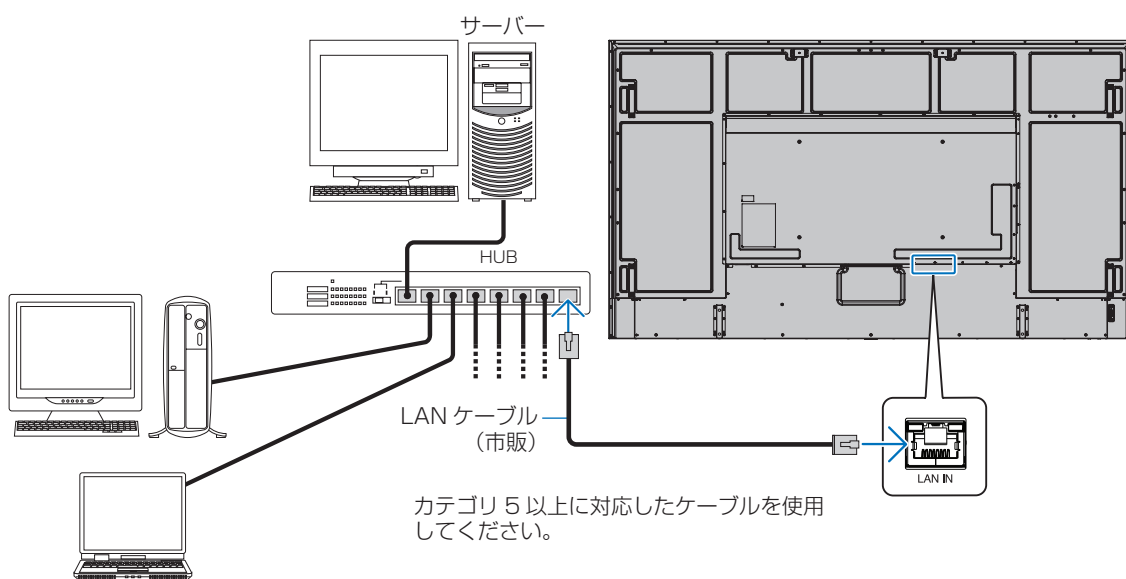
ディスプレイは RS-232C の制御に RXD、TXD、GND を使用します。

LAN 経由でのディスプレイ制御

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。本機をネットワークに接続すると、本機からメール通知を送ったりコンピュータからネットワークを経由して本機を制御することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります (102 ページ)。

DHCP ネットワークに接続した場合自動的に本機の IP アドレスを取得します。

接続例



マルチ接続について

RS-232C 入力、リモート入力、LAN で入力されている情報を LAN ケーブルを使用して複数のディスプレイに送ることができます。

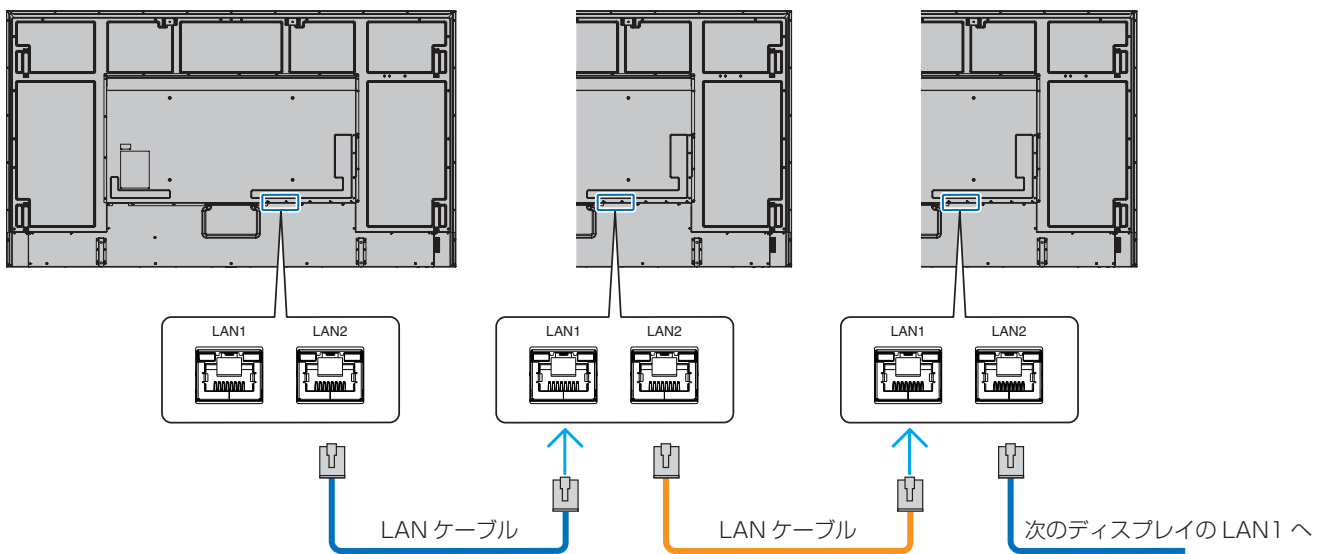
お知らせ

- マルチ接続（数珠つなぎ）をする場合、接続台数には制限があります。
- マルチ接続した複数のディスプレイを連動させて制御する場合、マルチディスプレイの OSD メニューの「システム」→「外部制御」→「AUTO ID/IP 設定」を設定してください。
手動で ID 番号を設定する場合、「AUTO ID/IP 設定」を先に設定してください。
- LAN1、LAN2 を同じネットワークに接続しないでください。ネットワークのループ障害が発生します。マルチ接続全体としてもループ接続とならないように注意してください。

最初のディスプレイ	
Connector	
入力ポート	出力ポート
RS-232C 入力	LAN2(DAISY CHAIN OUT)
リモート IN	
LAN1(DAISY CHAIN IN)	

2 台目以降のディスプレイ	
Connector	
入力ポート	出力ポート
LAN1(DAISY CHAIN IN)	LAN2(DAISY CHAIN OUT)

接続方法



HTTP を使用したブラウザーによるネットワークの設定

概要

LAN ケーブル（市販）を接続すると HTTP サーバー機能を使って本機に LAN の設定ができます。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用できるようにブラウザーを設定してください。設定方法はブラウザーにより異なりますので、それぞれのソフトウェアにあるヘルプなどの説明を参照ください。

HTTP サーバー機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたコンピューターで Web ブラウザーを起動し、以下の URL を入力することで可能となります。

ネットワーク設定

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

お知らせ

- コントロールソフトは、当社 Web サイトからダウンロードしてください。
- 工場出荷時の IP アドレス取得の設定は「自動」です。リセット後も IP アドレスは自動的に取得されます。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作するとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をしてください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- Web ブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5] キーを押して Web ブラウザーの画面表示を更新してください。それでも表示されない場合は Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。
- LAN で接続されたディスプレイを制御する場合は、Web サイトの External_control_J.pdf（「付録 A 外部のリソース」[86 ページ](#)）を参照ください。

使用前の準備

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザーから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことをおすすめします。

ブラウザーによる操作のアドレスの扱い

以下の場合、ホスト名がそのまま利用できます。

- ブラウザーによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている。
- 使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている。

（例 1）本機のホスト名が「pd.xxx.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
http://pd.xxx.co.jp/index.html と指定します。

（例 2）本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html と指定します。

ブラウザによる画面調節

以下の URL を入力し HOME 画面を表示します。HOME 画面左側にある各リンクをクリックして設定画面に入ります。
http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

ブラウザによるリモコン操作

REMOTE CONTROL：リモコンボタンと同等の操作が可能です。

Web ページを使った OSD メニュー操作

以下のリンクでは OSD メニューにあるすべての機能と同等の設定ができます。

「INPUT」、「PICTURE」、「AUDIO」、「SCHEDULE」、「SLOT」、「PROTECT」、「SYSTEM」、「NETWORK」

REMOTE CONTROL				
POWER	<input type="radio"/> ON		<input checked="" type="radio"/> OFF	
<input type="button" value="APPLY"/> <input type="button" value="CANCEL"/>				
INPUT SELECT	<input type="radio"/> DisplayPort1	<input type="radio"/> DisplayPort2	<input type="radio"/> HDMI1	<input type="radio"/> HDMI2
	<input checked="" type="radio"/> COMPUTE MODULE	<input type="radio"/> OPTION		
PICTURE MODE	<input type="radio"/> NATIVE	<input type="radio"/> RETAIL	<input type="radio"/> CONFERRING	<input type="radio"/> HIGHBRIGHT
	<input type="radio"/> TRANSPORTATION	<input type="radio"/> CUSTOM	<input checked="" type="radio"/> SVE-1 SETTING	<input type="radio"/> SVE-2 SETTING
	<input type="radio"/> SVE-3 SETTING	<input type="radio"/> SVE-4 SETTING	<input type="radio"/> SVE-5 SETTING	
ASPECT	<input type="radio"/> NORMAL	<input checked="" type="radio"/> FULL	<input type="radio"/> WIDE	<input type="radio"/> 1:1
	<input type="radio"/> ZOOM			
SURROUND	<input type="radio"/> ON		<input checked="" type="radio"/> OFF	
MUTE	<input type="radio"/> ON		<input checked="" type="radio"/> OFF	
STILL	<input type="radio"/> ON		<input checked="" type="radio"/> OFF	
<input type="button" value="APPLY"/> <input type="button" value="CANCEL"/>				
<input type="button" value="RELOAD"/> <input type="button" value="RESET"/>				

お知らせ

- 設定画面に表示されるボタンの説明：

「APPLY」 設定を適用します。

「CANCEL」 各項目の設定を編集前の状態に戻します。

お知らせ

- APPLY ボタンを押した後は、編集前の状態に戻りません。

「RELOAD」 表示しているページの設定値を再読み込みします。

「RESET」 各項目の設定が工場出荷の状態に戻ります。

ネットワーク設定

HOME 画面左側にある NETWORK をクリックして設定画面に入ります。

IP SETTING	<p>IP アドレスの設定方法を選択します。 AUTO： IP アドレスを自動的に取得します。 MANUAL： IP アドレスを手動で設定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続に関して問題が発生した場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。
IP ADDRESS	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
DEFAULT GATEWAY	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。
DNS	DNS サーバーの IP アドレスの設定方法を選択します。 AUTO： DNS サーバーの IP アドレスを自動的に取得します。 MANUAL： DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。
PRIMARY DNS	本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 お知らせ 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。
SECONDARY DNS	本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 お知らせ 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

メール通知設定

HOME 画面左側にある MAIL をクリックして設定画面に入ります。

本機をネットワークに接続して使用しているとき、各種エラーが発生したときに、本機の状態をEメールでコンピューターなどへ通知します。

ALERT MAIL	エラーが発生した場合、本機から RECIPIENT'S ADDRESS へメール通知を送ります。STATUS MESSAGE が ENABLE に設定されていると、本機が無信号状態になった場合もメール通知を送ります。 ENABLE…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 DISABLE…メール通知機能が停止します。	—
STATUS MESSAGE	ALERT MAIL に無信号状態のメール通知を含むかどうかを設定します。 ENABLE…以下の設定に基づいて無信号状態を通知する機能が働きます。 DISABLE…本機が無信号状態を通知する機能が停止します。	—
SENDER'S ADDRESS	差出人アドレスを設定します。 Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTP SERVER	メール送信に使用する SMTP サーバーを設定します。	英数字 最大 60 文字
RECIPIENT'S ADDRESS 1 ~ 3	宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
AUTHENTICATION METHOD	メール送信の認証方式を選択します。	—
POP3 SERVER	メールの認証に使用する POP3 サーバーのアドレスを指定します。	—
USER NAME	メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのユーザー名を設定します。	英数字 最大 60 文字
PASSWORD	メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのパスワード名を設定します。	英数字 最大 60 文字
TEST MAIL	メール設定通知を確認するために、テストメールを送信します。	—

お願い

- 送信テストを実行して、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定の設定内容を確認してください。
- 宛先のアドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスを確認してください。

Alert Mail 一覧

エラー番号 Error Code	Alert Mail メッセージ	説明	対策
70h ~ 7Fh	The monitor's power supply is not functioning normally.	電源異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
80h ~ 8Fh	The cooling fan has stopped.	冷却ファン異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
90h ~ 9Fh	The monitor's back light unit is not functioning normally.	バックライト異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
A0h ~ AFh	The monitor is overheated.	温度異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
B0h ~ BFh	The monitor doesn't have the input signal.	NO SIGNAL	「困ったとき」の「画面に何も映らない」「電源ランプが青色に点灯または青色以外に点灯もしくは点滅している場合」を参照してください。
D0h	The remaining capacity of the error log decreased.	Proof of Play ログ容量が少なくなっています	外部コマンドを使用して、ログを取得してください。詳細は本取扱説明書の「Proof of Play 機能」を参照ください。
D1h	The battery for clocks is empty.	バッテリーが切れています。	本機を電源コンセントにつなぎ充電してください。OSD メニューの「日付 / 時刻設定」を設定してください。
E0h ~ EFh	The system error occurred in the monitor.	システムエラー	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。

SNMP 設定

HOME 画面左側にある SNMP をクリックして設定画面に入ります。
SNMP はネットワークに接続された機器を管理するための情報通信方法です。
SNMP を設定することにより、管理対象の機器の情報取得や設定の変更ができます。

バージョン

SNMP v1 コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認なし
SNMP v2c コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認あり

コミュニティ

初期設定のコミュニティ名は public です。値を読むことのみが可能です。コミュニティ名は 3 つまで設定することができます。

Trap 送信

管理対象の機器にエラーが発生した場合、指定されたアドレスに Trap 送信をします。

Trap 選択項目	説明	エラーコード
Temperature	温度異常	0xA0, 0xA1, 0xA2
Fan	冷却ファン異常	0x80, 0x81
Power	電源異常	0x70, 0x71, 0x72, 0x78
Inverter/Backlight	バックライト異常	0x90, 0x91
No Signal	NO SIGNAL	0xB0
PROOF OF PLAY	Proof of Play ログ容量の残量減少	0xD0
System Error	システムエラー	0xE0

AMX 設定

HOME 画面左側にある AMX をクリックして設定画面に入ります。

AMX BEACON	本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からシステムへのビーコン送信機能の有効 (ENABLE)/ 無効 (DISABLE) を設定します。
------------	---

お知らせ

AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。

CRESTRON 設定

HOME 画面左側にある CRESTRON をクリックして設定画面に入ります。

ROOMVIEW	コンピューターで制御する場合に設定します。 ON： ROOMVIEW を有効にします。 OFF： ROOMVIEW を無効にします。
CRESTRON CONTROL	コントローラーで制御する場合に設定します。 ON： CRESTRON CONTROL を有効にします。 OFF： CRESTRON CONTROL を無効にします。
CONTROLLER IP ADDRESS	CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER の IP ID を設定します。

お知らせ

- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。
CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。
(英語のみ) <http://www.crestron.com>

NAME 設定

HOME 画面左側にある NAME をクリックして設定画面に入ります。

MONITOR NAME	本機の名称を設定します。初期設定はモデル名です。 この名称はアプリケーション使用時に同じネットワーク上の機器を検索すると表示されます。	英数字 最大 16 文字
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

NETWORK SERVICE 設定

HOME 画面左側にある NETWORK SERVICE をクリックして設定画面に入ります。

PJLink CLASS	使用する PJLink (ピージェイリンク) のクラスを指定します。 お知らせ • PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMIA) が制定したネットワーク (通信) インターフェイス規格です。 http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html 本機は、PJLink class 1, class 2 のすべてのコマンドに対応しています。
NOTIFY FUNCTION ENABLE	ディスプレイのネットワークの変化を通知する機能の有効 / 無効を設定します。 PJLink class 2 で使用する機能です。
NOTIFY ADDRESS	ディスプレイの変化を通知する先の IP アドレスを設定します。 PJLink class 2 で使用する機能です。
PJLink PASSWORD	PJLink を使用する場合に、パスワードを設定します。パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD ENABLE	HTTP サーバーにログインする際のパスワード入力の有無を設定します。パスワードを入力する際は、USER NAME に本機の名称を設定します。

PD LIST INFORMATION

HOME 画面左側にある PD LIST をクリックして表示画面に入ります。

LAN を使ってマルチ接続 (数珠つなぎ) されたディスプレイのモニター ID 番号と IP アドレスを表示します。親機のみリストが表示できます。

コマンド

RS-232C 端子やネットワーク (LAN) 経由で接続した外部機器とコマンドを送受信することでディスプレイの制御ができます。それぞれのコマンドフォーマットは、当社 Web サイトの External_Control_J.pdf (「付録 A 外部のリソース」86 ページ) を参照ください。

RS-232C 端子を使用した接続

項目	詳細
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	なし
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	なし

ネットワーク (LAN) 経由での接続

項目	詳細
プロトコル	TCP
ポートナンバー	7142
コミュニケーション速度	自動設定 (10/100 Mbps)

ASCII コントロールコマンドについて

本機は、External_Control_J.pdf に記載されたコマンドの他に、当社のディスプレイまたはプロジェクターを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。コマンドの詳細は当社 Web サイトを参照ください。

本機で使用するパラメーター

入カコマンド

入力信号名称	レスポンス	パラメーター
HDMI1	hdmi1	hdmi1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
DisplayPort1	DisplayPort1	DisplayPort1
DisplayPort2	DisplayPort2	DisplayPort2
OPTION*	option	option
COMPUTE MODULE* ¹	compute_module	compute_module

ステータスコマンド

レスポンス	エラー状態
error:temp	温度異常
error:fan	冷却ファン異常
error:light	バックライト異常
error:system	システムエラー

*: 対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

*¹: 動作しません。

Proof of Play 機能

表示状態をセルフチェックし、ネットワークを通じて本機の状態を通知する機能です。詳しくは当社 Web サイトの External_Control_J.pdf (「付録 A 外部のリソース」 86 ページ) を参照ください。

以下がセルフチェック項目です。

チェック項目		通知内容
①	選択されている映像入力	DisplayPort1, DisplayPort2, HDMI1, HDMI2, OPTION*, COMPUTE MODULE* ¹
②	入力信号の解像度	(例) (H)1920, (V)1080, (H)3840, (V)2160 or No signal or Invalid signal
③	入力されているオーディオ信号の有無	Audio in or No Audio in or N/A
④	映像の出力状態	Normal Picture or No Picture
⑤	オーディオの出力状態	Normal Audio or No Audio
⑥	年月日時間	年 / 月 / 日 / 時間 (h) / 分 (m) / 秒 (S)
⑦	EXPANSION DATA	00h : Normal Proof of Play event 01h : Proof of Play event is "last power on time" 20h : Contents Copy from USB 21h : Contents Copy form network folder 30h : Contents Copy Success 31h : Contents Copy Error (No media) 32h : Contents Copy Error (Connect error) 33h : Contents Copy Error (Out of disk space) 34h : Contents Copy Error (Read/Write error) 40h : Human detected (Human sensor Status) 41h : Human detect cleared (Human Sensor Status)

* : 対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

*1 : 動作しません。

通知メッセージ例

- ① HDMI1
- ② 3840 x 2160
- ③ Audio in
- ④ Normal Picture
- ⑤ Normal Audio
- ⑥ 2020/1/1/0h/0m/0s
- ⑦ 30h : Contents Copy Success

8章 困ったとき

この章の内容：

- ⇒ 故障かな?と思ったら… (78 ページ)
- ⇒ 表示されないときは… (78 ページ)
- ⇒ 表示がおかしいときは… (79 ページ)
- ⇒ 案内画面/注意画面が表示されたら… (80 ページ)
- ⇒ その他 (コンピューターと接続している場合) (80 ページ)
- ⇒ その他 (リモコン、スピーカー) (81 ページ)
- ⇒ その他 (USB、RS-232C または LAN で接続している) (81 ページ)
- ⇒ 映像機器を使用するとき (81 ページ)

故障かな？と思ったら…


このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

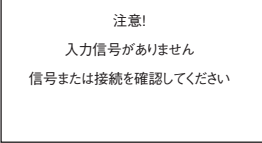
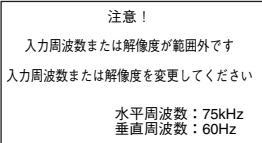
症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.111
	電源ランプが点灯しない場合 OSDメニューの「システム」→「電源ランプ」が「オン」の場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.12
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P.37
	電源ランプが青色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力コネクタを切り替えてください。	P.22
		OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.42
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.111
		● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。	P.92, P.92
	電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	● OSD画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.29
		電源管理機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、またはリモコンのPOWER ONボタンを押してください。	P.25, P.37, P.38
信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P.28	
変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P.28	
接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。			
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.111

* ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.1
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P.85
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.25
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。本機をリモコンのSTANDBY ボタンまたは  ボタンでスタンバイ状態にするか、変化する画面を表示していれば、残像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 ● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「色のこさ」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定の「アドバンスト」のリセットを実行して工場出荷値に戻してください。 ● OSD画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。 	P.42 P.111 P.92, P.98 P.28, P.29
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルを使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。このような場合、当社Webサイト内「ディスプレイの設置と接続に関するご注意」をご確認ください。 OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.42 P.111 P.29
自動的に電源が切れてしまう	「オフタイマー」の設定を確認してください。 「CEC」の設定を「オフ」にしてください。	P.90, P.100
スケジュール機能で設定したとおりに動作しない	「オフタイマー」の設定を確認してください。 「オフタイマー」が「オン」と設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。	P.100
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	

案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「注意」が表示された※ ¹ 	信号ケーブルが本体またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P.28
	HDMI入力が切り替わった可能性があります。	「CEC」の設定を「オフ」にしてください。	P.90
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	
※ ² 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.29
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.29
画面に「温度警告！！」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。	

※ 1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他（コンピューターと接続している場合）

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
接続しているUSB対応周辺機器が認識されない。正常に動作しない。	Windows®をお使いの場合：USB対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない(ドライバーインストールが必要なUSB対応周辺機器のみ)	USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。デバイスマネージャーで“不明なデバイス”と表示される場合は、“不明なデバイス”をデバイスマネージャー上で削除し、USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。
USBポートを多段接続(複数台の連結接続)した後に、USB対応周辺機器を接続すると、USB対応周辺機器が正常に動作しない。	USB対応周辺機器が、USBポートの多段接続に対応していない。	USB対応周辺機器をコンピューターに近いUSBポートに接続してください。

その他（リモコン、スピーカー）

症 状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。 ● リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。 ● リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。 ● 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。 ● 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。 ● 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別ID(リモコンID)を設定するなどして誤動作を防止してください。 ● リモコンの乾電池の+-が逆に入っていませんか。 ● ディスプレイ本体またはリモート入力コネクタに接続したセンサーユニットの受光部に正しく向けていますか。 ● 「ロック設定」の選択が「IR」または「KEY & IR」が設定されていませんか。 ● リモコンがIDモードになっていませんか。 ● モニターIDとリモコンIDの番号はあっていますか。 	P.11, P.63, P.105
映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。 ● 消音状態になっていませんか。リモコンの MUTE ボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。本体の ◀▶ ボタンまたはリモコンの音量調節プラスボタン(+)、音量調節マイナスボタン(-)で音量を調節してください。 ● DisplayPort 接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。 ● 「スピーカー出力切替」の設定を確認してください。設定変更後は、MENU(ボタン)を押してOSD画面を閉じ本機の主電源を入れなおしてください。 	P.25, P.28, P.29, P.91, P.97, P.99

その他（USB、RS-232C または LAN で接続している）

症 状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232Cケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P.65
LAN で制御できない	LANケーブル(カテゴリ5以上)が正しく接続されているかを確認してください。	P.66
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P.66
USB で制御できない	USB-Bにケーブルが正しく接続されているかを確認してください。OSDメニュー→「USB」→「外部制御」が「許可」になっていて、「PCソース」が「自動」または「外部PC」に設定されているかを確認してください。	P.109

映像機器を使用するとき

症 状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P.28
	本機のパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。	P.38
色がつかない、色がおかしい	「色のこさ」の調節をしてください。	P.92, P.93
画面が縦長に見える	16:9の映像が4:3に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合(スクイーズ信号)があります。正しい比率で見えるために、画面の「アスペクト」を「ワイド」に設定してください。	P.94

9章 仕様

この章の内容：

- ⇒ 対応信号一覧（83 ページ）
- ⇒ M981（84 ページ）

対応信号一覧

信号名	解像度	走査周波数		HDMI		DisplayPort	備考
		水平	垂直	設定 1	設定 2		
VGA	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
SVGA	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
XGA	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
HD	1280 × 720	45.0 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
WXGA	1280 × 800	49.7 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
SXGA	1280 × 1024	64 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
WXGA	1360 × 768	47.7 kHz	60 Hz	はい	いいえ	はい	
	1366 × 768	47.7 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
SXGA+	1400 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
WXGA+	1440 × 900	55.9 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
UXGA	1600 × 1200	75.0 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
WSXGA+	1680 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
Full HD	1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
WUXGA	1920 × 1200	74.6 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
4K/2	1920 × 2160	133.3 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	
4K	3840 × 2160	54.0 KHz	24 Hz	はい	はい	いいえ	
	3840 × 2160	52.4 KHz	24 Hz	いいえ	いいえ	はい* ³	
	3840 × 2160	56.3 KHz	25 Hz	はい	はい	いいえ	
	3840 × 2160	65.7 kHz	30 Hz	いいえ	いいえ	はい	
	3840 × 2160	67.5 kHz	30 Hz	はい	はい	いいえ	
	3840 × 2160	112.5 KHz	50 Hz	いいえ	はい	いいえ	
	3840 × 2160	133.3 kHz	60 Hz	いいえ	いいえ	はい*	推奨信号タイミング
	3840 × 2160	135.0 kHz	60 Hz	いいえ	はい	いいえ	推奨信号タイミング
	4096 × 2160	52.4 kHz	24 Hz	いいえ	いいえ	はい* ³	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	54.0 kHz	24 Hz	はい	はい	いいえ	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	56.3 KHz	25 Hz	いいえ	はい	いいえ	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	65.7 KHz	30 Hz	いいえ	いいえ	はい	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	67.5 KHz	30 Hz	いいえ	はい	いいえ	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	112.5 KHz	50 Hz	いいえ	はい	いいえ	簡易圧縮表示
8K	7680 × 4320* ⁴	131.4 kHz	30 Hz	いいえ	いいえ	はい* ¹ , * ²	簡易圧縮表示
	7680 × 4320* ⁵	132.0 kHz	30 Hz	いいえ	いいえ	はい* ¹ , * ²	簡易圧縮表示
	7680 × 4320* ⁵	264.0 kHz	60 Hz	いいえ	いいえ	はい* ¹ , * ²	簡易圧縮表示
HDTV(1080p)	1920 × 1080	27.0 KHz	24 Hz	はい	はい	はい	
	1920 × 1080	28.1 KHz	25 Hz	はい	はい	はい	
	1920 × 1080	33.8 KHz	30 Hz	はい	はい	はい	
	1920 × 1080	56.3 KHz	50 Hz	はい	はい	はい	
	1920 × 1080	67.5 KHz	60 Hz	はい	はい	はい	
HDTV(1080i)	1920 × 1080(インターレース)	28.1 KHz	50 Hz	はい	はい	いいえ	
	1920 × 1080(インターレース)	33.8 KHz	60 Hz	はい	はい	いいえ	
HDTV(720p)	1280 × 720	37.5 KHz	50 Hz	はい	はい	はい	
	1280 × 720	45.0 KHz	60 Hz	はい	はい	はい	
SDTV(576p)	720 × 576	31.3 KHz	50 Hz	はい	はい	はい	
SDTV(480p)	720 × 480	31.5 KHz	60 Hz	はい	はい	はい	
SDTV(576i)	720 × 576(インターレース)	15.6 KHz	50 Hz	はい	はい	いいえ	
SDTV(480i)	720 × 480(インターレース)	15.7 KHz	60 Hz	はい	はい	いいえ	

*: 「DisplayPortバージョン」が「1.2」もしくは「1.4」に設定されている場合。

*1: 「DisplayPortバージョン」が「DisplayPort1」の場合のみ。

*2: 「DisplayPortバージョン」が「1.4」に設定されている場合のみ。

*3: 「DisplayPortバージョン」が「1.1a」に設定されている場合のみ。

*4: 「DSC」が「禁止」に設定されている場合。

*5: 「DSC」が「許可」に設定されている場合。

お知らせ

- 入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

M981

サイズ(表示サイズ)	98型(247.82 cm) (対角)		
液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶		
有効表示領域	2158.85 × 1214.35 mm		
表示画素数	3840 × 2160		
画素ピッチ	0.562 mm		
表示色	約10億7374万色		
視野角(標準値)	左右178°、上下178° (コントラスト比10)		
輝度 ^{*4} (最大値)	500 cd/m ²		
コントラスト比(標準値)	1100:1		
応答速度(標準値)	8 ms (G to G)		
走査周波数	水平周波数		15 - 135 kHz (HDMI)/22 - 264 kHz (DisplayPort1)/22 - 134 kHz (DisplayPort2)
	垂直周波数		23 ~ 76 Hz(50/60 Hzフレームロック)
ピクセルクロック	25 ~ 600 MHz (HDMI) 25 ~ 2380 MHz (DisplayPort1) 25 ~ 570 MHz (DisplayPort2)		
映像入出力端子	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号 DisplayPort (最大 7680x4320 (60Hz) ^{*3} , HDCP1.3/2.2)
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号 HDMI (最大 4096 x 2160 (60Hz) ^{*3} , HDCP1.4/2.2)
音声端子	オーディオ入力	DisplayPort コネクター	デジタル音声信号 PCM 32,44.1,48 kHz (16, 20, 24 bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号 PCM 32,44.1,48 kHz (16, 20, 24 bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号 入力選択された信号を出力: ステレオ L/R 0.5 Vrms
		HDMIコネクター (ARC ^{*2})	デジタルオーディオ PCM 32,44.1,48 kHz (16, 20, 24 bit)
音声出力	外部スピーカー端子 8 Ω、音声出力 15 W+15 W(実用最大出力) 内蔵スピーカー: 10 W + 10 W(ステレオ)		
制御信号	制御入力コネクター		D-SUB9ピン (RS-232C) × 1
	LANポート		RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX × 2
	リモコン入力コネクター		3.5 φステレオミニジャック × 1
USBポート	USB-A		USB2.0 ダウンストリームポート、DC 5 V / 500 mA(最大)
	USB-B		USB2.0 アップストリームポート
	SERVICE		電力供給用 供給電圧 DC 5V/2A(最大)、ファームウェアアップデートポート
使用環境条件	温度	0 ~ 40 °C	
	湿度	20 ~ 80 % (結露のないこと)	
	高度	3000 m以下	
保管環境条件	温度	-20 ~ 60 °C	
	湿度	10 ~ 80 % (結露のないこと)	
電源	電源入力		AC 100 ~ 240 V 50/60 Hz, 7.0 - 2.7 A
	消費電力 (オプション非使用時)	標準	340 W ^{*1}
		パワーセーブ時	2 W以下 ^{*1}
		スタンバイ時	0.5 W以下 ^{*1}
外形寸法(突起部を除く)	2194.7 (W) × 1250.2 (H) × 89.5 (D) mm(ハンドル有り) 2194.7 (W) × 1250.2 (H) × 84.3 (D) mm(ハンドル無し)		
オプションボード供給電力	12 V/5.5 A(最大)		
質量	約67.0 kg		
チルト角度	± 15°		
設置金具取付部	600 mm x 400 mm (M8, 取付穴4箇所)		

外形寸法(突起部を除く)

仕様は予告なしに変更することがあります。

- ※ 1 工場出荷時の設定条件
- ※ 2 HDMI IN1のみ
- ※ 3 簡易圧縮表示
- ※ 4 輝度は、入力モードや映像調整の設定、設置環境や個々の製品特性などにより変わります。
また、輝度は経年劣化により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。
工場出荷時はバックライト設定値を70(最大100)にしています。

お知らせ

AC200 V (50/60Hz) のコンセントでお使いになる場合は、専用の電源コードが必要です。販売店にお問い合わせください。

付録 A 商標・ライセンスについて

Adobe および Adobe ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。
HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
PLink および PLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
MultiSync はシャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
CRESTRON, CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
Intel 及び Intel ロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。



付録 B 外部のリソース

本機の仕様、アクセサリやオプションのソフトウェアに関するドキュメントで、取扱説明書にも記載されているものは以下のとおりです。

当社の Web サイト

日本 : <https://www.sharp-nec-displays.com/jp/>

補足ドキュメント

「External Control」(PDF 形式)

RS-232C または LAN を介してディスプレイを外部制御したりディスプレイへの問い合わせをするための通信プロトコルについて記載しています。このプロトコルは符号化バイナリを用いており、チェックサム計算が必要で、ディスプレイのほぼすべての機能を制御できるコマンドです。

詳細は当社 Web サイトを参照ください。

「Projector / Monitor Common ASCII Control Command - Reference Manual」(PDF 形式)

LAN を介して、シンプルな英語に似たシンタックスのコマンドでディスプレイの基本機能を外部制御するための通信プロトコルについて記載しています。既存の制御システムに少ない手間ですべて統合化するのに向いています。電源の状態、ビデオ系入力、音量やディスプレイの状態に関する制御や問い合わせといった機能を利用することができます。プロトコルは ASCII にエンコードされており、チェックサム計算は不要です。

詳細は当社 Web サイトを参照ください。

ソフトウェア

以下ソフトウェアは当社 Web サイトからダウンロードできます。

https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/dp_index.html

「NaViSet Administrator」ソフトウェア



当社のディスプレイおよびプロジェクターをネットワークを介して高度に、かつパワフルに制御・監視し、資産を管理するフリーソフトです。Windows および macOS 環境下で動作します。

最新バージョンの「NaViSet Administrator」ソフトウェアは、当社 Web サイトをご確認ください。

ハードウェア

MDSVSENSOR 3 USB カラーセンサー

当社製品向けにキャリブレーションされた X-Rite カラーセンサーです。対応アプリケーションで使用できます。詳細については販売店にお問い合わせください。

付録 C OSD 調節リスト

この章の内容：

- ⇒ 入力 (88 ページ)
- ⇒ 映像設定 (92 ページ)
- ⇒ 音声設定 (99 ページ)
- ⇒ スケジュール (100 ページ)
- ⇒ スロット (101 ページ)
- ⇒ ネットワーク (102 ページ)
- ⇒ 保護設定 (104 ページ)
- ⇒ システム (106 ページ)


初期設定値は、当社の Web サイトを参照ください。

入力

入力	
入力選択	入力信号を選択します。 「DisplayPort1」、「DisplayPort2」、「HDMI1」、「HDMI2」、「COMPUTE MODULE* ¹ 」、 「OPTION* ² 」
入力設定	
入力名称	現在表示中の入力端子名称を変更できます。最大文字数は 14 文字です。 名称フィールドにカーソルを合わせ、SET ボタンを押します。 ◀/▶ ボタンで変更したい文字にカーソルを移動します。 ▼/▲ ボタンでアルファベット、数字、一部の記号、スペースを切り替えます。 SET ボタンを押して確定します。 最後に EXIT ボタンを押すと入力した名称が保存されます。
名称リセット	「実行」で SET ボタンを押すと現在の入力端子名称が工場出荷状態に戻ります。
高速入力切替	「入力 1」と「入力 2」に選択された 2 つの入力端子の間で高速切り替えを可能にします。 オフ：入力端子の変更は通常の実行速度で行われます。 オン：入力端子の変更は高速に行われます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 「デュアルデジチェーンモード」が動作している場合や、「DisplayPort1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4」の場合、本機能は動作しません。 「オン」を選択すると、「マルチ画面」、スチル機能、ポイントズーム機能、「音声入力」は動作しません。
自動入力切替* ⁴	複数の入力がある場合に、入力信号があるコネクタに自動的に切り替える機能です。 選択されているコネクタはリモコンの DISPLAY ボタンを押すとインフォメーション OSD に表示されます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 「デュアルデジチェーンモード」が動作している場合、本機能は動作しません。 「自動入力切替」の動作時に「人感センサー」を実行すると「自動入力切替」は解除されます。
オフ	入力端子を手動で切替えます。
FIRST DETECT	現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。 現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合でも、表示は切り替えません。
LAST DETECT	現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。 現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示を切り替えます。
CUSTOM DETECT	入力信号を自動で切り替えるときの優先順位を設定できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 「CUSTOM DETECT」を選択すると、「優先順位」を設定していない入力信号には切り替えられません。

入力	
入力信号情報	入力信号の情報を表示する機能です。
現在の入力端子	
解像度	
FREQUENCY	
カラーフォーマット	
HDR EOTF	
色深度 (信号 / 表示)	
HDCP	
ビデオレンジ	
ビデオ ID コード	
オーバースキャン	
アドバンスト	
入力信号設定	
DisplayPort (DisplayPort1, DisplayPort2, OPTION(DisplayPort) ^{*2} 入力の場合のみ)	DisplayPort 入力 の機能を選択します。
DisplayPortバージョン	<p>入力信号に応じて以下の設定ができます。</p> <p>DisplayPort1 : 1.1a, 1.2, 1.4 DisplayPort2 : 1.1a, 1.2 OPTION (DisplayPort) : 1.1a, 1.2 1.2 または 1.4 設定時に、SST または MST を選択します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 8K 信号を受信する際は、「DisplayPort1」で「1.4」を選択してください。 「MST」は DisplayPort1 でのみ選択可能です。 「1.4」は DisplayPort1 でのみ選択可能です。 「1.4」を選択している場合、以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> 「マルチ画面」、「スクリーンセーバー」の「モーション」、スチル機能、ポイントズーム機能、「映像反転」、「高速入力切替」「デュアルデジチチェーンモード」、「音声入力」、「回転」、「TILE COMP」、「タイルカット」、「DisplayPort-HDMI 変換」は動作しません。 「タイルマトリクス」の「水平モニター数」と「垂直モニター数」は最大2までの設定になります。
HDCPバージョン	<p>DisplayPort バージョンごとに「HDCP1.3」、「HDCP2.2」で設定します。</p> <p>1.2 : HDCP1.3, HDCP2.2 1.4 : HDCP1.3, HDCP2.2</p> <p>お知らせ</p> <p>「DisplayPort バージョン」が「1.1a」の場合、自動的に「HDCP1.3」を設定します。</p>
HDR	<p>DisplayPort バージョンごとに HDR に対応するか「許可」、「禁止」で設定します。</p> <p>お知らせ</p> <p>「DisplayPort バージョン」が「1.1a」の場合、動作しません。</p>
イコライザー	<p>ビデオ信号を補正して、画像の安定性を高めます。</p> <p>画像が点滅したり、画像にノイズが発生する場合は、設定を変更してください。</p>
DSC (DisplayPort1 入力の場合のみ)	<p>「許可」を選択すると以下の接続ができます。DSC は Display Stream Compression の略称です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力解像度8K60Hzで4台のSST接続 入力解像度4K60HzのMST接続 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「DisplayPort バージョン」 → 「DisplayPort1」 → 「1.4」 選択時のみ設定可能です。 DSC で圧縮された信号は、入力された信号がそのまま出力されます。

入力	
HDMI (HDMI1, HDMI2, OPTION (TMDS)* ² 入力の場合のみ)	HDMI 入力の機能を選択します。
HDMI モード	HDMI モード (バージョン) 「設定 1」 または 「設定 2」 を選択します。 設定 1: 最大解像度 3840 x 2160 (30Hz) 設定 2: 最大解像度 3840 x 2160 (60Hz)、HDCP 2.2 または HDR
HDCP バージョン	HDCP バージョン 「HDCP1.4」 または 「HDCP2.2」 を選択します。
HDR	HDMI モードごとに HDR に対応するか 「許可」、「禁止」 で設定します。 お知らせ 「HDMI モード」 が 「設定 1」 の場合、動作しません。
イコライザー	「自動」、「0-7」 から設定します。 ビデオ信号を補正して、画像の安定性を高めます。 画像が点滅したり、画像にノイズが発生する場合は、設定を変更してください。
シグナルフォーマット	
オーバースキャン (HDMI1/HDMI2/OPTION (TMDS)* ² /COMPUTE MODULE* ¹ 入力の場合のみ)	画像表示エリアを選択します。 オン: 入力信号の約 95 % を表示します。 オフ: 入力信号のほぼ 100 % を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出る ことがあります。 自動: 入力画像表示エリアを自動設定します。
ビデオレンジ	表示する階調範囲を映像信号にあわせ、映像の白飛びや黒浮きを改善します。 フル: コンピューター用の設定です。入力信号の 0 ~ 255 階調をすべて表示します。 リミテッド: AV 機器用の設定です。入力信号の 16 ~ 235 階調を 0 ~ 255 階調に拡張して 表示します。 自動: 映像信号を検出し 「ノーマル」と 「エキスパンド」 を自動的に切り替えます。 通常はこちらを選択してください。
カラリメトリー	信号の種類を RGB と色差から選択できます。「自動」、「RGB」、「YCbCr(BT.601)」、 「YCbCr(BT.709)」、「YCbCr(BT.2020)」 から設定できます。通常は 「自動」 を選択してく ださい。
CEC	
CEC	HDMI-CEC 対応機器を本機に接続する場合に設定します。 CEC は Consumer Electronics Control の略称です。
CEC	「オフ」、「設定 1」、「設定 2」 から設定します。 「設定 1」 または 「設定 2」 を選択すると HDMI コネクタに接続した HDMI-CEC 対応機器を リモコンで操作することができます。また、対応機器をスタンバイ状態から起動させたとき、本 機も連動してスタンバイ状態から電源をオンします。「設定 1」 または 「設定 2」 を選択した場合、 以下の項目を設定します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> • 「設定 1」 または 「設定 2」 の場合、POINT ZOOM は動作しません。 • 「設定 1」 または 「設定 2」 を選択すると以下の動作を実行します。接続する機器によっ ては正しく動作しない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> - HDMI コネクタに接続している HDMI-CEC 対応機器を再生すると、本機の電源が連 動してオンし入力信号を HDMI に切り替えます。本機の電源がオンの場合は、入力信 号を HDMI に切り替えます。 - リモコンで HDMI コネクタに接続している HDMI-CEC 対応機器を操作すること ができます。 - 対応するリモコンボタンは以下になります。 設定 1: 1 (◀▶)、2 (▶)、3 (▶▶)、5 (■)、6 ()、ENT、EXIT、▲、▼、◀、▶、MUTE、 VOL+、VOL- 設定 2: 0 ~ 9、数字ボタンの -、ENT、EXIT、▲、▼、◀、▶、GUIDE、MUTE、 SET/POINTZOOM、VOL+、VOL-、CH/ZOOM+、CH/ZOOM-

入力	
電源連動	<p>「許可」、「禁止」から設定します。「許可」を選択すると、本機をリモコンの STANDBY ボタンまたは本体の  ボタンでスタンバイ状態にしたときに接続している HDMI-CEC 対応機器の状態も連動してスタンバイ状態にします。</p> <p>お知らせ</p> <p>接続している HDMI-CEC 対応機器が録画など作動中の場合は本機の状態に連動しない場合があります。</p>
オーディオレシーバー	<p>ARC 対応オーディオ機器を接続する場合、付属の ARC 対応 HDMI ケーブルを使用して本機の HDMI1 (ARC) 端子に接続してください。</p> <p>「許可」を選択した場合は、接続した ARC 対応オーディオ機器から音声を出力し、本機内蔵のスピーカーまたは本機に接続した外部スピーカーはミュート (消音) になります。</p> <p>「禁止」を選択した場合は、本機内蔵のスピーカーまたは本機に接続した外部スピーカーから音声を出力し、接続している ARC 対応オーディオ機器の音声をミュート (消音) になります。</p> <p>お知らせ</p> <p>オーディオレシーバーの設定を切り替えると音声が出力されるまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。</p>
デバイス検索	<p>本体の HDMI コネクタに接続されている HDMI-CEC 対応機器を検索します。</p> <p>「デバイス検索」を選択すると接続されている HDMI-CEC 対応機器を検索し、その種類と登録名称を表示します。</p> <p>検索後に表示されるデバイスを選択することで入力を切り替えることができます。</p> <p>お知らせ</p> <p>検出されたデバイスの種類と登録名がすべて表示されない場合があります。その場合は、表示されているデバイスの種類と登録名の両方から接続機器を判断してください。</p>
バックグラウンドカラー	<p>4:3 画面を表示した場合、両側の画像のない部分の色を調節します。</p> <p>▶ ボタンを押すと、白く (明るく) なり、◀ ボタンを押すと、黒く (暗く) なります。</p>
ビデオ出力設定	
デュアルディスプレイチェーンモード	<p>「許可」、「禁止」から設定します。「許可」を選択すると、マルチ接続でメイン入力の信号が検出されなくなった場合、サブ入力の映像に自動的に切り替えます。</p> <p>メイン入力: DisplayPort1、DisplayPort2、HDMI1、HDMI2、COMPUTE MODULE*¹、OPTION*²。</p> <p>サブ入力: DisplayPort1、DisplayPort2、HDMI1、HDMI2、COMPUTE MODULE*¹、OPTION*²。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マルチ画面」、スチル機能、ポイントズーム機能、「高速入力切替」、「自動入力切替」、「音声入力」は動作しません。 「DisplayPort1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4 SST」の場合、動作しません。 「デュアルディスプレイチェーンモード」動作時は、メイン入力、サブ入力で指定していない入力へは切り替えできません。
DisplayPort-HDMI 変換	<p>「許可」、「禁止」から設定します。「許可」を選択すると、DisplayPort 信号を HDMI 信号に変換し出力します。</p> <p>お知らせ</p> <p>「DisplayPort1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4」の場合、動作しません。</p>
リセット	<p>「入力選択」「入力名称」、「高速入力切替」の「入力1」と「入力2」、「自動入力切替」の「CUSTOM DETECT」の「優先順位」以外の入力の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。</p>

*1: 動作しません。

*2: 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

*4: 機器によっては、正しく検出されない場合があります。

映像設定




映像設定	
ピクチャーモード (Spectraview Engine がオフの時)	使用する環境に適した映像設定にしたり、任意の設定ができます (53 ページを参照してください)。
バックライト	<p>画像の明るさをバックライトで調節します。 ▶ ボタンと ◀ ボタンで画面をお好みの明るさに調節してください。通常の明るさ調節にはこちらをお使いください。</p> <p>お知らせ</p> <p>「アドバンスト」の「外光センサー」で「オン」が選択されている場合は動作しません。</p>
ビデオブラックレベル	画面の黒レベルを設定します。
ガンマ	グレーなど、中間色の明るさを調節します。
NATIVE	ガンマ補正をオフし、液晶パネルの階調特性で表示します。
2.2	コンピューターで一般的な特性です。
2.4	DVD や Blu-ray などビデオ機器で一般的な特性です。
S GAMMA	暗い部分をより暗く、明るい部分をより明るく表示します。画像の明暗が強調されるため映画などに適します。
DICOM SIM.	医療業界で用いられる DICOM に近似したガンマ調節値に設定します。
HDR-ST2084 (PQ)	HDR 信号のガンマ設定で、UHD ディスクの再生やストリーミングビデオの表示に適したガンマ値です。
HDR-HYBRID LOG	HDR 信号のガンマ設定で、UHD 放送に適したガンマ値です。
PROGRAMMABLE 1, 2, 3	対応するアプリケーションから詳細なガンマ特性を設定できます。
AUTO HDR SELECT (HDMI 入力の場合のみ)	「オン」を選択すると HDR 信号を検出し、対応信号が入力された場合は「HDR-ST2084 (PQ)」または「HDR-HYBRID LOG」に自動的に切り替えます。
色のこさ	
色のこさ	<p>色のこさを調節します。 ▶ ボタンを押すと濃くなり、◀ ボタンを押すと薄くなります。</p>
色温度	<p>白色の色温度を調節します。 色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。さらに細かい調節をする場合、R/G/B ゲインをそれぞれ変更できます。 「NATIVE」は液晶パネルの白色を表示します。R/G/B ゲインの設定を変更すると「カスタム」が自動的に設定されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ガンマ」で「PROGRAMMABLE 1」、「PROGRAMMABLE 2」または「PROGRAMMABLE 3」が選択されている場合は動作しません。
カラーコントロール	指定の色の色相を調節します。例えば赤色を黄色もしくは紫色に変化させることができます。
コントラスト	<p>コントラストを調節します。 ▶ ボタンと ◀ ボタンで画面をお好みのコントラストに調節してください。</p>
バックライトデミング	<p>「オン」を選択すると映像内容に応じてバックライト制御を細分化し、画面の明るさを自動的に調節します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「オートブライツ」で「設定 2」が選択されている場合、本機能は「オフ」できません。 工場出荷時は本機能はグレーアウトし「オフ」を設定できません。オフする場合は「オートブライツ」を「設定 2」以外にしてください。

映像設定																					
ピクチャーモード (Spectraview Engine がオンの時)	使用する環境に適した映像設定にしたり、任意の設定ができます。																				
ピクチャーモード	5つのピクチャーモードを記憶しており、それぞれ個別に設定、選択することができます。 (46 ページを参照してください)																				
エミュレーション																					
3D LUT エミュレーション	印刷時の色を再現したり、映画製作時などのカラーエフェクトを再現することができます。対応するアプリケーションから 3DLUT データを本機に保存してください。 オン： 選択中のピクチャーモードに 3D LUT データを反映します。 オフ： 3D LUT データを反映せず、元のピクチャーモードで表示します。 比較： 「オン」/「オフ」の差分をグレーで強調表示します。オン時に変化する色範囲の確認や、印刷プレビュー時の色域外判定などに利用できます。																				
色覚エミュレーション	異なる色覚特性 (P/D/T 型) の見え方を擬似的に表示します。 GRAY は画像のコントラストを確認する機能です。 代表的な見え方を擬似的に再現し、絵柄や文字の見えやすさを確認できます。 お知らせ 本機能は色の見分けにくさを擬似的に表現するもので、実際の見え方を表現するものではありません。																				
6 色調節	他の色に影響を与えず RED:赤色、YELLOW:黄色、GREEN:緑色、CYAN:水色、BLUE:青色、MAGENTA:紫色を個別に調節する機能です。6色それぞれに対して色相、彩度、明るさの調節があります。 選択していない色のほか、白やグレーなどの無彩色は変化しません。																				
RED	例：RED (赤色) の設定値を最小 / 最大に変更した場合の色の変化 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>最低値</th> <th>0</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出荷時</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>色相</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>彩度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>明るさ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		最低値	0	最大値	出荷時				色相				彩度				明るさ			
		最低値	0	最大値																	
出荷時																					
色相																					
彩度																					
明るさ																					
YELLOW																					
GREEN																					
CYAN																					
BLUE																					
MAGENTA																					
ユニフォミティ	「オフ」、「1-5」から設定します。「オフ」以外を選択した場合、画面全域の色ムラ、輝度ムラを改善します。 お知らせ 設定値が大きいくほど強く補正しますが、消費電力や本機の寿命に影響することがあります。																				
バックライトデミング (Spectraview Engine がオンの時)	「オン」を選択すると映像内容に応じてバックライト制御を細分化し、画面の明るさを自動的に調節します。																				
SPECTRAVIEW ENGINE																					
SPECTRAVIEW ENGINE	「オン」を選択すると、高度な色補正機能が利用できます。詳細は本取扱説明書の機能「高度な色補正機能」を参照ください (46 ページを参照してください)。																				
ピクチャーモード使用数	選択可能な「ピクチャーモード」の使用数を「1-5」から設定します。「ピクチャーモード使用数」で「3」を設定した場合、選択できるピクチャーモードは「1, 2, 3」となります。以下のような目的で使うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> • ロック 「1」を設定することでピクチャーモードを1つに固定し、他の設定になることを防ぎます。 • スキップ リモコンなどでピクチャーモードを切り替える際に使わないモードをスキップすることができます。 																				

映像設定	
メタメリズム	「オン」を選択すると当社製のディスプレイを複数台使用する場合に、視覚的な色のマッチングを改善します。正確な色再現が必要な際は「オフ」に設定してください。
キャリブレーション	USB カラーセンサーを使用してキャリブレーションができます。(50 ページを参照してください)。
アドバンスト	
UHD アップスケーリング	低解像度の画像を高解像度で表示する場合の処理レベルを「オフ」、「弱」、「中」、「強」から選択します。
シャープネス	文字や画像のキレを調節します。 ▶ ボタンを押すとシャープになり、◀ ボタンを押すとソフトになります。 お知らせ 調節によっては線が二重になる場合があります。この場合はシャープネスの設定を下げてください。
アスペクト	画像のアスペクトを選択します。詳細は本取扱説明書のアスペクト変更を参照ください。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ タイルマトリクスを開始すると、「アスペクト」が「ズーム」の場合は、「フル」に変更されてからタイルマトリクスが開始されます。タイルマトリクスをオフすると、アスペクトは「ズーム」に戻ります。 ・ 画面を縮小して表示している場合「H POS」と「V POS」の設定を変更しても、画像は変更されません。 ・ 「スクリーンセーバー」を設定すると「アスペクト」は自動的に「フル」になります。スクリーンセーバーを解除すると、設定されたアスペクトになります。 ・ この機能は、「スクリーンセーバー」の「モーション」が「オン」になっている場合は利用できません。 ・ ポイントズーム機能の使用には制限があります。詳細は本取扱説明書の「ポイントズーム機能(41 ページ)」を参照ください ・ 入力解像度が DisplayPort 4K(60 Hz) 10 ビットの画像では、ズームを使用できません。 ・ 「タイルマトリクス」動作時に「アスペクト」を「ズーム」に設定した場合、タイルマトリクス解除後に反映されます。
標準	比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
フル	比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
ワイド	16:9 のレターボックス信号を画面いっぱいになるよう表示します。 画像のアスペクトによっては画像の一部が表示されない場合があります。
1:1	画像サイズそのまま表示します。入力信号の解像度が推奨解像度を超える場合、画像サイズを小さくし画面に合うよう表示します。
ズーム	画像を拡大 / 縮小します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大表示した場合、表示エリアから出た部分の画像は表示しません。縮小で表示した場合、画像が劣化することがあります。
ZOOM	水平、垂直比を維持して画像を拡大します。
H ZOOM	水平のみが拡大 / 縮小します。
V ZOOM	垂直のみが拡大 / 縮小します。
H POS	▶ で右へ移動、◀ で左へ移動します。
V POS	▶ で上へ移動、◀ で下へ移動します。
アダプティブコントラスト (HDMI1、HDMI2、 OPTION(TMD5)*3、COMPUTE MODULE*1 入力の場合のみ)	画像に合わせてコントラストを自動的に調節する機能です。「オフ」、「弱」、「強」から選択します。「強」を選択すると明暗がはっきりした表示になりますが、明るさの変化が不自然になる場合があります。 お知らせ 「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、動作しません。

映像設定	
ユニフォミティ	<p>「オン」を選択すると、色の再現性を向上し、ディスプレイの輝度の不均一性をなくします。</p> <p>お知らせ</p> <p>「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、動作しません。</p>
オートデミング	画面の明るさを自動的に調節する機能です。
オートブライトネス	<p>「オフ」、「設定 1」、「設定 2」から設定します。「オフ」以外を選択した場合、映像内容に応じて画面の明るさを自動的に調節する機能です。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「外光センサー」で「オン」が選択されているとき「設定 1」は動作しません。 「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、動作しません。
外光センサー	<p>室内の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節する機能をもっています。「オン」に設定すると、室内の明るさの状態に応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。「オン」を選び、明るいときと暗いときのバックライト値を設定します。</p> <p>明るい時：室内が明るい状態のときの設定 照度—室内が明るい状態での明るさのレベル バックライト—室内が明るい状態でのバックライトの最大値</p> <p>暗い時：室内が暗い状態のときの設定 照度—室内が暗い状態での明るさのレベル バックライト—室内が暗い状態でのバックライトの下限値</p> <p>状況：現在の「照度」と「バックライト」の状態を表示</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「外光センサー」を設定すると、「バックライト」、「オートブライトネス」の「設定 1」は動作しません。 「オートブライトネス」で「設定 1」が選択されているときは動作しません。 「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、動作しません。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 「外光センサー」選択時には、センサーが障害物の陰にならないよう注意してください。
人感センサー *2	<p>人感センサーによる省電力機能を選択します。「待ち時間」で設定した時間が経過すると動作します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動入力切替」を「オフ」以外に設定した場合、本機能は「オフ」に設定されます。
オフ	「人感センサー」を使用しません。
オートオフ	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的にパワーオフの状態になります。人を感知すると元の状態に復帰します。
CUSTOM	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的に画面の明るさ、音量、入力が「バックライト」、「音量」、「入力選択」で設定した値になります。人を感知すると明るさと音量は元の状態に戻り、入力選択で設定した入力信号が表示されます。「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、「バックライト」は動作しません。

映像設定	
簡単タイルマトリクス設定	100 台までのディスプレイを使用して単一画面が表示できます。詳細についてはマルチディスプレイ接続 (59 ページ) の簡単タイルマトリクス設定を参照ください。
タイルマトリクス	
タイルマトリクス	<p>「オン」を選択すると画面を分割してマルチスクリーンで表示します。また、画像を水平および垂直に最大 10 分割できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 分配器または DisplayPort 出力コネクタ／HDMI 出力コネクタを使って、映像信号を各々のディスプレイへ接続することが必要です。「タイルマトリクス」動作時は、「マルチ画面」、スチル機能、ポイントズーム機能は動作しません。 「アスペクト」で「ズーム」が設定されている場合、「フル」の設定になります。「タイルマトリクス」をオフにすると「ズーム」の表示に戻ります。 「タイルマトリクス」動作時に「アスペクト」の設定を「ズーム」に変更した場合、「タイルマトリクス」解除後に反映されます。 低い解像度の映像信号は多数のディスプレイを使用するマルチスクリーン表示には適していません。 ポイントズーム機能の使用には制限があります。詳細は本取扱説明書の「ポイントズーム機能」(41 ページ) を参照ください。 「タイルマトリクス」動作時に「スクリーンセーバー」の「モーション」または「映像反転」でオフ以外を実行すると「タイルマトリクス」は解除されます。 入力信号が DisplayPort4K(60 Hz)10 ビットの場合、「タイルマトリクス」は動作しません。 「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4」の場合、「水平モニター数」と「垂直モニター数」は最大「2」までの設定になります。
水平モニター数	水平分割数を設定します。
垂直モニター数	垂直分割数を設定します。
位置	拡大したい部分を選択します。
TILE COMP	<p>「オン」を選択すると画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更します。</p> <p>▶ ボタンまたは ◀ ボタンで表示画面の位置やサイズを微調節することもできます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4」の場合、動作しません。
タイルカット	<p>「オン」を選択すると画像を分割し、その中の一部分を表示します。分割枠の大きさは「水平モニター数」「垂直モニター数」で設定します。分割された画像から表示する部分を「位置」で選択します。</p> <p>▶ ボタンまたは ◀ ボタンで選択した枠の位置を調節し、表示部分を設定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4」の場合、動作しません。

映像設定	
映像反転	
映像反転	<p>画像を左右反転、上下反転、180°回転して表示する機能です。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「オフ」以外を設定している場合、「スクリーンセーバー」の「モーション」または「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」を「1.4」に設定すると、本機能は解除します。 「映像反転」で「オフ」以外を選択すると、以下の機能は動作しません。「マルチ画面」、スチル機能、ポイントズーム機能、「タイルマトリクス」、「回転」 インターレース信号を入力している場合、映像が乱れることがあります。
オフ	通常の表示状態です。 AB
左右反転	左右反転して表示されます。 BA
上下反転	上下反転して表示されます。 VB
180°回転	180°回転して表示されます。 BV
OSD 反転	「オン」を選択すると OSD メニューを反転します。
マルチ画面	
マルチ画面モード	<p>「オフ」が選択されているときは、1 画面が表示されます。「2PIP」、「2PBP」、「4PBP」から表示形態を選択し、各画面に表示する入力を設定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>2PIP</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>2PBP</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>4PBP</p>  </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>A: 画面1 B: 画面2 C: 画面3 D: 画面4</p> </div> </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スクリーンセーバー」の「モーション」、「映像反転」のオフ以外、「タイルマトリクス」、「高速入力切替」、「デュアルデイジーチェーンモード」、「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」を「1.4」に設定すると、本機能は解除されます。 本機能の動作時にスチル機能またはポイントズーム機能は動作しません。 CEC を「設定 1」または「設定 2」に設定している場合、リモコン操作によるマルチ画面操作に一部制限があります。 「4PBP」に設定されている場合、DisplayPort 入力には制限があります。「DisplayPort 1」、「DisplayPort 2」、「OPTION (DisplayPort)」から最大2つの入力が設定可能です。 「4PBP」に設定されている場合、「回転」は動作しません。
音声設定	<p>「マルチ画面モード」を使用しているときに出力する音声を選択します。選択した画面の音声が出力されます。</p> <p>お知らせ</p> <p>「マルチ画面モード」が動作している場合、「音声入力」は無効になります。</p>
選択画面	「マルチ画面モード」が「オフ」のとき、「画面 1」が選択画面です。「マルチ画面モード」が「オフ」以外のとき、複数のピクチャーから選択画面を選択します。
選択枠	「オン」を選択すると選択画面に白枠を表示します。

映像設定	
画面サイズ	<p>選択画面のサイズを設定します。 SET/POINT ZOOM ボタンを押して、ピクチャーサイズを調節します。▶ ボタンまたは CH/ZOOM+ ボタンを押すと拡大されます。 ◀ ボタンまたは CH/ZOOM- ボタンを押すと縮小されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マルチ画面モード」が「2PIP」で「選択画面」が「画面 1」の場合、動作しません。 「マルチ画面モード」が「4PBP」の場合、動作しません。
画面位置	<p>「選択画面」の位置を設定します。SET/POINT ZOOM ボタンを押して、位置を調節します。 ▶ ボタンを押すと選択画面は右に移動し、◀ ボタンを押すと左に移動します。 ▲ ボタンを押すと選択画面は上に移動し、▼ ボタンを押すと下に移動します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マルチ画面モード」が「2PIP」で「選択画面」が「画面 1」の場合、動作しません。 「マルチ画面モード」が「4PBP」の場合、動作しません。
回転	<p>回転するマルチ画面を設定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機能の動作時にポイントズーム機能は動作しません。 「スクリーンセーバー」が「モーション」、「映像反転」が「オフ」以外、「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」を「1.4」に設定すると本機能は解除されます。 インターレース信号の場合、本機能は動作しません。 入力信号が DisplayPort4K(60 Hz)10 ビットの場合、動作しません。
全回転	「オン」を選択するとすべての画像を 90°回転します。
画面 1	「オン」を選択すると画面 1 を 90°回転します。
画面 2	「オン」を選択すると画面 2 を 90°回転します。
リセット	「ピクチャーモード」および「SPECTRAVIEW ENGINE」以外の映像設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*1： 動作しません。

*2： 別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

*3： 対応可能なオプションについては販売店へお問い合わせください。

音声設定

音声設定	
音声モード	使用する環境に適した音声効果の設定にしたり、任意の設定ができます。 標準：標準の音響設定です。 店舗：店舗等でのサインージュ用途に適した音響設定です。 会議室：電話会議やテレビ会議に適した音響設定です。 高輝度：視覚的なメッセージを強調するための音響設定です。工場出荷時の設定では無音状態になります。 交通機関：公共施設等の設置に適した音響設定です。工場出荷時の設定では無音状態になります。 CUSTOM：任意の設定ができます。
音量	音量を調節します。ラインアウトの音量は、「ラインアウト」が「連動」のときのみ調節できます。
バランス	音声の出力を「ステレオ」か「モノラル」かを設定します。
ステレオ / モノラル	音声の出力を「ステレオ」か「モノラル」かを設定します。「ステレオ」に設定すると左右の音声バランスが調節できます。 +ボタンを押すと右側の音が大きくなり、-ボタンを押すと左側の音が大きくなります。「モノラル」を設定した場合、バランスは動作しません。
サラウンド	「オン」を選択するとサラウンドサウンド音響を人工的に作り出します。
イコライザー	
高音	高音域の音量を調節します。 ▶ ボタンを押すと高い音が強くなり、◀ ボタンを押すと高い音が弱くなります。
低音	低音域の音量を調節します。 ▶ ボタンを押すと低い音が強くなり、◀ ボタンを押すと低い音が弱くなります。
スピーカー出力切替	音声の出力先を内蔵スピーカーまたは外部スピーカーに切り替えます。設定後は、MENU(ボタン)を押して OSD 画面を閉じ、本機の主電源を入れなおしてください。
内部	内蔵スピーカーから音声を出力します。オーディオ出力コネクタを使用する場合は、「外部」を選択してください。
外部	外部スピーカー、オーディオ出力コネクタから音声を出力します。内蔵スピーカーを使用する場合は、「内部」を選択してください。
アドバンスト	
ラインアウト	「連動」を選択すると本体の ◀/▶ ボタンまたはリモコンの VOL + /VOL - ボタンで出力コネクタから出力されるオーディオの音量を調節できます。「固定」を選択すると音量は固定されます。
音声遅延	
音声遅延	「オン」を選択すると遅延時間が反映されます。
遅延時間	音声が出力されるまでの遅延時間を調節します。遅延時間は 0 ~ 100 ミリ秒の間で設定できます。
音声入力	一画面表示をしているときに出力する音声を選択します。 音声入力ソースを「DisplayPort 1」、「DisplayPort 2」、「HDMI 1」、「HDMI 2」、「OPTION* ¹ 」、「COMPUTE MODULE」* から選択します。 お知らせ ・「マルチ画面」、「高速入力切替」、「デュアルデジチェーンモード」、「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」が「1.4」の場合、動作しません。
リセット	「音声モード」以外の音声設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*： 動作しません。

*¹： 対応可能なオプションについては販売店へお問い合わせください。

スケジュール

スケジュール	
スケジュール設定	本機の動作スケジュールを設定します。 △ / ▽ ボタンで項目を移動し、◀ / ▶ ボタンで調節します。 本体の INPUT ボタンまたはリモコンの SET/POINT ZOOM ボタンでチェックボックスのチェックを付けたり外したりすることができます。スケジュールの詳細は 45 ページ を参照ください。
設定	最大 14 件設定することができます。チェックボックスをチェックするとスケジュールが有効になります。
電源制御	電源制御の「オン」 / 「オフ」を設定します。 スケジュールを設定した各チェックボックスごとにオンまたはオフを設定してください。
時刻	スケジュールを実行する時間を設定します。
入力	スケジュールを実行時に使用する入力信号を設定します。スケジュール実行前に選択されていた入力信号から変更しない場合は「—」を設定してください。 入力を設定する際は「電源制御」を「オン」に設定してください。
日付	特定の日付を指定する場合に年 / 月 / 日を設定します。
年	
月	
日	
毎週	毎週同じ曜日にスケジュールを実行する場合、実行する曜日のチェックボックスにチェックを付けます。
オフタイマー	「オン」を選択するとオフタイマーが有効になります。自動的に本機がスタンバイ状態になるまでの時間を 1 時間～ 24 時間の間で設定します。 お知らせ 「オフタイマー」を「オン」にすると、スケジュールは動作しません。
リセット	「オフタイマー」以外のスケジュールの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

スロット

スロット	
OPTION* ¹	接続されているオプションボードに関する設定です。
POWER CONTROL	
電源供給	「オン」を選択するとオプション用スロットに接続されている機器への電力を供給します。
電源ボタン	SET(ボタン)を押すと、接続されているオプションの電源ボタンと同様に動作します。
強制シャットダウン	SET(ボタン)を押すと、オプション用スロットに接続されている機器の電源を強制的に切ります。 お願い オペレーティングシステムの問題などにより、手動で電源を切ることができない場合のみ使用してください。
リセット	SET(ボタン)を押すと、オプション用スロットに接続されている機器を再起動します。「電源制御」、「強制シャットダウン」が機能しない場合のみ使用してください。 お知らせ 接続された機器のデータが破損する可能性があります。
Connection Status* ²	オプション用スロットに接続されている機器の接続状態を表示します。
Power Status* ²	オプション用スロットに接続されている機器の動作状態を表示します。
Module* ²	オプション用スロットに接続されている機器の情報を表示します。
POWER SETTING	
AUTO POWER UP	「許可」、「禁止」から選択します。「許可」を選択するとディスプレイが表示状態になったときに、接続されているオプションボードを起動します。
AUTO SHUTDOWN* ⁴	「許可」、「禁止」から選択します。「許可」を選択するとディスプレイが待機状態になったときに、接続されているオプションボードの電源を切ります。
電源オフ遅延	「スロット電源」を「オフ」に設定している場合、「AUTO SHUTDOWN」実行後に電源供給を切断するまでの時間を設定します。
AUTO DISPLAY OFF	「許可」、「禁止」から選択します。「許可」を選択するとオプション用スロットに接続されている機器がスタンバイ状態やパワーセーブモードになるときに、本機も同期してスタンバイ状態やパワーセーブモードになります。
OFF WARNING	「許可」、「禁止」から選択します。「許可」を選択するとオプション用スロットに接続されている機器への電力供給が無くなるときにメッセージを表示します。「電源供給」が「オフ」のときのみ設定できます。
アドバンス	
チャンネル選択	オプション用スロットに接続されている機器の DisplayPort および TMDS の 2 系統の映像信号を表示できます。「自動」を選択した場合、オプション用スロットに接続されている機器の仕様により画面表示を設定します。
選択可能な信号	オプション用スロットに接続されている機器が対応している信号を表示します。
COMPUTE MODULE	(本機は動作しません)
POWER CONTROL	
電源供給	
電源ボタン	
リセット	
Connection Status	
Power Status	
Module	

スロット	
POWER SETTING	
AUTO POWER UP	
AUTO SHUTDOWN	
電源オフ遅延	
AUTO DISPLAY OFF	
OFF WARNING	
アドバンスト	
シャットダウン シグナル	
IR 信号	
モニタ制御	
WDT	
START UP TIME	
PERIOD TIME	
スロット電源	<p>オプション用スロットに接続されている機器への電力供給を設定します。</p> <p>自動： オプション用スロットに機器が接続されている場合は、本機がパワーセーブモード、スタンバイ状態でもオプション用スロットに電力を供給し続けます。</p> <p>オプション用スロットに機器が接続されていない場合は、本機がパワーセーブモード、スタンバイ状態に移行すると、オプション用スロットに電力は供給されません。</p> <p>オン： 本機がパワーセーブモードまたはスタンバイ状態でも、オプション用スロットに電力を供給し続けます。</p> <p>オフ： 本機がパワーセーブモードまたはスタンバイ状態に移行すると、オプション用スロットに接続されている機器に電力は供給されません。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> オプション用スロットに接続されている機器からの入力なくなったときにパワーセーブ機能を使用する場合は、「自動」または「オン」に設定してください。
リセット	「オプション」の「電源供給」以外のスロットの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*1： オプション用スロットに対応するオプションボードが装着されているときのみ設定できます。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。設定を変更した場合は、本機の主電源を入れなおしてください。

*2： オプションボードによっては正しく表示されない場合があります。

*4： オプションボードがコンピューターの時、コンピューター側の設定をご確認ください。

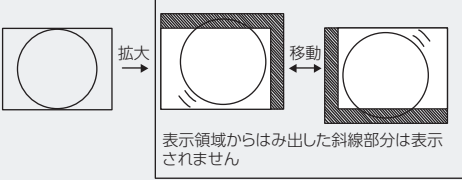
ネットワーク

ネットワーク	
ネットワーク情報	ネットワークの設定をします。
IP 設定	<p>本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「手動」を選択し、下の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「IP 設定」を「自動」にしている場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。
IP アドレス	「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	<p>「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

ネットワーク	
DNS	<p>本機を接続するネットワークがDHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は「手動」を選択し、下の「優先 DNS サーバー」および「代替 DNS サーバー」を設定してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「DNS」を「自動」に設定している場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。
優先 DNS サーバー	<p>本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。
代替 DNS サーバー	<p>本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
実行	SET を押すと設定が反映されます。
ネットワークセキュリティ	<p>ネットワーク経由で機能の設定をします。 ネットワーク経由でファームウェアのリビジョン更新する際は、すべての設定を有効にしてください。</p>
インターフェース	<p>ディスプレイを制御する機能の選択をします。「COMPUTE MODULE」は動作しません。「ディスプレイ」を無効にすると以下の機能が無効になります。 外部制御、メール通知、HTTP サーバー機能、SNMP、Crestron、AMX、PJLink、マルチ接続機能。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効に設定した場合、マルチ接続機能を用いたディスプレイの操作ができなくなります。無効にする際はご注意ください。
ネットワークポート	HTTP サーバー、PJLink、AMX ビーコン、CRESTRON、PC CONTROL から選択した項目のネットワークのポートを有効にします。無効にするとポートが閉じ、各機能が無効になります。
APPLY	SET を押すと設定した内容が反映されます。
PING	プリセットの IP アドレスで、通信の応答を確認します。
IP アドレス	PING を送る「IP アドレス」を設定します。
実行	SET を押すと設定した「IP アドレス」に対して PING を送信し、返答の有無を確認します。
リセット	ネットワークの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

保護設定

保護設定	
パワーセーブ設定	
パワーセーブ	<p>パワーセーブの「許可」/「禁止」を設定します。「許可」を設定した場合、入力信号が失われてから本機がパワーセーブに移行するまでの時間を設定することができます。パワーマネジメント機能については本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。「禁止」を設定した場合、パワーセーブに移行しません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人感センサー」*¹で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。 入力信号が無い場合でもビデオカードによっては信号を送り続けてしまうことがあります。この場合、パワーセーブに移行しません。 <p>*¹: 別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。</p>
時間設定	パワーセーブに移行する時間を設定します。入力信号が失われ設定した時間が経過するとパワーセーブ機能が動作します。
パワーセーブメッセージ	「オン」を選択するとパワーセーブに入るときにメッセージを表示します。
クイック起動	「許可」、「禁止」から設定します。「許可」を設定した場合、消費電力は大きくなりますが、映像信号が入力したときのディスプレイの復帰時間が早くなります。
温度管理	
ファン制御	<p>冷却ファンの制御方法を設定します。</p> <p>「オン」を選択すると冷却ファンがファンスピードで設定された速さで常時動作します。</p> <p>「自動」を選択すると内部センサー温度が高温になったときに、自動的に冷却ファンが動作します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷却ファンは内部センサー温度が高温になったとき、またはファン制御で「オン」を選択したときに動作します。
ファンスピード	<p>ファン制御で「オン」を選択したときのファンが回る速さを「高速」、「低速」から設定します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部センサー温度が動作保証温度以上になったときは、ファンは常に「高速」のスピードで回ります。
ディスプレイ	
ファン可動状態	ディスプレイに取り付けられている内部ファンの状況を表示します。
内部温度	<p>本機の内部温度を表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部温度が動作保証温度以上になったとき、画面が暗くなります。この場合、画面上に「温度警告!!」の警告が表示されます。
スロット	オプション用スロットの内部温度を表示します。
ファン可動状態	オプション用スロットのファンの状態を表示します。
内部温度	オプション用スロットの内部温度を表示します。
システム ファン条件	オプション用スロットからのシステムファン動作要求の有無を表示します。
OPTION	
COMPUTE MODULE	(本機は動作しません)

保護設定	
スクリーンセーバー	<p>液晶パネルにかかる負担を軽減させます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像の「アスペクト」は「フル」になります。「スクリーンセーバー」を解除すると、設定された「アスペクト」になります。 「スクリーンセーバー」が動作している場合、「マルチ画面」、「映像反転」、「タイルマトリクス」、ポイントズーム機能、スチル機能、「回転」は動作しません。 「DisplayPort 1」の「DisplayPort バージョン」を「1.4」に設定すると、本機能は解除されます。
モーション	<p>「オン」を選択すると表示内容をわずかに上下左右に動かして、液晶パネルの残像を軽減させます。</p> <p>お知らせ</p> <p>入力信号が DisplayPort4K(60 Hz)10 ビットの場合、本機能は動作しません。</p>
インターバル	何秒ごとに表示内容を動かすか設定します。
ズーム	<p>表示内容が動くため、画面端部分に表示されている内容は表示されない場合があります。常に全体を表示する場合は、ズームで 99% 以下を選択してください。</p> <p>拡大率 100% 以上</p>  <p>表示領域からはみ出した斜線部分は表示されません</p>
パワーオンディレイ	スタンバイから電源オンモードになるまでの時間を設定します。
遅延時間	遅延時間は 0 ~ 50 秒の間で設定できます。
ID 連動	<p>「オン」を選択すると「遅延時間」をディスプレイの ID にリンクします。これにより、マルチ接続しているすべてのディスプレイが同時にオンになった場合に発生する電力サージが抑えられます。モニター ID の数が大きいほど、ディスプレイの電源がオンになるまでの遅延が長くなります。たとえば、モニター ID が 20 で、「遅延時間」が 5 秒の場合は、POWER ON ボタンが押されてから、実際に電源がオンになるまでにかかる時間は 95 秒です。これにより、マルチ接続している 19 台のディスプレイをそれぞれ 5 秒間隔でオンにすることができます。</p> <p>お知らせ</p> <p>「遅延時間」が 0 秒に設定されている場合は、「ID 連動」の遅延はありません。電源を遅れてオンにするには、遅延時間を 1 秒以上にする必要があります。</p>
セキュリティ設定	セキュリティ機能を設定します。
パスワード	パスワードを入力します。パスワードの初期値は「0000」です。
SECURE MODE	
START-UP LOCK	選択すると主電源オン時にセキュリティ機能のパスワードを要求します。
CONTROL LOCK	選択すると本体のボタンまたはリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードを要求します。
パスワード変更	セキュリティ機能のパスワードを変更します。パスワードの初期値は「0000」です。
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワードの確認	「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力します。
ロック設定	リモコンのボタンと本体コントロールパネル上のボタン / キー操作をロックする機能です。 「ボタン操作のロック」 (56 ページ、57 ページ) を参照ください。
ALERT MAIL	有効にする場合は「オン」を選択してください。詳細は本取扱説明書の機能「ネットワーク設定」内の「メール通知設定」を参照ください。
リセット	「パワーオンディレイ」と「セキュリティ設定」以外の保護設定が工場出荷時の状態に戻ります。

システム

システム	
モニターインフォメーション	ディスプレイのモデル名、シリアル番号、およびファームウェアバージョンを表示します。
MODEL	
SERIAL	
CO2 削減量	推定二酸化炭素削減情報を kg-CO2 で表示します。二酸化炭素削減計算における二酸化炭素排出量係数は、OECD (2008 Edition) に基づきます。
CO2 排出量	推定二酸化炭素排出情報を kg-CO2 で表示します。これは、実際の測定値ではなく、計算上の推定値です。この推定値は、どのオプションも指定していない場合の値です。
ファームウェア	ディスプレイの現在のファームウェアバージョンを表示します。
MAC アドレス	ディスプレイの「MAC アドレス」を表示します。
日付 / 時刻設定	
タイムゾーン	本機を使用する地域と UTC (Universal Time, Coordinated) (協定世界時) との時差を設定します。
インターネット時刻サーバー	ネットワーク上の NTP サーバーから日付と時刻を取得し、設定します。「オン」に設定して、NTP サーバーの IP アドレス、またはホスト名を入力し、「更新」を選択します。
年	年 / 月 / 日 / 時間を設定します。設定後、「更新」ボタンで設定値を反映します。
月	お知らせ 本機の主電源オフのまま約 1 週間経過すると時計機能が停止します。この場合は「日付 / 時刻設定」を再度設定してください。 ・「インターネット時刻サーバー」が「オン」の場合、動作しません
日	
時刻	
日付	現在の時刻を表示します。
更新	SET を押すと設定時刻を本体に反映します。インターネット時刻サーバー使用時は、時刻を更新します。
サマータイム	
サマータイム	「オン」を設定した場合、以下で設定した「サマータイム」を実行します。サマータイムを日本で使用する場合は設定しないでください。
開始月 / 日 / 時刻	サマータイムの開始月 / 日 / 時間を設定します。
終了月 / 日 / 時刻	サマータイムの終了月 / 日 / 時間を設定します。
時差	「現在時刻」と「サマータイム」の時差を設定します。

システム	
外部制御	コントロール用の ID 番号を与えます。モニター ID 番号は 1 ~ 100、グループ ID 番号は A ~ J の間で選べます。
モニター ID	モニター ID 番号は以下の場合に使用します。
グループ ID	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンを ID モードで使用する場合 ・ LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）をした場合 グループ ID 番号は LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）する場合に使用します。グループ ID 番号は 1 つのディスプレイに複数設定できます。
	お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「AUTO ID/IP 設定」、「AUTO ID/IP リセット」 を実行中に主電源オフまたはスタンバイ状態にしないでください。
AUTO ID/IP 設定	「開始」を選択すると、「AUTO ID/IP 設定」の設定画面が表示されます。マルチ接続（数珠つなぎ）をしているディスプレイ間にネットワーク機器を接続しないでください。
モード選択	「モニター ID」、「IP アドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。
モニター ID	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続（数珠つなぎ）されているすべてのディスプレイにモニター ID が自動的に設定されます。設定されていた「モニター ID」は上書きされます。グループ ID は変更されません。
IP アドレス	設定中のディスプレイ以下のマルチ接続（数珠つなぎ）されているすべてのディスプレイに IP アドレスが自動的に設定されます。設定されていた「IP アドレス」は上書きされます。
ID and IP	「モニター ID」と「IP アドレス」を設定します。
先頭番号	親機のベース番号を 1 ~ 99 の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニター ID を昇順に自動設定します。モニター ID の最大値が 99 となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニター ID が 99 に納まるように親機のベース番号を設定してください。
BASE ADDRESS	BASE ADDRESS の第 1 オクテットから第 3 オクテットを設定してください。第 4 オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。BASE ADDRESS はモード選択で「IP アドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。
ID/IP 設定開始	SET を押すとを選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対して「AUTO ID/IP 設定」が実行されます。
モニター検出数	モード選択を選択し ID/IP 設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。
AUTO ID/IP リセット	「リセット」を選択すると、「AUTO ID/IP リセット」の設定画面が表示されます。
リセットモード選択	「モニター ID」、「IP アドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。マルチ接続（数珠つなぎ）する台数を変更する場合は、「AUTO ID/IP 設定」の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。
ID/IP リセット開始	SET を押すとリセットモード選択で選択した項目を初期値に戻します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「AUTO ID/IP リセット」を実行した場合、マルチ接続（数珠つなぎ）をしていても「モニター ID」や「IP アドレス」の設定は個々の設定になります。
モニター検出数	モニター ID が設定されたディスプレイの台数を表示します。
コマンド転送	「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続（数珠つなぎ）しているディスプレイに転送します。AUTO ID/IP リセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。
言語選択	OSD に使用する言語を選択します。

システム	
OSD	
OSD 時間	OSD メニューを表示する時間の設定をします。 10 秒～240 秒の間で設定ができます。
OSD 位置	OSD メニューを表示する位置を調節します。 ▶ ボタンを押すと画面の右へ移動し、◀ ボタンを押すと画面の左へ移動します。 ▲ ボタンを押すと画面の上へ移動し、▼ ボタンを押すと画面の下へ移動します。
OSD サイズ	OSD 画面の文字サイズを「通常」、「エキスパンド」から選択します。
インフォメーション OSD	インフォメーション OSD の表示の「オン」/「オフ」を設定します。「インフォメーション OSD」は入力の切替えや入力信号の状態が変化したとき、または入力信号が異常なときに画面に表示されるメッセージです。
IP/ID 情報	「IP アドレス」と「モニター ID」設定の表示を「オン」/「オフ」で設定します。 表示される内容は OSD メニューの「システム」→「外部制御」または「ネットワーク」→「ネットワーク情報」で設定します。
OSD 透過	「オン」を選択すると OSD メニューを表示しているときに背景映像を透過します。
OSD 方向	OSD メニューの表示方向を設定します。
自動	G センサーで本機の向きを検知し、OSD メニューを適した方向で表示します。
ランドスケープ	横型設置した場合に見やすい方向で OSD メニューを表示します。
ポートレート	縦型設置した場合に見やすい方向で OSD メニューを表示します。
キーガイド	OSD メニューを表示しているときにキーガイドを表示する機能です。 お知らせ ・「OSD 反転」が「オン」に設定されている場合は動作しません。
クローン設定	ディスプレイの設定値を LAN や USB ストレージデバイスを使って他のディスプレイに読込・書込みします。
クローン設定	現在制御中のディスプレイの設定値を USB ストレージデバイス (FAT32) や LAN ケーブルを経由して他のディスプレイに読込・書込みします。 USB 書込 - USB ストレージデバイスにディスプレイの設定内容のコピーをします。 USB 読込 - USB ストレージデバイスに書き込まれた設定を読み出し、接続したディスプレイに選択した設定内容を上書きします。 LAN - 制御中のディスプレイの設定値を LAN を使って接続した他のディスプレイにコピーします。
コピー対象	コピー対象には「現在の端子」と「すべての端子」があります。 OSD メニューを個別に選択し、「コピー対象」で選択した入力端子に対し設定値を読込・書込みします。 現在の端子：現在の入力端子のデータのみ すべての端子：すべての入力端子のデータ お知らせ ・読込・書込みする項目については当社 Web サイトを参照ください。
入力	
映像設定	
音声設定	
スケジュール	
スロット	
ネットワーク	
保護設定	
システム	
HTTP	

システム	
コピー開始	<p>「SET を押すと実行します。」にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと設定値の読み込みを開始します。 コピー開始を実行するには</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「クローン設定」で「USB 書込」を選択 SET ボタンを押す - 「クローン設定」で「USB 読み」または「LAN」を選択、「コピー対象」で項目を選択し SET ボタンを押す <p>お知らせ</p> <p>コピー開始を実行すると、コピー開始前の設定値には戻せません。</p>
電源ランプ	<p>「オフ」を選択すると電源ボタン入（青色点灯）のとき、電源ランプを消灯することができます。</p>
ミュート設定	<p>ディスプレイの音声出力と映像出力をミュートすることができます。 音声：リモコンの MUTE ボタンを押すと音声を出力しません。 映像：リモコンの MUTE ボタンを押すと映像を出力しません。 音声 & 映像：リモコンの MUTE ボタンを押すと音声と映像を出力しません。</p> <p>お知らせ</p> <p>以下の場合、ミュート設定が解除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「入力」を変更した場合 ・ 主電源スイッチをオフ / オンした場合 ・ リモコンや本体の電源ボタンでオフ / オンした場合 ・ パワーセーブから復帰した時 ・ 「ミュート設定」を変更した場合 ・ 「音声モード」を変更した場合 ・ リモコンや本体キーで音量を変更した場合 ・ 映像信号（解像度 / 走査周波数）を変更した場合
USB	
PC ソース	<p>USB ハブのアップストリームポートに接続する機器を切り替えます。接続する機器を固定する場合は、「外部 PC」または「OPTION」「COMPUTE MODULE」を選択してください。選択した機器により USB-A に接続した USB 周辺機器と本機が制御されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「OPTION」と「COMPUTE MODULE」は接続されているときのみ設定できます。 ・ 「外部 PC」を選択した場合、USB-B に接続したコンピューターが USB ハブのアップストリームポートに接続されます。
USB 電源	<p>USB Service(2A) ポートへの電源供給の設定ができます。 「オン」、「自動」から設定します。 スタンバイ時に電源を供給する場合は「オン」を選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続している USB 機器により消費電力は変わります。
外部制御	<p>USB-B ポートに接続した専用ソフトウェアをインストールした PC から、本機の制御を「許可」 / 「禁止」する機能です。</p>
ファームウェア更新	<p>FIRMWARE イメージファイル（PAC ファイル）を保存した USB ストレージデバイス（FAT32）を本機に接続し、ファームウェアをアップデートします。</p>
リセット	<p>「言語選択」、「OSD 方向」、「キーガイド」、「日付 / 時刻設定」、「サマータイム」以外のシステムの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。</p>
オールリセット	
リセット	<p>「スロット」の「OPTION」 → 「POWER CONTROL」 → 「電源供給」と「保護設定」の「セキュリティ設定」 → 「パスワード」以外のすべての設定が工場出荷の状態に戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンの設定によってはすべてのマルチ接続されているディスプレイに同時に機能が実行される場合があります。オールリセットの実行には特にご注意ください。すべてのマルチ接続されているディスプレイでオールリセットが実行された場合、再度接続を有効にするためにはすべてのディスプレイで再設定が必要となります。

付録 D その他

この章の内容：

- ⇒ 本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）（111 ページ）
- ⇒ 保証とアフターサービス（111 ページ）

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

地球環境保全と資源の有効活用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「製品リサイクルのご案内」について

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html>

個人情報の初期化

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。
廃棄・譲渡する際には、オールリセットをおこない、設定の初期化をしてください。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口
NEC ビジネス PC 修理受付センター
フリーコール：0120-00-8283
携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211（通話料お客様負担）
受付時間：月～金 9:00～18:00 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の所定休日とさせていただきますので、ご了承ください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所（付近の目標など）
- 電話番号
- 品名：マルチシンク液晶ディスプレイ
- 型名：M981
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 購入年月日または使用年数